

演劇ぶっく

蜷川幸雄 ウェンツ瑛士

[表紙のヒト]

『ムサシ』

蜷川幸雄 / 演出
井上ひさし / 作

大泉洋 / 作・演出
『下荒井兄弟の
スプリング、
ハズ、カム。』

『蜚蜚峠』

宮藤官九郎 / 作
いのうえひでのり / 演出

東京サンシャインボーイズ公演ほか
さよなら
シアタートップス



演劇界における真正正銘のリードオフマン。世界のニナガワが「真情あふる軽薄さ 2001」幻に心もそぞろ狂おしのわれら将門」などに続き、清水邦夫戯曲をシアター・クーンで上演。27年前に初演された幻の舞台「雨の夏、三十人のジュリエットが選んできた」が、稽古開始の直前、蜷川幸雄は本誌のインタビューでその狙いを明かした。

蜷川幸雄

演劇ぶつくなんて嫌いなんだけどさ

「雨の夏、三十人のジュリエットが選んできた」再演の理由は何ですか？
まあやれるうちにやっておかないと。いつ死ぬかわからないからね（笑）。北陸に実在した少女歌劇団がモチーフにあるんだけど、幻のように出現し、消えていった集団の物語なんですよ。熱い思いを持った人たちがあつた時代を共に駆け抜け、崩壊していった。その熱さとは何だったのか。それを激しく描きたかったんだけど、初演はあまりうまくいかなくて、後悔もあるんですよ。この作品で一度別れた清水（邦夫）と僕は9年ぶりに仕事をしたわけですが、そこには僕たちが櫻社でやっていたことの総括をしたいという思いがあったわけ。もう27年前になるけど、お互いが60、70年代をどうやって生きてきたか、検証するための作品だった。少女歌劇の体裁で甘い作風に思われるかもしれないけど、実際には自分たちの集団の崩壊を描きたかったんだよ。不一家のケーキに見えるけど、ほんとうはキムチを食わしてやろうと思って作った舞台なんです。が、いわば観客をだまぐらかし

て作ろうとして失敗した部分が否めないんだ。初演で使った音楽はね、現代人劇場や櫻社で使ったものでした。それも観客には分からないだろうけど、確信的にやっていた。今度の再演では当時の音楽は使いません。総じて初演はキムチの味が強かったかもしれない。再演では、もっとシンプルに作品そのもののよさを出したいね。

演出も大きく変わるのでしょうか？
僕はこの5、6年、演出プランを作っていないんです。アウトラインは作っているけど、いわば即興演出をしているんだよね。あらかじめ勉強することだけは頭に入れておいて、大枠だけ決めて即興的にできる緊張感を楽しむんだよ。それはフリージャズの演奏に近いものかもしれない。どんな瞬間で決めていく。稽古をやってみないと分からない状態で臨むんだけど、そうするには自分の精神・身体を追い込んで集中する必要がある。それができれば、稽古場に立ちさえすればいいんです。井上（ひさし）さんの作品でもそうですね。本の書き込みもしないし、手ぶらだしね。昔は120%決めてやっていたけど、そんなのは必要ないみたいだね。今回のキャストは、演技のうまい人たちを集めました。鳳さんは真正正銘の大スターだし、清水のレトリックに満ちた台詞を体現できる三田さんは圧倒的だと思う。少女歌劇団がモチーフだから、もちろんショーアップもする予定です。美しくて激しくノスタルジックで闘争的な舞台にしたい。

ウエント瑛士さんは蜷川さん自ら抜擢したとお聞きしました。
キャストはだいたい自分で考えています。ウエント君は前からいい人と思ってましたね。彼のテレビの仕事を観ていると、頭がいいのがよく分かる。それに彼の生真面目さを感じるでしょう。俳優の能力とは直結しないかもしれないけど、真摯な部分に好感をもったね。清潔さを感じたんだよ。最初に会ったのは、俺が「蛇とピアン」を撮ってる撮影所に来たときなんだ。彼はひとりやって来たね。自分が関わって

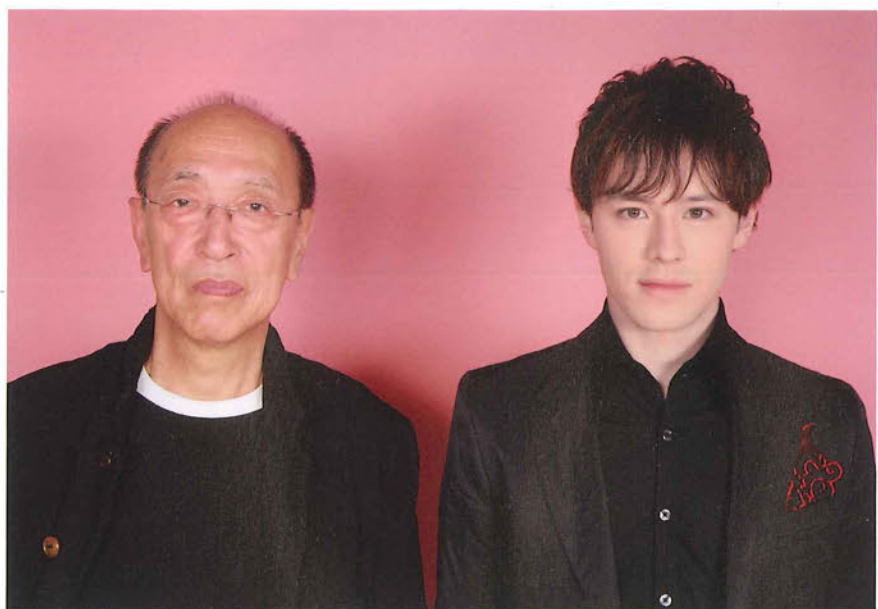


ウエント瑛士

小栗旬さんに藤原竜也さんといった若い役者に求める条件は何ですか？
僕は、ノイズを持つ俳優が好きなんだ。現実にはムカカシ、現状にイライラしているヤツ。だから窪塚（洋介）君なんて大好きなんだ。反対に嫌いなのが現在に充足しているように見えるヤツ。小劇場の売れない役者に多いんだけど、腹立つんだよ。不満とか可立ちをどこかでこぼしちゃったりしていますよ。そういうヤツとは仕事したいと思う。ウエント君に対しては生真面目な彼の身体にノイズをぶち込むことで、もっと豊かな俳優になってほしい。

決してホンは直さない
最後に、清水邦夫という劇作家の魅力とは、何なのでしょう？
いつでも自分たちの周囲には厚い壁があつて、それをどう壊し、先に行こうかというドラマを書く作家だと思う。同世代的に僕らが抱えた問題で、反抗する若者たちとその状況の関係を、美しい言葉で描いてきたんです。セリフはすごく饒舌で、実際の彼は寡黙です。僕は饒舌であることを要求し、新劇の戯曲を拒絶した。仕事しているうちに、彼には僕という演出家が随分負担になったんじゃないかと思う。当時は時代とともに減り、再演ができないうちをやるべきだと思っていたんです。時代の刻印が打たれた戯曲をやろうと。それでも作家は言葉を知っていて、苦悶しながら書いてきた清水の姿を知って、僕は演出家なんて第二芸術だと思つてるよ。どんな作家でも、僕が決してホンを直すことはないからね。書かなくなった清水に対して今も深い友情を抱いているんです。かつて彼の戯曲を見事に演出できなかったから、新作のつもりで取り組みます。お互い人生の終わりにさしかかっている気持ちは失ってないよ。そんな彼へのメッセージも含まれているんだよ。

能あるんだよ。前に一緒にやった「宮もそう。自分の芝居で充足しちゃっているように見える俳優は嫌い。現在は、簡単に集団も作れるし、作家や演出家になれてしまつて。そのせいで演劇のハードルが下がった。権威が充満していた時代、それに抵抗する方法として、誰でも作家や演出家になつてよい、誰でも俳優になり集団を作つてよかった。意味があったんだよ。そのことに、でも、今は世界で風俗が充満している時代。そんなときに、演劇をやつて満ち足りているヤツなんていないよ。泡なんだよ、そんな返事は。だから攪拌して泡は消えてしまふと思つて。こんなこと言うから嫌われるんだろ（笑）。



清水邦夫

いい現場にひとりやって来て大変なんだよ。話して、面白いヤツだと思つた。今、テレビを見ていてもバカレントばかりじゃない（笑）。モノ食ってるかぶさけるか、笑つて。もうね、チャラチャラした世界に僕はうんざりしている。だから演劇ぶつくだって嫌いだよ（笑）。価値観も考え方もまったく違う。もちろん考えの違うものがあつてもいいと思う。真面目さだけがいいとも言わないよ。井上ひさしの芝居だつて、とてもよくふざけているし。コントみたいな舞台が多いでしょう。自分に対するおそれや不安がない奴らは最低だよ。ウエント君は勉強家だよ。演劇ぶつくとはい違うんだよ（笑）。彼はあんなにキャラクターだから、どっかつていうと無菌状態に見えるんだ。彼の身体にノイズを組み込むことで、もっと豊かな俳優になってほしい。

決してホンは直さない
最後に、清水邦夫という劇作家の魅力とは、何なのでしょう？
いつでも自分たちの周囲には厚い壁があつて、それをどう壊し、先に行こうかというドラマを書く作家だと思う。同世代的に僕らが抱えた問題で、反抗する若者たちとその状況の関係を、美しい言葉で描いてきたんです。セリフはすごく饒舌で、実際の彼は寡黙です。僕は饒舌であることを要求し、新劇の戯曲を拒絶した。仕事しているうちに、彼には僕という演出家が随分負担になったんじゃないかと思う。当時は時代とともに減り、再演ができないうちをやるべきだと思っていたんです。時代の刻印が打たれた戯曲をやろうと。それでも作家は言葉を知っていて、苦悶しながら書いてきた清水の姿を知って、僕は演出家なんて第二芸術だと思つてるよ。どんな作家でも、僕が決してホンを直すことはないからね。書かなくなった清水に対して今も深い友情を抱いているんです。かつて彼の戯曲を見事に演出できなかったから、新作のつもりで取り組みます。お互い人生の終わりにさしかかっている気持ちは失ってないよ。そんな彼へのメッセージも含まれているんだよ。

能あるんだよ。前に一緒にやった「宮もそう。自分の芝居で充足しちゃっているように見える俳優は嫌い。現在は、簡単に集団も作れるし、作家や演出家になれてしまつて。そのせいで演劇のハードルが下がった。権威が充満していた時代、それに抵抗する方法として、誰でも作家や演出家になつてよい、誰でも俳優になり集団を作つてよかった。意味があったんだよ。そのことに、でも、今は世界で風俗が充満している時代。そんなときに、演劇をやつて満ち足りているヤツなんていないよ。泡なんだよ、そんな返事は。だから攪拌して泡は消えてしまふと思つて。こんなこと言うから嫌われるんだろ（笑）。

にながわゆきお 35年生まれ、埼玉県出身。演出家。67年に劇団現代人劇場を結成し、清水邦夫作品「真情あふる軽薄さ」で演出家デビュー。キリシヤ悲劇や井上ひさしなどあらゆるジャンルの舞台作品を演出。近年の作品に「萩原操校」「リア王」「ガラスの仮面」「表裏源内縫合戦」「ムサシ」などがある。

身体に、ノイズをぶち込む

表紙のヒト



ウエンツ瑛士

うんつえいじ 85年生まれ、東京都出身。俳優、ミュージシャン、タレント。ドラマ、音楽活動のほかにもバラエティー番組や情報番組などに出演。現在は「サプライズ」(日本テレビ系19:00~19:58)「サキヨミLIVE」(フジテレビ系22:00~23:11)にレギュラー出演中。映画主演作に「ゲゲゲの鬼太郎 千年呪い歌」がある。

学ぶべきことは「出会い」から生まれる

俳優のみならずバラエティーの世界でも独特の存在感を放つ芸能界の若きマルチプレイヤー。その華々しいキャリアに、またひとつの実績が刻まれる。舞台『雨の夏、三十人のジュリエットが還ってきた』の演出は蛭川幸雄。今、彼の心に去来するものは？

世界のニナガワに挑戦

— 27年ぶりに再演される『雨の夏、三十人のジュリエット』が還ってきた。ですが、最初に台本をお読みになった感想は？
本を読んだのは1ヶ月くらい前なんですけど、これをどんな風に舞台化するのか、具体的にイメージができませんでした。戯曲を読むというのと、映画やドラマの台本を読むことを比べると、これは難しいかもしれない。でも、映像の台本の方が慣れているためにイメージしやすいですね。戯曲が掴みにくいというよりは、もともと、いろんな捉え方ができるような書き方になっている気がするんです。少なくとも僕はそう思うので、だから、具体的にイメージできないことは問題ではなくて、むしろ、これから「楽しみだな」と気持ちに直結しているんです。

— ウエンツさん演じる次郎というキャラクターにいては？
すごく真つ直ぐで、ある種真面目な人柄です。現代的な部分と古風な部分を持ち合わせているキャラクターだな。

— 蛭川さんの抜擢で今回の舞台に立てれることになったのですが、率直なご感想を。
「オファーされたときは」もううれしくてふたつ返事でした。今回の話をいただくずっと前に、一度お会いしたことがあるんです。第一印象は、そうですね……。「メチャいい人」でした(笑)。ホントに偉大な功績を残して

いらつしやるのに偉そうなそぶりひとつなくて、やさしく話してください。とても人間的で、やさしい雰囲気。蛭川さんの魅力に惹かれました。これまで舞台に大変興味もありました。いつかチャレンジしたい仕事だったんですが、まさか自分が蛭川さんの舞台に立つなんて思ってもみませんでした。だからまたイメージトレーニングができてなくて(笑)。それにアタリ「クーン」で舞台を踏ませていただくこともすごいことなんです。もちろん楽しみなんですが、舞台に立つことのプレッシャーもあります。蛭川さんの舞台を経験したら、役者としてひとつ上がるような認知がありますよね。「蛭川さんの舞台を踏んだのにそれくらいなの？」と言われるようにダメだし、そう言われないようにしなきゃって思います。

考えてから動く人

— 舞台に向けて準備していることは？
今回の舞台のためつわけじゃないですけど、身体は半年くらい前から鍛えているんです。結果的に舞台に向けてのトレーニングにもなるし、いいことづくめですね。最初はほかの仕事がきっかけにあつたんですが、ランニングから部位トレなど、なんでもやります。スポーツもしますし、もともと動くことは好きなんです。舞台に向けてつて意味で言うつと、とても期待しているのが「出会い」なんです。僕は何かを成し遂げて実感を深める人間ではあまりないんじゃないかと思うので、稽古をやつて本番を迎えて、達

成感に浸るということはないと思うんです。それは映像の現場でも同じで、報道の番組で仕事をさせていたくように、自分も、自分にとって勉強させてもらっていることがうれしんです。だからこの仕事が多量に好きなんです。タレントとしての幅が広がっているのは別に、確実にひとつひとつの仕事が僕という人間にとって貴重な体験になっている。今度の舞台もそうなると思うんです。やっぱり学ぶべきことはいる。人々たちとの「出会い」から生まれます。蛭川さんだけでなく、ほかのキャストの方々とも、初めての仕事になるので、なおさらです。

— お話を聞いていると、ウエンツさんはとてもストイックな人に見えます。
そうですね。あんまり意識したことはないですが、割と考えるから動くタイプではあります。いや、もつと考えると考え込んでしまうところがある。まあでも、僕には考えるから動く方が合っていると思います。何か風潮として、「考える前に動く」ことが正しいみたいな価値観があるじゃないですか。でも僕の場合は正反対で、きちんと考えてからやらないとダメ。考えてからやつて失敗しないという学ばないんです。あくまで僕の場合ですけど、いきなり動かない。考えてから動く。

— ウエンツさんの行動原理は舞台に合っていると思います。稽古場で考えながらたくさん失敗がでますし。
そうですね。もうホントに初めて尽くしなんで、何の絵も描けない状態ですけどね。やっぱり舞台をやりたい気持ちは漠然とありましたが、もしかしら二度とやれないかもしれないし。
— 役者でもあり、ミュージシャンでもあり、バラエティーでも活躍中のウエンツさんですが、ご自分にとって本業といえるものは？
何が本業だつていう感覚が僕にはないんです。逆に仕事を絞るか、まったく考えたことがないんです。たぶん、自分で道を絞る

存在感を濃くしたい

— 役者でもあり、ミュージシャンでもあり、バラエティーでも活躍中のウエンツさんですが、ご自分にとって本業といえるものは？
何が本業だつていう感覚が僕にはないんです。逆に仕事を絞るか、まったく考えたことがないんです。たぶん、自分で道を絞る

ことはないと。人に「これが向いているよ」と言われてからやってみることが多いです。例えばミュージシャンだけに活動範囲を絞るとするのは、あんまり考えられないですね。それは基本的に自分が何になりたいとか、これじゃなきゃダメだとか、そういう強い願望がないからなのかもしれないです。でも、これも考えるんです。なんでこの仕事しているんだろって。そこで考えられるのが、僕は「おばあちゃん子」の延長で生きているということなんです。音楽やつて、ドラマやつていろいろやっているのも、おばあちゃんを楽しませたいからやつてる部分があります。もちろん、ファンやお客さんのためつていう意識はありますけど、どこかで根本的なことを考えると、おばあちゃんを思い浮かべます。

— 舞台という、いわば未知の世界に飛び込むわけですが、舞台に向けての目標を教えてください。
目標という一言で言えば、自分の見せ方をどうするかを考えているところなんです。なんかこの座組のなかには年齢的、経験的にも僕が薄くなつてしまつたかもしれない。自分の存在感を濃くしたい。大きく見せたいというのと違うんです。大きく見せるのではなくて、存在感を濃いものに。抽象的ですけど、たぶん自分のなかにあるものをきちんと感じて、向き合つて、近くにも見せません。これだけキャリアのある役者さんたちと一緒に稽古場にいるつて、普通の職業じゃあり得ないことですよね。僕にとってはアメリカ留学1ヶ月くらいの感覚かもしれない。それだけ貴重というか、きつと仕事に持ち帰るものがあると思うので、楽しみにしてるんです。

— 舞台という、いわば未知の世界に飛び込むわけですが、舞台に向けての目標を教えてください。
目標という一言で言えば、自分の見せ方をどうするかを考えているところなんです。なんかこの座組のなかには年齢的、経験的にも僕が薄くなつてしまつたかもしれない。自分の存在感を濃くしたい。大きく見せたいというのと違うんです。大きく見せるのではなくて、存在感を濃いものに。抽象的ですけど、たぶん自分のなかにあるものをきちんと感じて、向き合つて、近くにも見せません。これだけキャリアのある役者さんたちと一緒に稽古場にいるつて、普通の職業じゃあり得ないことですよね。僕にとってはアメリカ留学1ヶ月くらいの感覚かもしれない。それだけ貴重というか、きつと仕事に持ち帰るものがあると思うので、楽しみにしてるんです。

【表紙】&【表紙のヒト

構成◎坂口真実・渡辺敏恵 文◎田中虎之介 撮影◎宮川舞子 アートディレクター◎釣巻敏康 スタイリスト◎Die-co★(ウエンツ) ヘアメイク◎岡田いずみ(ウエンツ) 衣装協力(ウエンツ)◎ジャケット¥39,900、シャツ¥5,145、パンツ¥13,650、ベルト¥4,095、ウォレットチェーン¥3,045、四角いリング¥24,990、丸いリング¥10,290(2001高円寺店:03-5305-5868)

公演情報『雨の夏、三十人のジュリエットが還ってきた』

作◎清水邦夫 演出◎蛭川幸雄
出演◎風間 三田和代 真琴つばき 中川安奈 穂谷友子 石井優一 磯部勉 山本龍二 横田栄司/ウエンツ瑛士/古谷一行 他
5/6~30◎Bunkamuraシアターコクーン
お問い合わせ Bunkamura 03-3477-3244 <http://www.bunkamura.co.jp>



作・井上ひさし、演出・鶴川幸雄
音楽・宮川彬良
出演・藤原竜也 小栗旬 鈴木杏
辻萬長 吉田鋼太郎 白石加代子
大石蔵太 塚本幸男 高橋努 堀文
明 井面猛志
3/4~4/19 〇彩の国さいたま芸術
劇場大ホール、4/25~5/10 〇桃田
芸術劇場シアター・ドゥ・マンディ

巖流島こと舟島の決闘から6年
後。鎌倉の宝蓮寺で寺の住持
の平心(大石蔵太)によって、寺
開きの参籠権が催されていた。
その参加者は大檀那である材
木屋の木屋圭(白石加代子)
と筆屋乙女(鈴木杏)、大徳寺
の沢庵禅師(辻萬長)、將軍家
指南役の柳生宗矩(吉田鋼太
郎)。そして作事を務めた宮本
武蔵(藤原竜也)も加わってい
た。そこに舟島で一命を取りとめ
た佐々木小次郎(小栗旬)が現
れる。武蔵憎しの思いで行方を
追ってきた小次郎は、果たし状を
叩きつけ、2人は再び三日後の
朝に決闘を行うことになる。



もし佐々木小次郎が生きていたら？
巖流島の決闘の後日談として生まれた物語は
剣の道に生死をかける2人に
生きることを問いかける。
軽やかな笑いと重いテーマが剣の道と重なる
井上ひさしならではの新しい武蔵と小次郎論





決闘の日まで無駄な争いを避けるために、知恵をしぼった五人六別



この寺での再会と出来事は2人の生きを変えたのだろうか?



2人の決闘を阻止するため姿を変えて現れていたのは、この地に取り憑くさまざまな霊だった



筆屋乙女の父の仇討ちを! 小次郎は初心者に即座の剣術指南という苦境に...



鎌倉の小さな寺で作事をした武蔵、この寺の大檀那である筆屋乙女などが参籠庵で開山を祝うその場にまさか小次郎が現れるとは

武蔵と小次郎の 再決闘をはばむ意志

変わっていく関係

剣客・宮本武蔵の話なのだが、彼の兵法を借りて井上ひさしの「生きる」ことへの思いが込められている。

物語は、有名な巖流島のシーンから始まる。吉川英治の小説『宮本武蔵』では、決闘で佐々木小次郎を倒した武蔵は「手当によつては」助かると言い残して去り、小次郎の生死は読者の想像にゆだねられている。井上ひさしはそのラストシーンをモチーフに、死ななかつた小次郎が6年後に武蔵を探し当てて、再び決闘を挑むというシチュエーションでストーリーを展開する。

物語の行方には、当然のように2人の再決闘という大きな見せ場を用意してある。だが、本当の見せ場はそこに至るエピソードのなかで変わっていく2人の意識の変化であり、その影響を与える人々、沢庵禅師や柳生宗矩や、木屋まい、筆屋乙女といった女性たちの存在の面白さで、再会当初はひりひりするような緊張感で向き合っていた2人が、大詰めの決闘ではある種の同志の関係になっている様子が、笑いをまぶしたエピソードと人生論・剣法論のうんちくをなで描き出される。そして観客も、その流れに引き込まれて、武蔵と小次郎同様に「生きる」ことに正面から向き合われてしまうの

が、井上作品ならではの底力なのだ。

方法論の差が勝ちを決める

武蔵と小次郎を演じるのは、藤原竜也と小栗旬。剣と闘いの日々と心とを研ぎ澄まし、隙を作らず生きてきたものだけが持つ獣のようなむきだし野生が純粋で美しい。彼らを囲む辻萬長、吉田鋼太郎、白石加代子、鈴木杏をはじめとする役者たちの、緩急自在の演技が井上作品の軽みと鈍川演出のテーマ性を伝えている。

武蔵と小次郎は、突然巻き起こった筆屋乙女の父の仇討ちを助けるために、それぞれの剣法・兵法を教えるのだが、ここで2人の剣に対する方法論の違いが鮮やかに浮かび上がってくる。上段・下段などの構えに始まる剣の基本を論理的に伝授する小次郎と、素人が初めて剣を持つための捨て身ともいえるべき実践法を教える武蔵。そして武蔵の教えを実行し、みごとに侍の腕を切り落とす筆屋乙女。その方法論の差に、かつて巖流島での武蔵の勝利が重なる浮き上がる。

この物語にはさらに仕掛けがあつて、大詰めでは武蔵と小次郎の命のやりとりを妨げようとする。ある意志が姿を現す。そこには井上らしい荒唐無稽な笑いがあり、だからこそ剣客2人に死よりも生を考えさせようとする訴えが切実に伝わってくる。

使わない剣を求めて

ところで、公演パンフレットで井上ひさしは、いくつかのキーワードを語っている。「剣豪とは何か、剣の道とは人を殺しながら成長することではないのか」「侍は簡単に刀を抜かない。抜く場合はまず自分に刃を向ける。つまり自分の悪いところを斬ってしまう。綺麗になつたということ、相手を斬れる」等々。凶器をいつもその腰に携えていたからこそ、使わない心を求めて剣や禅の道を求めたのが剣客だつたら、なんとも自律的であるとともにアンビバレンツな存在である。

また井上は、武蔵が晩年近くに「真の兵法の病に成申候」と書いた言葉をもとに、台本のメモに「私の生は虚しい燃焼だった」というセリフを書き込んでいる。だが、その言葉に至らない武蔵を夢みるかのように、小次郎との別れのやりとりを生への思いを示唆して、この舞台は終わる。

脚本・宮藤官九郎、演出・いのうえひでのり。
このタッグが生み出した傑作
『メタルマクベス』から早3年。
待望の新作は、宮藤が

「いのうえ歌舞伎」を書き下ろした形に！
コントと愛憎劇が溶け合った、
エターテインメント性溢れる「大惨劇」となった今作。
人間の喜怒哀楽から産み落とされる
「渴望への雄叫び」が、文字通り、
いのうえ歌舞伎をPunkした!!

劇団☆新感線二〇〇九春興行

いのうえ歌舞伎・壊（パンク）

蜚蜚峠

KAGEROU
TOUGE

作・宮藤官九郎 演出・いのうえひでのり
出演・古田新太 堤真一 高岡早紀
勝地涼 木村仁 斎藤孝 山本かづ 瑠野慎吉 吉田マサル 中谷さとし 保坂雪 村木仁 少路勇介 川原正樹 前田裕他
右近健 逆木圭 河野まこと 村木千子 イデヤ 橋山本かろ 瑠野慎吉 吉田マサル 中谷さとし 保坂雪 村木仁 少路勇介 川原正樹 前田裕他
3/11 12 赤坂ACTシアター 4/21 5/7 梅田芸術劇場メインホール

街



蜚蜚峠。その強い日差しが大気を揺らさせ、見えないものを見せると言われるこの場所で、間太郎（古田新太）と銀之助（勝地涼）は出会った。過去の記憶が全くない間太郎と、女好きが崇り男性器を切り落とされた元俳優・銀之助は、何かの縁か、共に街へと降りていくことに。流れ着いた街「ろまん街」は、ヤクザ者たちの勢力争いが絶えぬ、荒れ果てた無法地帯だった。小競り合いを繰り返すこの街の二大勢力・立派組と天晴組は、それぞれ立派（橋本じゅん）と、天晴（堤真一）が仕切っている。必然のように争いに巻き込まれ、この街と関わりを持った間太郎たちは、曲者揃いのこの土地で、あらゆる因果を「紐解く存在」となっていく――。



蜚蜚蜚

その“浸透度”を 楽しみながら

闇太郎と共にろまん街にやってきて、果ては女郎になってしまおう。銀之助を演じた勝地涼。女の子として生まれるが、立派組跡目問題の標的にされ、男の子として育てられる。サルキジを演じた木村了。そして、ろまん街を仕切っていた先代の大親分うずらの長女であり、うずらの死後は「街を守りたい」という思いを暴走させる、立派組組長の妻、お寸を演じた高田聖子。この鼎談インタビューからは、その深いキャラクターや入り組んだ関係などに対し、その「浸透度」を楽しみながら参加している様子が伺え、期待感かもしれません。

性別を超えた所で 研ぎ澄まされた2人

——今作には濃いキャラクターが沢山登場しましたが、皆さんが演じられた役について、感想を聞かせて下さい。

高田 いやあ、（お寸は）複雑な人だと思えます。全部「良かれ」と思っているんだけど、どれも良かれにならない人ですから。私としては「どうしてそんなことをするのか？」の連続でした。

勝地 銀之助はすごくバカな役なんですけど、実は最近「本当はバカじゃないのかも」と感じることもあります。「アソコを切られて何もなくなっちゃったから、わざと明るくしてるのかな？」とか考えたり。それと、サルキジとの関係は面白いですね。銀之助は、あくまで男としてのサルキジが好きなので、（元の自分達に）「戻るう」って言われたら、それは全く違う話になってくる。

すごく自由に、のびのびとやれた

——勝地さんと木村さんは絡みの多い配役ですが、舞台上でのお互いの印象は？

木村（勝地さんを見ながら）頑張るな。声、すごいな。ずっと出て、ずっと喋ってるから。

高田 ほほ、キーン言ってるよね（笑）。

勝地 その方が楽なんです。

高田 お！告白だ。

勝地 もっと感情を出す役の方が難しいと思います。今回は、とにかく弾けていけばいいですもん。

同（笑）。

勝地 喉はしんどいんですけど、発散できるから楽しいんです。例えば、悩んでいるシーンより「石だ石だ！石をぶつけるー!!」と言っている方が、発散できるからいい。「しよがねーだろー」という台詞は、ほんとにそう思っているの、で大変じゃないんです。

——勝地さんから見た木村さんは？

こっちは楽しくなりますね。

木村 空気かなあ。始まる前の空気もそうだし、袖で待っている時の空気もそうだし。何だろかなあ……。家？

高田（笑）。

木村 そう、すごくアットホームな空気があるんですよ。安心できるというか。

勝地 毎日一緒にいるのに、この作品についてずっと話してて。飲んでる時もそうですよ。みんな「あのシーンのあそこが面白い」という話をしてる。それを聞いた後に、その気持ちで舞台に立つと、どんどん面白くなっていくんですよ。

キャラクター達の、それぞれの想い

——今作は「闇太郎と天晴」闇太郎とお泊

（高岡早紀）「立派とお寸」等々、キャラ同士の、1対1の関係。が面白いと感じたのですが、気になる組み合わせはありますか？

高田 あね、今回は珍しく村木仁ちゃんが悪役をやっているんですけど、その「蟹衛門と天晴」とかね。

勝地・木村 あ……。

木村 がめ吉（梶原善）さんと闇太郎の関係がちょっと気になった。

勝地・高田 あ……!!

木村 最後に刺し殺そうとする所とか「どれ位前からそう思ってたのかな？」って、すごく怖くなる。

勝地 俺は、最後のお寸の台詞にすごく感動するんですよ。「私もヤクザの娘じゃなかったら……」って。うずらの親分は回想でしか出てこな

勝地 稽古場では、「1、2、3で振り返る」とか、お互いそういうことに促われていたんです。けど、本番が始まってからは、いい意味ですごく自由に、のびのびとやれるようになったので、「一緒にやって凄く楽しいです。アドリブで程じゃないけど、銀之助とサルキジがその場にちゃんと入れられるから、そういうことを一緒に楽しめる人」。

——高田さんから見て、勝地さん木村さんの「新感線との相性」はどうですか？

高田 すごく良いと思います。改めて「良いです」と言うのもおかしいですけど、やっぱりね、

いから「どんな人物だったの？」というのが気になる。「うずらの親分とお寸」の関係はどうだったのかなあ。

高田 そう、お父さんなのに「親分」と呼ぶんですよ。父さんとか父ちゃんとか言わないんだって。

勝地 それぞれの想いがありますよね。

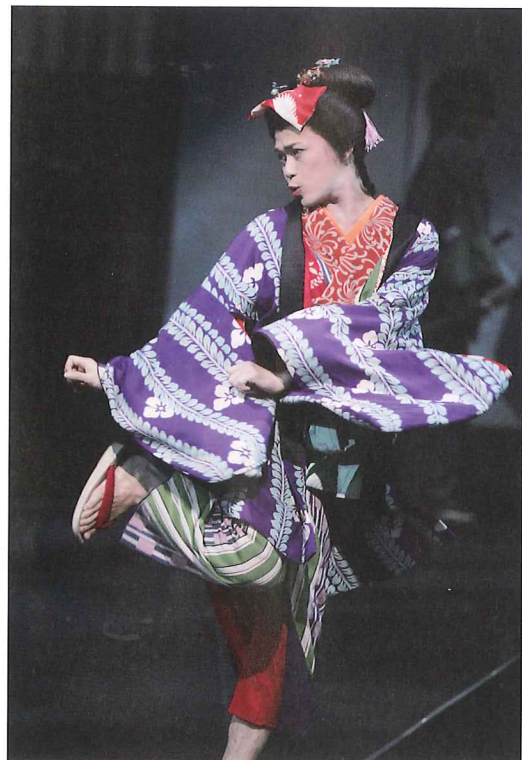
木村 あるね。

アレはたまらねえ

——最後に、今作のお気に入りのシーンを教えてください。

勝地 あ、それ俺さっき言っちゃいましたよ。もう、なに……？（笑）。

——（笑）。複数回答もアリです。



木村了

きむらりょう 〇88年生まれ、東京都出身。04年、映画「ムーンライト・ジェリーフィッシュ」にて映画初出演を果たす。主な舞台出演作には、『プレイバック part2 〜屋上の天使』（05年）、『罰法師』（08年）等がある。劇団☆新感線への出演は今作が初。

次回予定 〇メジャーリーグ・プロデュース『ベレスとメリサンド』10/1〜11 〇赤坂RED/THEATER

高田聖子

たかたしょうこ 〇奈良県出身。大学在学中にスカウトされ、劇団☆新感線に参加。以降、看板女優としてその存在感を示す。舞台や映画などで俳優として活動する傍ら、自身がプロデュースする演劇集団「月影十番勝負」にて座長を務めるなど、様々な形で活躍している。

次回予定 〇ブロードウェイ・ミュージカル『スベリング・ビー』7/17〜8/2 〇銀河劇場 〇InoueKabuki Shochiku-mix『童謡鬼』10月 〇新橋演舞場、11月 〇梅田芸術劇場

勝地涼

かつぢりょう 〇86年生まれ、東京都出身。00年のデビュー以降、映像や舞台など多方面で活躍。宮藤官九郎脚本作品への出演は、TVドラマ『未来講師めぐる』（08年）、映画『少年メリケンサック』（09年）等があり、劇団☆新感線への出演は、『犬顔家の一族の陰謀』（07年）に続く2作目となる。

次回予定 〇映画『少年メリケンサック』（宮藤官九郎監督）公開中 〇映画『カフーを待ちわびて』（中井友夫監督）公開中

高田 私も好きなシーンいっぱいあって、袖から見たりモニターから見たりするんですよ。何だろかな？

木村 僕は、ありきたりかもしれないけど、「最後の古田さんの『母上』という言い方が！あの一言だけで何回も泣かされる。すごくズキンとききます」。

勝地 俺はラスト近くの闇太郎の台詞が感動する。「俺はあんた達が好きだ、だからあんた達が俺を人殺しと呼ぶからには……」

同 ああ……。

高田 アレはたまらねえ。私は……（銀之助とサルキジの「せえので戻るうぜ」っていう、あそこが好きなんです。あれも、やっぱりたまらない笑）。

私達にはどうやっても出来ないことが出来る人達ですよ。この瑞々しさ、真っ直ぐさというのは何にも代えがたいものだし、2人はすごく真面目だから、キレイな芝居なんです。「どう見せるか」とかは置いておいて、やっぱり、それが一番感動することだから。でも、それに甘んじず毎日切磋琢磨してくれるし、すごく刺激になりますね。

——お2人は「新感線」の3人が合うなあというポイントがあります？

勝地 皆さん舞台上でほんとに楽しんで、生き生きしているんです。そういう場所にいると、



蜚蜚峠



面白さ“あ”

見出す面白さ

「コントシーンとシリアスシーンの交錯具合が秀逸で、『笑いながら息をのみ、ドキドキしながら涙する』怒濤の展開が繰り広げられた『蜚蜚峠』。主人公 関太郎を演じた古田新太は、今作の楽しみ方のひとつとして「解釈の多様性」をあげた。劇中に埋没する面白さを見出す面白さ。それもまた、この作品ならではの魅力でしょう。

関太郎の大変さ

今回は……大変ですね（笑）。（殺陣のシーンで）下駄は距離が短いので、自分からむかえに行かなきゃいけないんです。刀が長いので、刀を受けてから殴ろうと思っても届かないので、もう一歩踏み込まないと殴れない。その辺がキツイです。

関太郎は、過去の記憶がないことに振り回された人間だと思っただけです。考える頭はある、常識もある。でも、記憶はない。そうすると、言われたことを全部信用するしかないし、周囲にキアラを押し付けられても「そうだったのか」としか言えない。「言われたことを全部鵜呑みにせざるを得ない」というのは、最初は難しかったです。振り回され方も、周りの人達が思い出さず話しているに過ぎないから、事実とは大分変わっていたとしても、それを信用するしかない。だから、最後の方で記憶が蘇った時も、関太郎の中ではちやぶちやり返した様な騒ぎだったと思うんです。

「悪い、おめーらじゃねーかよー」って。あそこは色んな解釈が出来ますよね。関太郎が思い出したことで、オイラの中では、おめーらがうちの母親を殺したのが発端だろうが、「ということない、曲がって、絶対おめーらには殺されない」と。貧乏といえ、曲がりなりにも武家ですからね。それが、ヤクザ者ともに好き勝手やられてたんですから、腕の立つ真面目な人間だったらキレて当然だ、とオイラは解釈しているんです。

ニュータイプのヒーロー像

新感覚では、ある程度ダークサイドも含めたヒロイックな物語が多いので、善だらけが悪だらけが、スパーマンしか出てこないんです。つつん（堤真一）との最後の立ち回り、お互いハハハしながらガス欠寸前まで戦う、みたいなのは滅多にないから、やっぱり面白い。立ち回りで見合った時、お互い際際で戦っているんだという表現の仕方とか（高岡早紀ちゃんに泣きついて「死にたくない」って言ったんだとか……）。表現的には、定番の新感覚と違っているのは楽しいです。



作家・宮藤官九郎のマイノリティ

今回の宮藤くんの本だと、勝地（涼くんの役とか（木村）くん）の役とかは、やっぱり面白いですね。男として育てられた女の子と、女の子が大好きでしかなかったけど、切られちゃった男の子が、生死をかけてあがいて、生きていくっていうのがね。宮藤くんすごいなと思います。あれって、性同、性障害やゲイの人が感情移入出来る部分だと思う。かえって、ノーマルな性しか持っていない人間には、あのシーンで銀之助がサルギンを殺してしまう理由が分からないと思うんです。やっぱり、マイノリティだけが持っている、複雑なものがないと。普通に考えたら「殺さなくてもいいじゃないか？」と思っちゃいますけど、あの2人の、ものすごく複雑な気持ちを考えてみると、そんな感じがね。関太郎にも天晴にも結構あると思うんです。表面に流れる、中学生が書いたコントみたいな所でみんな感嘆されちゃうんだけど（笑）、根底はすごく面白いんですよ。演劇の楽しみ方のひとつである「深読み」をしようと思つたら、いくらでも出来るしね。新感覚はいつも分かり易いお話を提供してきたから、その感覚と宮藤くんのコントが両方相見えて、誤摩化されがちなんですけど、ぶっちゃけ「演劇としてちゃんと観たらすごく面白いよ」と思います。関太郎の登場シーンだって、最初はバカのふりをしてるコントなんですけど、実はお話の流れを喋るシンなんですよ。「死んだ母親や生きた女を、幻の中に見る」とかあるとか「話が段々まともになっていくから油断するなよ」とか。全体の流れを全て最初に語ってる訳で、やっぱり面白い、すいなおと思いますね。

古田新太

ふるたあらた。1965年生まれ。兵庫県出身。大阪芸大在学中の94年に劇団☆新感線に参加し、以降看板俳優として活躍。09年は古田自身の俳優生活25周年にあたり、多数の舞台作品に出演する。本年最も目が離せない舞台俳優のひとつ。

次回予定：Bunka Bu 20周年記念企画「極楽」6/7・30 Bunka Bu アタークリン Bunka Bu ロテス、なすの三銃士 第2回企画公演「10/13・11/8 PARCO劇場」この地方公演を予定。日本テレビ「クワガタ」毎週土曜 0:50~1:00 A 新潮文庫 順に風（新潮社 発売中）



家全体がドタバタと慌ただしくなる中、派手な身なりの屈強な男が下荒井家の敷居をまたぐ。男は下荒井家を飛び出して以来全くの音信不通となっていた次男、大洋（音尾琢真）だった。いかげつ振る舞い的大洋に、兄弟達が疑惑の目を向けていると、突然の銃声が下荒井家を襲う。やはり大洋は、何か大きな騒動の渦中にあるようだ。久々に兄弟5人が揃ったにも関わらず、重たい空気が流れる下荒井家。こうして、兄弟達のそれぞれの想いが、ゆっくりと溢れ出していくのだが――。

翌日、お見合いに密かな期待を寄せる大造は、朝からどうも落ち着きがない。このお見合いが自身の金策に関係している剛助も、婚約者の紹介を前に緊張気味の修一も、同様にそわそわ。そわそわした兄弟の様子を面白がっている健二は大造に嘘を吹き込み、その嘘を真に受けた大造は、修一の婚約者・郁代（音尾琢真）に一目惚れしてしまう。それが自身の勘違いだと気づいた大造は……、嘘を吹き込んだ健二は……、そして、本物のお見合い相手である鬼東藍（森崎博之）が下荒井家にやってくる……。

下荒井（しもあらい）家の兄弟は、なかなかの個性派揃い。今日は亡き父を偲ぶ「10年祭」の為、皆が下荒井家の母屋に集っていた。三男の剛助（安田顕）が、長男の大造（森崎博之）にお見合い話を持ち掛けるのだが……実はこれがトラブルの始まり。兄達に自分の婚約者の紹介を決意した五男修二（戸次重幸）を眺めながら、四男の健二（大泉洋）は、イタズラ心をとまめかせる。

下荒井兄弟の スプリングハズ、カム。



スプリングハズ、カム。

脚本・演出◇大泉洋
出演◇TEAM NACS（森崎博之・安田顕・戸次重幸・大泉洋・音尾琢真）
2/20～3/14◎東京・サンシャイン劇場、3/18～24◎大阪・イオン化粧品シアター-BRAVA!、3/27～29◎福岡・ももちパレス、4/3～5◎名古屋・名鉄ホール、4/9～12◎仙台・電力ホール、4/17～29◎札幌・道新ホール

引きこもりの四男・健二（33歳）【大泉】は個性的な服装をした這輪マニア。2階の自室には這輪グッズ、盗聴テープが大量に置いてある。

音尾は、下荒井家の次男・大洋（37歳）【前ページ参照】と、修一の婚約者・郁代の2役を演じる。大洋は高校在学中に下荒井家を飛び出し、それ以来音信不通に。兄弟達は久しぶりの再会を果たすが、大洋は良縁れぬ家になっていた。

小さな芸能事務所を経営する三男の剛助（35歳）【安田】。最近経営状態が厳しくなく、大造を結婚させ、下荒井家の母屋売却を金んでいる。妻は戸次が演じた佳代（37歳）。

長男の大造（39歳）【森崎】は父の跡を継ぎ、下荒井ギター教室を営んでいる。森崎はこの他、大造のお見合い相手である鬼東藍（36歳）を演じた。



大手楽器メーカー「城ヶ崎楽器」に勤める五男・修一(29歳)【戸次】は、会社令嬢である城ヶ崎郁代(29歳)【音尾】と婚約。今回はその人を紹介する為の下荒井家を訪れた。



TEAM NACS

下荒井兄弟の

待望の新作公演、脚本・演出は大泉洋、
タイトルは『下荒井兄弟のスプリング、ハズ、カム。』——。
何かと話題の多かった今作が、
09年、日本中のファンに“春の陽気”をお届けしました。
5人で創り、5人で悩み、5人で演じるスタイルのまま、
TEAM NACS は新たな扉を開け放ちました!

観客の気持ちを手放さない作品

坂口真人

真摯に表現と向き合っている人たちが観るのは、なにもまして楽しいものです。チームナックスの人たちは、今回演じられた下荒井家の5人兄弟と同じように、お互いの事情や生き方(もちろんお芝居への関わり方も)の違いから起こる様々な出来事を、「お互いを思いやりながら」真摯な検討をくり返し、試行錯誤を重ねてきたのでしょう。その絆があればこそ、長年苦労を共にしてきたものたちだけが手にできる雰囲気、舞台の上で作り上げていました。舞台の下荒井兄弟と、実在するチームナックスとが上手に重なって、いつかはこの混乱を解決できるといふ暖かな空気を醸し出していました。

今回のようなシチュエーションコメディは、ギリギリあり得ないような状況設定をして、それに対して押し引き引いたりのアクションで観客を引き込み、ドラマを進行させていくというのが、大きな要素としてあります。一歩間違えば「ありえない」と観客に見放されてしまう出来事を、所要場所に仕掛けられた遊び心や男優が女性役を演じるなどして、「今まで青年の役ででていた人が、妙齡の女性になって出てくるのに違和感がなく、べたつていく表現でとてもよいアクセントにかなっていましたある時は繊細に注もなっていましたある時は強烈に意深く、ある時は勇気を持って強引に、際どいシチュエーションを持っていていきます。その観客の気持ちを手放さない進行は、エンターテインメントの王道をおおいに意識したもので、その心意気をしっかりと受け止めてきました。



下荒井兄弟のスプリング、ハズ、カム。

NACSTYLE

TEAM NACS 責任編集!?

今回の担当者:音尾琢真

「演劇ぶっくにナックス責任編集のページを作ろう」ということで、ナックスらしいスタイルで自由に! を目指すこの企画・NACSTYLE(なっくすたいる)。今回は、地球ゴージャスの公演に出演する音尾さんと、その作・演出を手がける岸谷五朗さんとの対談。ドラマ撮影中に一緒に飲んで音尾さんが風邪をこじらせて以来(!)、親交の深い2人。本公演の話からスタートしたはずが、最近ハマっているお酒、そして各々のユニットの在り方についてと、次第に「飲み屋」トークに……。絶妙なかけあいを織り交ぜつつ盛り上がったトーク、かなりの濃さです。

地球ゴージャス初参戦は、渋い役で!

岸谷●記者会見でも言ったけど、今回の公演で音尾ちゃんにやってもらうのは、渋い役世間に対して仲間に対して、モノに対して、いちゃばん敵しい役かもしれない。

音尾●その補足説明、大事です。『渋い』っていう言葉だけだと、僕は「ただだ、ニヒルな顔してはいはい、んじやないか」と思っちゃうから(笑)。ニヒルな役は好きですね。『下荒井兄弟』ではアクの強いニヒルな役から女子まで、幅広くなっていましたけれども、岸谷●ニヒルな役もやっているの? オレ、札幌で観る予定にしているから、早く観たいな。(※取材日は3月中旬)

音尾●うーん、でも五朗さんのイメージとはまた違うニヒルかもしれないです。ナックスでやっているのは、大衆と僕で考えるニヒルな役で、五朗さんと作るんだってまた別のものが出てくると感じますから。岸谷●オレの「ニヒル」は、漢字で言うところ、強骨きうこつ(こつ)な感じかな。で、多分そういう強さを音尾ちゃんは持っている。前に共演して、その芝居を観たとき、思ったんだよね。根っここの部分の強い役者だ。って。音尾●嬉しいですね。まずは家に帰って、キョウコツ(こつ)という漢字なのか、こつ(こつ)調べないと(笑)。僕の中で、映像で見る岸谷さんと、舞台で観る岸谷さんとはまた別な感じなんですよ。舞台用の表現は、エンターテインメント性を強く出して、映像で見せるときは、何もしない表情からもその人の内面が浮き彫りになるような、すばらしい演技をされている。その2つをどうにかして盗み取りたい。と。稽古場ではどちらの姿も見られるでしょうから。

岸谷●やっぱり演技することが好きなんだらうね、音尾●そうですね。僕は殺めちゃったことばある。音尾●ないですよ(笑)。岸谷●殺めなくても、すごく怒っちゃったことは。音尾●うーん、ないですね。すごく理性が働くんですよ。僕怒っても、ものすごく強い理性が、僕を止めるんです。岸谷●そういう面もある人なのか、と思ったことがあってね。じゃあ、人前でウワァと泣いたことはある? 音尾●そう考えてみると、大人になってからはないですね。岸谷●メンバーの前じゃない? 音尾●絶対にないです。音尾●いやいや(笑)。舞台を作っているときは、そりゃもう、とてつもなく仲悪いんですけど、そういった意味で逆に僕が聞きたいのは、寺脇さんと2人でやられてきた中で、険悪な雰囲気になったことあるんですか? 岸谷●あ、オレはね、一度もない。知り合ってから25年間、一回もケンカしたことがない。コンビの漫才師でも飯は一緒に食べないと、オレはできるなら、いつも一緒に食べたい感じ。音尾●……気持ち悪い(笑)。岸谷●気持ち悪い(笑)。オレが他に何かって怒っているのを、寺脇が見ているっていうのは、いっぱいあるけど、ヤツが優しいのかな。他のヤツに言わせたら、寺脇はすごいスケテで、思ってた不器用だったりして、人としてまだできていないところか。でもオレにとっては、すごくできてるんだよね。オレが励まして

実は、お互いに訊いてみたかったこと

岸谷●すごく頭にきて、人を殺めちゃったことはある。音尾●ないですよ(笑)。岸谷●殺めなくても、すごく怒っちゃったことは。音尾●うーん、ないですね。すごく理性が働くんですよ。僕怒っても、ものすごく強い理性が、僕を止めるんです。岸谷●そういう面もある人なのか、と思ったことがあってね。じゃあ、人前でウワァと泣いたことはある? 音尾●そう考えてみると、大人になってからはないですね。岸谷●メンバーの前じゃない? 音尾●絶対にないです。音尾●いやいや(笑)。舞台を作っているときは、そりゃもう、とてつもなく仲悪いんですけど、そういった意味で逆に僕が聞きたいのは、寺脇さんと2人でやられてきた中で、険悪な雰囲気になったことあるんですか? 岸谷●あ、オレはね、一度もない。知り合ってから25年間、一回もケンカしたことがない。コンビの漫才師でも飯は一緒に食べないと、オレはできるなら、いつも一緒に食べたい感じ。音尾●……気持ち悪い(笑)。岸谷●気持ち悪い(笑)。オレが他に何かって怒っているのを、寺脇が見ているっていうのは、いっぱいあるけど、ヤツが優しいのかな。他のヤツに言わせたら、寺脇はすごいスケテで、思ってた不器用だったりして、人としてまだできていないところか。でもオレにとっては、すごくできてるんだよね。オレが励まして

音尾●そう考えてみると、大人になってからはないですね。岸谷●メンバーの前じゃない? 音尾●絶対にないです。音尾●いやいや(笑)。舞台を作っているときは、そりゃもう、とてつもなく仲悪いんですけど、そういった意味で逆に僕が聞きたいのは、寺脇さんと2人でやられてきた中で、険悪な雰囲気になったことあるんですか? 岸谷●あ、オレはね、一度もない。知り合ってから25年間、一回もケンカしたことがない。コンビの漫才師でも飯は一緒に食べないと、オレはできるなら、いつも一緒に食べたい感じ。音尾●……気持ち悪い(笑)。岸谷●気持ち悪い(笑)。オレが他に何かって怒っているのを、寺脇が見ているっていうのは、いっぱいあるけど、ヤツが優しいのかな。他のヤツに言わせたら、寺脇はすごいスケテで、思ってた不器用だったりして、人としてまだできていないところか。でもオレにとっては、すごくできてるんだよね。オレが励まして

ナックスの面々でコンビを組むなら?

岸谷●もし「コンビにならなきゃいけない」って言われたら、誰を取る? 音尾●難しい……。なんて難しい質問を! ……人気が取らな大衆で、演出してもらってるなら、リターカシゲで……。やらしいな俺(笑)。本当に個性的なのを求めたら、安田。安田、頭でっかくながら、面白いかもしれないですね。岸谷●オレは全然みんなをよく知らないけど、オレも安田と音尾さんのツーショットが合う気がするんだ。音尾●あら、そうですか、へー。岸谷●ま、ナックスは5人バラバラなのがいんだよね。バラバラな感じが楽しい。音尾●いろんな人から、そう言ってもらえてます。本当にこのバラバラな5人だからいいんだって。ずっと一緒にいると、自分たちではなかなか分からないんですけど、これからは自分たちで頑張りたいですね。



岸谷五朗

きしたにころう 64年生まれ、東京都出身。94年、寺脇康文と企画ユニット「地球ゴージャス」を結成。以降、すべての作品の演出を手がける。テレビドラマ、舞台、映画を中心に精力的に活動。09年には初監督映画作品も公開予定。現在公開中の映画「クロスZEROII」に出演。

次回予定◇ダイワハウスSpecial 地球ゴージャスプロデュース公演 Vol.10「星の大地に降る涙」6/20-7/26◎東京・赤坂ACTシアター、7/30-8/3◎札幌・道新ホール、8/7-17◎大阪・梅田芸術劇場 メインホール【東京・大阪は追加公演あり】◇映画「キラリ・ヴァージンロード」(岸谷五朗監督)今秋公開予定



音尾琢真

おととくま 76年生まれ、北海道旭川市出身。演劇ユニット「TEAM NACS」所属。役者業だけでなく、コラム連載、ラジオパーソナリティなど、多彩なジャンルで活躍。TEAM NACSでは最年少。

次回予定◇ダイワハウスSpecial 地球ゴージャスプロデュース公演 Vol.10「星の大地に降る涙」6/20-7/26◎東京・赤坂ACTシアター、7/30-8/3◎札幌・道新ホール、8/7-17◎大阪・梅田芸術劇場 メインホール【東京・大阪は追加公演あり】◇映画「銀色の雨」(井井貴之監督)今秋公開予定

飲んでアツク語るの、やっぱり芝居

我々は、音尾●楽しいですよ。稽古場ではいろいろ奪って盗んで、ナックスに持って帰って「お前はすっかり岸谷派だ」と言われるのが、僕の目標です! 飲んでアツク語るの、やっぱり芝居

音尾●初めて五朗さんにお会いしたときは、もそれは雲の上の人物ですよ。その後、マダマで一緒に、お芝居もさることながら、人としての器のデカさに、僕は感動したわけですよ。本当に大きくて、懐が深い。敵しい目をするときもあるけれど、心の奥から深い優しさが滲み出ているんですよ。これはアニキだ、男がホレる男だ。岸谷●あのドラマ以来、何度も飲んでるけど、飲めば芝居の話をして、いよいよ頭からゲツまで。音尾●じつと話す感じがですね。ジワリジワリと飲みつたんだ、ヒッチが早くなって……。岸谷●この時間からもう飲みたいよね。音尾●すでに飲みたいです(笑)。いよいよ気持ちいいんですよ。夕方、夕方の時間帯から飲むのって、岸谷●初めはビール? で、2番目はつまみによって……。音尾●焼酎、日本酒、ワイン。最近はウイスキーとか。岸谷●ウイスキーって、実はいちゃばん言ったりするよね。音尾●そう! やっぱアニキ!! さすがアニキッす。岸谷●任せとけ(ニヤリ)。シングルモルトは本当に味があるんだよね。ウイスキーの味を覚えると、ヤバイよね。音尾●いやいや、やっぱり違うな、アニキ! 一歩先を行ってますね。度の稽古のときは、ウイスキー持参します! 岸谷●……。

音尾●焼酎、日本酒、ワイン。最近はウイスキーとか。岸谷●ウイスキーって、実はいちゃばん言ったりするよね。音尾●そう! やっぱアニキ!! さすがアニキッす。岸谷●任せとけ(ニヤリ)。シングルモルトは本当に味があるんだよね。ウイスキーの味を覚えると、ヤバイよね。音尾●いやいや、やっぱり違うな、アニキ! 一歩先を行ってますね。度の稽古のときは、ウイスキー持参します! 岸谷●……。

音尾●焼酎、日本酒、ワイン。最近はウイスキーとか。岸谷●ウイスキーって、実はいちゃばん言ったりするよね。音尾●そう! やっぱアニキ!! さすがアニキッす。岸谷●任せとけ(ニヤリ)。シングルモルトは本当に味があるんだよね。ウイスキーの味を覚えると、ヤバイよね。音尾●いやいや、やっぱり違うな、アニキ! 一歩先を行ってますね。度の稽古のときは、ウイスキー持参します! 岸谷●……。

音尾●焼酎、日本酒、ワイン。最近はウイスキーとか。岸谷●ウイスキーって、実はいちゃばん言ったりするよね。音尾●そう! やっぱアニキ!! さすがアニキッす。岸谷●任せとけ(ニヤリ)。シングルモルトは本当に味があるんだよね。ウイスキーの味を覚えると、ヤバイよね。音尾●いやいや、やっぱり違うな、アニキ! 一歩先を行ってますね。度の稽古のときは、ウイスキー持参します! 岸谷●……。

音尾●焼酎、日本酒、ワイン。最近はウイスキーとか。岸谷●ウイスキーって、実はいちゃばん言ったりするよね。音尾●そう! やっぱアニキ!! さすがアニキッす。岸谷●任せとけ(ニヤリ)。シングルモルトは本当に味があるんだよね。ウイスキーの味を覚えると、ヤバイよね。音尾●いやいや、やっぱり違うな、アニキ! 一歩先を行ってますね。度の稽古のときは、ウイスキー持参します! 岸谷●……。

音尾●焼酎、日本酒、ワイン。最近はウイスキーとか。岸谷●ウイスキーって、実はいちゃばん言ったりするよね。音尾●そう! やっぱアニキ!! さすがアニキッす。岸谷●任せとけ(ニヤリ)。シングルモルトは本当に味があるんだよね。ウイスキーの味を覚えると、ヤバイよね。音尾●いやいや、やっぱり違うな、アニキ! 一歩先を行ってますね。度の稽古のときは、ウイスキー持参します! 岸谷●……。



光の帝国

『光の帝国』
原作◎恩田陸「大きな引き出し」(集英社
「光の帝国」所収)
脚本・演出◎成井豊+真柴あずき
出演◎畑中智行 岡内美香子 坂口理恵
大内厚雄 阿部丈二 小林千恵 小多田直
樹 井上麻美子 須田本大樹
2/19~22◎サンケイホールブリーゼ、
3/5~29◎新宿FACE



『光の帝国』
春田家一族には、ある不思議な力があつた。それは「目を通した書物を完璧に暗記する能力」。そして「他人に触れることで、その人の記憶を全てコピー出来る能力」。この能力故に特殊な仕事を担う両親は、全国各地を飛び回り、忙しい毎日を送っていた。中学1年生の春田記実子(岡内美香子)と小学4年生の春田光紀(畑中智行)も、両親の仕事の都合で転校を繰り返す日々。この能力のせいで友達が出来ないと書き込む光紀だったが、ある日、光紀の「平家物語の暗唱」を褒めてくれる人間が現れる。その人こそ、光紀に初めて出来た友達・猪狩義正医師(阿部丈二)だった。放課後、猪狩先生とお喋りすることが何よりの楽しみとなった光紀だが、春田家の人々も、そして猪狩家の人々も、2人の親子に心配の眼差しを向けていた……。



すべての風景の中にあなたがいます

原作◎尾形真治「未来のおもいで」(光文社文庫刊)
脚本・演出◎成井豊+真柴あずき
出演◎岡田達也 温井摩耶 岡田さつき 細見大輔 左東広之 多田直人 久保田晶子 榎野杏那
2/19~22◎サンケイホールブリーゼ、
3/5~29◎新宿FACE



『すべての風景の中にあなたがいます』
イラストレーターの滝水浩一(岡田達也)が、その「不思議な体験」をしたのは、白鳥山の山頂付近の洞窟だった。登山中、突然の雷雨に見舞われた彼は、慌てて近くの洞窟に駆け込む。その穴で一緒に雨宿りをした美しい女性に、運命的な出会いを感じた滝水は、彼女が忘れていった手帳を頼りに、彼女の身元を辿ろうとした。しかし、そこに書かれていた名前「藤枝沙穂流(ふじえださはる/温井摩耶)」本人には、どうしても辿り着けない。どうやら彼女は、今から数十年前の未来に生きている「未来人」のようなのだ。白鳥山の洞窟で、彼女との「時空を超えた文通」を始めた滝水は、ある出来事をきっかけに、彼女が暮らす未来へと、タイムスリップする冒険を繰り返す……。



ド、というのが、すごくキャラメルティストなんです。阿部 いつものハーフタイムシアターだと、方向性の似ている2作品という印象があるんですけど、今回は全くベクトルの違う作品なので、ちょっと深いテーマの作品を安心して提示できる。そういう点で、すごくいいバランスだと思っています。温井 多分、投げた球が違うんだと思う。(こち(すてー)はストレート。阿部 そうそう。例えるなら、コカコーラみたいな感じだと思うんですよ。スカッと瞬間の楽しさ。「光」の方は……漢方薬みたいな感じ(笑)。人間の欠点みたいなものを、出せたらいいな。では、ご自身が演じられた役への感想を。阿部 僕はこれまで、笑いを仕掛ける役が多かったんですけど、今回はストーリーを担う役割だったので、「そういう役もちゃんと出来るぞ」という所を見せる良いチャンスだという気持ちがありました。だから……ものすごいプレッシャーで(苦笑)。舞台に立たれている今、手応えは感じていますか? 阿部 いや、いっぱいはいです(笑)。ただ、大内(厚雄)さんと畑中さんと、これ程がつり絡むことがなかったので、舞

ハーフタイムな日々、公開します! 60分のお芝居の2本立て公演。濃厚で贅沢な合計2時間……。これが、キャラメルボックス独自の上演スタイルでもある「ハーフタイムシアター」です。今年のラインナップは、尾形真治と恩田陸の小説を原作とした2作品。このインタビュアーでは「すべての風景の中にあなたがいます」から温井摩耶、「光の帝国」から阿部丈二にご登場頂きました。それぞれの作品で、中心人物を支えるキーパーソンを演じたお2人のハーフタイムな日々をどうぞ!

温井摩耶 阿部丈二

ぬくいまや◎79年生まれ、神奈川県出身。00年「クローズ・ユア・アイズ」より演劇集団キャラメルボックスへ参加。『すべての風景の中にあなたがいます』では、主人公の滝水浩一に一目惚れされる藤枝沙穂流を演じた。

次回予定◎演劇集団キャラメルボックス 2009サマーツアー「さよならノース」8/27~9/13◎紀伊國屋サザンシアター、9/17~20◎梅田芸術劇場 シアタードラマシティ

台上で先輩達とぶつかるのは楽しいです。やり甲斐を感じながらやっています。温井 私は一目惚れされる役なので、その説得力みたいなことをすごく考えたんですけど、まあ……普段「一目惚れされることってまずありませんから(笑)。でも、「美人」というだけなら、私がキャストイングされる必要はないと思っただけです。私なりのチャミングとか、人間らしい不器用さ、なんとも「愛せるなあ」みたいな(笑)、人間の欠点みたいなものが出せたらいいなと。たまにやりすぎて、「あそこはやり過ぎだ」ってダメ出しされますけど(笑)。最後に、今回の東京公演は、新宿FACEで上演されました。この劇場に関する印象はどうですか? 温井 そうですね。お客さんと近くにいる感じがしました。阿部 今回の2本で、劇場が小さい方が観やすいお芝居だと思っただけです。だから、この距離感は良かったですね。ただやっぱり、お客さんのお尻の心配はあります(苦笑)。温井 お客さんに何も隠さない距離感。ライブハウスのような「一緒に作品を作っている一体感」が感じられました。見せようという気構えは切なく、舞台上で自分が感じたものを、ばっとなおせる空間。だから、なんか、幸せでしたな。

ベクトルの全く違う2作品 阿部 今回の2作品に対する感想を聞かせて下さい。阿部 キャラメルボックスのファンが入りやすいのは「すべて」の方だと思うんですけど、逆に「光」の方は、どちらかと言うと、お客さんに新しいものを提示する作品だと思っています。温井 「すべて」の方は、テンポが速くて笑いがあつて、ラブストーリーでハッピーエンド。阿部 「光」の方は、絶対成功させたい!というの、みんなの共通認識として強くあつたと思います。後輩の僕が言うのもおかしいですけど。——今回、畑中(智行)さんが1年振りに出演されましたね。阿部 「畑中さんの復帰作を絶対成功させたい!」というのが、みんなの共通認識として強くあつたと思います。後輩の僕が言うのもおかしいですけど。

演出家・段田安則の 天才的な稽古場？

段田安則の演出家デビュー作『夜の来訪者』は、サスペンスとしても心理ドラマとしても、心地よい緊張感溢れる舞台となった。そのなかで「家の娘と息子で、リアルな人間模様を見せてくれた坂井真紀と八嶋智人、そして演出家の段田安則と同時主役の警官を演じた段田に、稽古場と本番での様子を聞く。

ガッカリです！

——稽古場での演出作業は楽しかったですか？

段田 今思うと楽しかったんですが、当初は毎日「どう言おうかな？ 何を言おうかな」と内心ドキドキして。でもあまり自信なさそうに見えてもいけなし（笑）、表面は平静を装っていました。

八嶋 まったくそうは見えなかったですよ。最初に装置の模型を見せられて「こうしたい」と台本にない部分の説明があつて。そういうサブライズがあるとワクワクするし、すごく尊敬していたんです。でも今、不安だったと聞いて、ガッカリです（笑）。

坂井 私は、段田さんらしいという上品だなと思いました。それは竹まいたつたり生き方なんです。それが役者との距離感にいい感じに出ていて、まず種を蒔いて、あとはそれぞれが育てなさいという自由さがあつた。だから毎日、限らない可能性があることを教えてくださっていると感動しながら稽古していったんですが、私もガッカリです（笑）。

段田 2人に誉めていただけて、嬉しです。

——役者に自由な演出ということですが、八嶋さんはいかに抑えてたのが印象的だ。

八嶋 自由にもいろいろあるんですが、

段田さんの場合は「大人な自由さ」なんです。客席への責任をそれぞれが担う。共演者を信じてきちんとコミュニケーションしなくてはいけないという。最初に段田さんから「相手のセリフをきちんと聞くように」と言われて、そのことに集中したせいか、お客さんの存在をあまり意識せずにやれたんです。そんなことは初めて。それが段田流というか、見えない圧力をかけられていたのかもしれないけど（笑）。

当て書き演出？

——千沙子と兼郎は、警官との会話で内面が変化しますが、そのプロセスはどこまで意識的に演じてますか？

坂井 千沙子はたぶん全部わかったわけではなくて、わかりたいけど知りたくない部分もあつて、揺れているままで終わっていると思います。私自身、毎日発見があつて、それによって千沙子の変化も流れのなかで違ってきて意識する部分も変化します。相手のセリフを聞きながら漂っていくのが楽しかったです。

八嶋 兼郎は父親との確執があるし、もともと適当なヤツなんです。最後のほうで「見えない部分も見えてるんですが、そのあとどう暮らしていくのかはノープランだし（笑）。ラストシーンでは一番脅えてたり、弱い人間なんです。稽古初めの頃、ちょっと強いテイストを出していたら、段田さんから「家を出てもやていけるように見える」と指摘されて、それがよかつたんだと思います。観客にきた知り合いに「お前の役が新鮮で、初めていいと思った」と言われて、段田様です（笑）。

——八嶋さんと坂井さんだけでなく、全員が当て書きみたにはまって見えるのは演出の力ですか？

段田 そんな大仰なことではないんですが、でも八嶋君とか高橋君が、これまでにない顔を見せたと言われると嬉しいですね。自分が俳優だけで出ている

と、他の人が誉められると腹が立つんですが（笑）。役者は、幅を広げようと思つても自分ではなかなか難しいものですが、この作品がこんな声も出せるんだとか、こんな面もあるんだと気づく機会になったとしたらよかつたです。

ホメだしメモ

——演出家として、役者、坂井真紀と八嶋智人を語っていただく？

段田 僕はダメだしが嫌いでホメだしするんですが、坂井さんはアドバイスにとっても柔軟に反応してくれる女優さんです。八嶋くんはふだんも面白くて、

そこがこの役に生きていますが、逆の一面もまだまだ持っている俳優だと思つています。

——2人から見た役者、段田安則は？

八嶋 まず警官という役は誰の演出も受けてない。つまりホメだしをされてないんです（笑）。稽古場で段田さんは代役を立てなくて、これは会話劇です。相手が変わらないほうが僕たちにとってはありがたいんですが、驚いたのは、稽古中に小さい紙に僕たちへのホメだしをメモしてあるんです。自分のセリフを言いつつ、

段田 もし自分の相手役がメモしてたらイヤでしょうね（笑）。でも覚えきれなかったで（笑）。

八嶋智人 やしまのりと○奈良県出身。大学在学中に、松村武幸の劇団「カムカムニキナ」の旗揚げに参加。以後同劇団の主要メンバーとして活動。ながら野田秀樹、三谷幸喜など人気作家・演出家の舞台にも出演。TVドラマ、バラエティでも人気を博す。昨年は初主演映画「秋深き」が話題に。近年の舞台は、「イノの男」、長瀬圭史演出「エドモンド」「イノの男」、生瀬勝久演出「橋を渡ったら泣け」、池田成志演出「49日後」などがある。

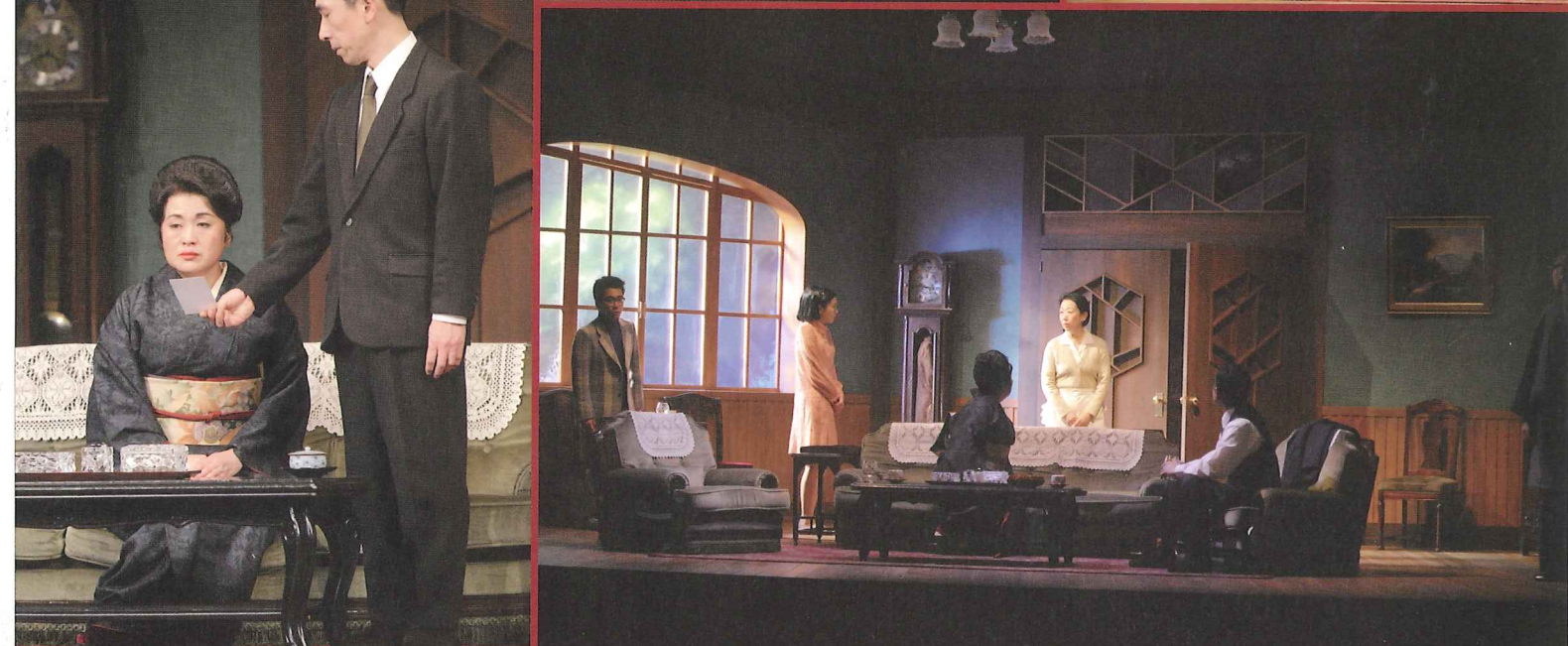
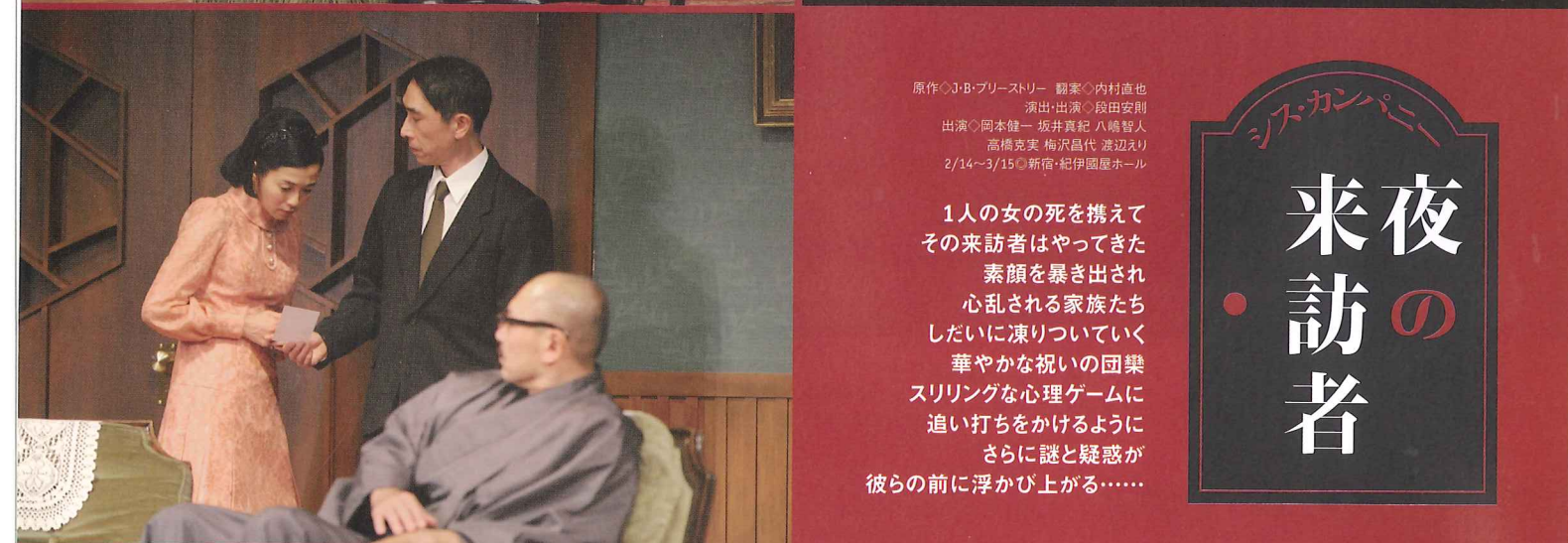
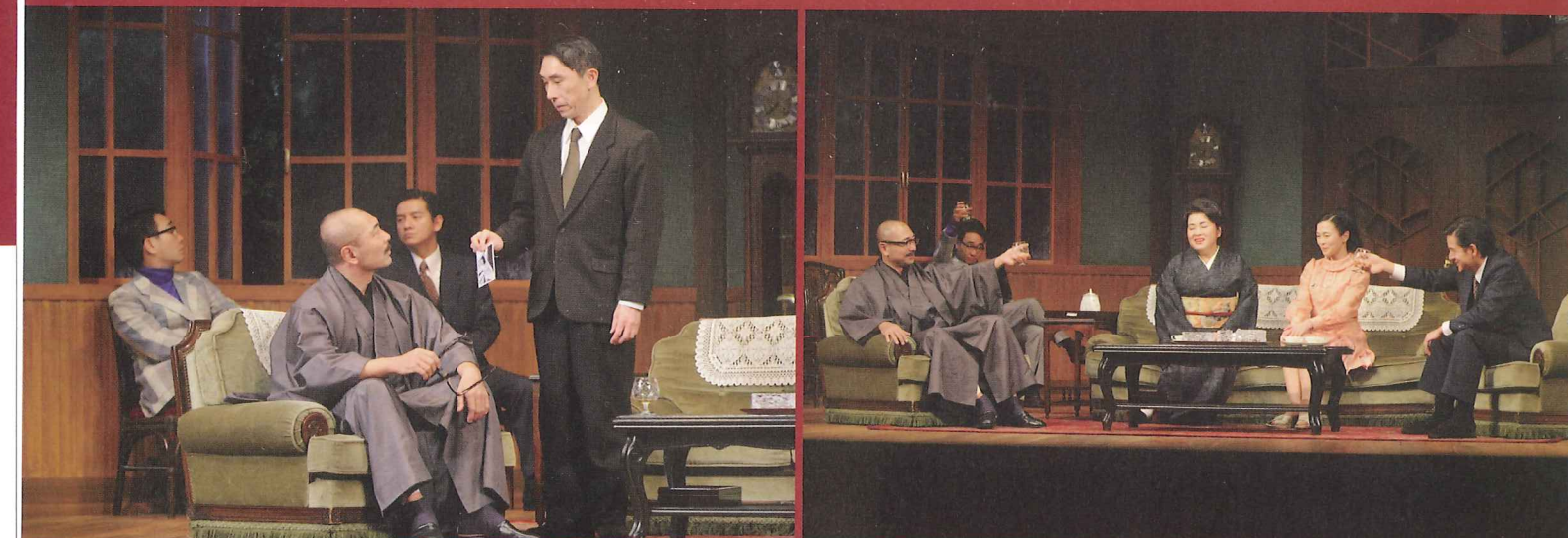
次回予定◎カムカムニキナ「アザラン」5/11～4◎シアター1010、5/6◎名古屋テレビホール、5/9～10◎ABCホール、5/16◎やまと都山ホール大ホール

段田安則 だんたやすのり○京都府出身。青年座研究所を卒業後に夢の遊眠社に入団。92年の解散まで主役をつとめる。以後、舞台、映画、TVドラマ、CMなどで活躍。近年の舞台演出は「龍川幸雄」演出「タンゴ」、冬の終わりに「龍川幸雄」演出「タンゴ」、冬に終わりに「龍川幸雄」演出「タンゴ」など。昨年主演映画「秋深き」が話題に。近年の舞台は、「イノの男」、長瀬圭史演出「エドモンド」「イノの男」、生瀬勝久演出「橋を渡ったら泣け」、池田成志演出「49日後」などがある。

次回予定◎シス・カンパニー「怪談 牡丹燈籠」8/6～31◎Bunkamuraシアターコクーン

坂井真紀 さかいまき○東京都出身。92年テレビドラマでデビュー。以後、数多くの映画、TV、CMで人気を集める。近年は、舞台にも積極的に進出。いのうえひでのり演出「龍川幸雄」演出「タンゴ」など。昨年主演映画「秋深き」が話題に。近年の舞台は、「イノの男」、長瀬圭史演出「エドモンド」「イノの男」、生瀬勝久演出「橋を渡ったら泣け」、池田成志演出「49日後」などがある。

次回予定◎パンダランチャ「ソノリアルム公演」相思愛 5/9～17◎紀伊國屋ホール、6/3◎兵庫県立芸術文化センター中ホール



原作◎J・B・プリーストリー 翻案◎内村直也
演出・出演◎段田安則
出演◎岡本健一 坂井真紀 八嶋智人
高橋克実 梅沢昌代 渡辺えり
2/14～3/15◎新宿・紀伊國屋ホール

1人の女の死を携えて
その来訪者はやってきた
素顔を暴き出され
心乱される家族たち
しだいに凍りついていく
華やかな祝いの団樂
スリリングな心理ゲームに
追い打ちをかけるように
さらに謎と疑惑が
彼らの前に浮かび上がる……

夜の 来訪者



相葉雅紀

生と死の
あいだは
コリンは
変化していく



これが舞台三作目となる相葉雅紀。今回は弟を殺して服役している青年というハードな役柄に挑んだ。優しげでナイーブな印象の相葉が心に闇を抱えるコリンに扮して、緑や花と向き合い生きる喜びを取り戻していく姿は、テーマが重いだけに清々しく感動的だ。

スローライフの優しさ

「コリンはこの物語のなかで、内面的変化が一番大きい役ですね。そうですね、どん底から這い上がってきますから。その変化をテンポいい周囲の流れに追いつかせるのが、最初はちょっとツラかったです。弟を殺して服役しているわけですから確かにハードですね。リアリティをどうやって持たたいか

とすごく考えました。僕も弟がいるので、もし自分だったらイメージを描いてみたり、接点をいろいろ作ってみたんですけど、気持ち的にツラくて、ついていけないことが稽古中に多々ありました。心が死んでいるというか、コリンは開放型の施設に行っても嬉しくなさそうです。刑務所に入ってから10年は「何でもします、自分の罪はそれくらい重いんですから」という態度で生きてきただけなんです。それを更正したととられて開放型の刑務所に入れてもらった。でもそのことも受け入れただけ、というスタートで、それが相部屋になったファーガスの影響もあって、ちょっとずつ人間っぽい部分が甦ってくるんです。

クリスマスにももらった種が花を咲かせて、そのへんか感情が見えてきますね。生きることを考えはじめるというか、

あいはまさき○80年生まれ、東京都出身。99年に嵐として「A-RA・SHI」でデビュー。ジャニーズJr.時代より舞台、映画、TVドラマ、バラエティと各方面で活躍。02年「ピカ☆ンチ LIFE IS HARD」でHAPPYで映画初主演。舞台は05年「燕のいる駅」、07年「忘れられない人」に続いて3作目。嵐としては08年秋に東京、台北、ソウル、上海の4都市でのアジアツアーを成功させた。

活動予定◇Double A-side Single 5/27リリース「明日の記憶」/ Crazy Moon〜キミノハムテキ〜

舞台は修行？

「ファーガスの平幹二郎さんとのやりとりもイキが合ってますね。今回、平幹二郎さんという名優と一緒に出られたことで、すごく刺激を受けました。こちらがちょっとアプローチを変えたりすると、それに合わせて毎回違う反応をくださるし、自由にやらせてもらいました。それにあまり口数の多いかたではないのに、僕のシーンも見てくれていいときはいってくださるんです。

その名優を前に負けてなかった相葉さんなかなかすごいな。いや負けてますよ(笑)。でも勝ち負け

ではないですからね。僕は僕のやるべきことをやるだけで、あとは演出の宮田慶子さんが全体を見てくださるからと安心して。全然プレッシャーを感じないで楽しくやらせてもらえたのは、平幹二郎さんという大きな存在があったからだと思います。

今までの3本の舞台は、どれも宮田演出ですが、宮田さんの信頼できることは？

きれいな舞台だと思います。いつも、何を思っていますし、テーマとかの選び方も含めて、宮田さんの他の作品も大好きなので、よく観に行きます。

最初の「燕のいる駅」は普通の青年でしたが、2本目の「忘れられない人」は自閉的な青年、今回も罪を抱えていて、相葉さんにはなぜかそういう傾向の役が多い？

いや、たまたまだと思いますよ(笑)。舞台で素顔と違う部分を見せるのは面白いんですけど、ただの元気な役もやってみたいですね(笑)。

映像の仕事も多いなかで、2年に一度の舞台は相葉さんにとってもどんなものですか？

修行みたいな感じですね。真摯に取り組めるんです。カンパニーができてみんな1つになって走り出す。時間も決められて、始まる日も決まられていて、追いつめられたかたが半端じゃないのいいんです。気持ち引き締まるし、やっぱり修行ですね(笑)。

追いつめられて力が出るタイプなんですか？

かもしれないですね。試験勉強も1日とか2日しかやったことないんです。タイプの的に寝ないでそのまま行っちゃうみたいな(笑)。

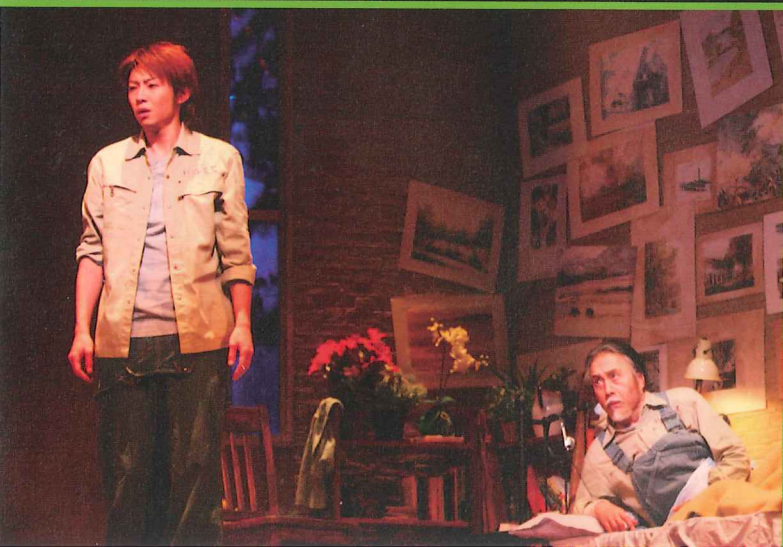
舞台はイギリス。開放型の更正刑務所に人生を諦めた1人の青年コリンが移されてきた。彼と同室の老人、風変わりなファーガスは、クリスマスパーティーの日、コリンに1袋の花の種を無理矢理プレゼントする。一度は捨てようと思ったその種を再びコリン。春になって種はハイオレットの花を咲かす。そのことを知った刑務所長の提案で、「ガーデニング」が、更正プログラムに組まれることになる。

花の種が1人の青年の心を甦らせ
囚人たちが力を合わせた緑の庭園は
女王陛下の賛辞を受けることに……
英国であった実話をもとに生まれた
更正ガーデニングのドラマは
舞台いっぱいグリーンと
感動を溢れさせた。



グリーンフィンガーズ

演出◇宮田慶子 出演◇相葉雅紀 平幹二郎 とうあいこ 山田純大 住田隆 なすび 本田有花 田島令子 石田太郎 他
2/23〜10 青山劇場、3/20〜23 梅田芸術劇場メインホール



流れ姉妹 たつことかつこ 獣たちの夜

劇団ではないが固定のメンバーを中心として、そこに決まった役割を負うゲストを毎回迎える「真心一座身も心も」。

運命に翻弄され全国を流れ歩く姉妹を描いたこのシリーズも、05年の第二章から始まってようやく第三章へ突入。物語の濃さはどこを切っても見どころたっぷり。独特の空気を形成する真心一座独特の「お約束」と多彩な登場人物の紹介で、その世界観をちらりと味わっていただきましょう！

〈ゲストラバー〉
美浜慎也(中村倫也)



若くして盗盗団のボス。かわい顔でしれっとしているが、かなりのクセモノ。かなり年上だが鼻っ柱の強いたつこに興味を持つ。

〈ゲストマザー〉
根上澄江(木野花)



たつこ・かつこの母親で、かつては姉妹に虐待を繰り返す。姉妹の手により殺され埋められたが、実は大阪で生きていたことが発覚。好感的な性格で周りを惑わす。

〈ゲストレイバー〉
鳥塚幸也(高橋和也)



自然を愛する牧場主。感情が昂るとギターを掻き鳴らし歌をうたう。過去、妻に裏切られたトラウマに悩んで、お互い想いを寄せていたにも関わらず、かつこを毒牙にかけてしまう。

母

興味

〈妹〉
根上かつこ(村岡希美)



菩薩のように優しい妹。苦学して医大に入学、医師免許まで取るが姉の罪をかぶって刑務所に入っていた。出所して新大久保の診療所で働くが、いろいろあってその後は大衆演劇の一座の手伝いをしていた。

〈姉〉
根上たつこ(千葉雅子)



気性の荒い姉。カッとなったあけく、何人かを死に至らしめてしまった過去があり、全国を転々と走り歩いている。仕事をするのはいがい各地の宝くじ売り場。

姉妹

行方を追う

恋

末次優二(河原雅彦)



出所後のかつこの保護観察司。元ヤクザで、姉妹の過去に関する情報に基いて様子。服も言動も非常にうさんくさい。

谷村寛(坂田聡)



北海道の看守。刑務所にいたかつこに想いを寄せ、かつこが気にかける姉たつこの行方を自主的に追いかけている。仕事は休職中。

〈がや四人衆〉



盗盗団の手下から街の喫茶店の老夫婦、村の仲間まですべての役を入れ替わり立ち代わり演じる心強い四人衆。

〈ゲストがや〉(高田聖子、峯村リエ、栗根まこと、マギー、中山祐一朗、福田転球、山内圭哉)

車掌、生まれてくる子牛、放し出しの会の人などを日替わりで演じる。

作○千葉雅子 演出○河原雅彦 出演○高橋和也(三代目ゲストレイバー) 中村倫也(三代目ゲストラバー) 千葉雅子 村岡希美 坂田聡 河原雅彦 小林顕作 政岡泰志 伊達暁 信川清順 木野花(ゲストマザー)
2/18~22◎下北沢・本多劇場、2/26~28◎北海道・道新ホール、3/8◎名古屋テレビホール、3/14~15大阪・なんでもアリーナ

これぞ 真心一座の醍醐味！

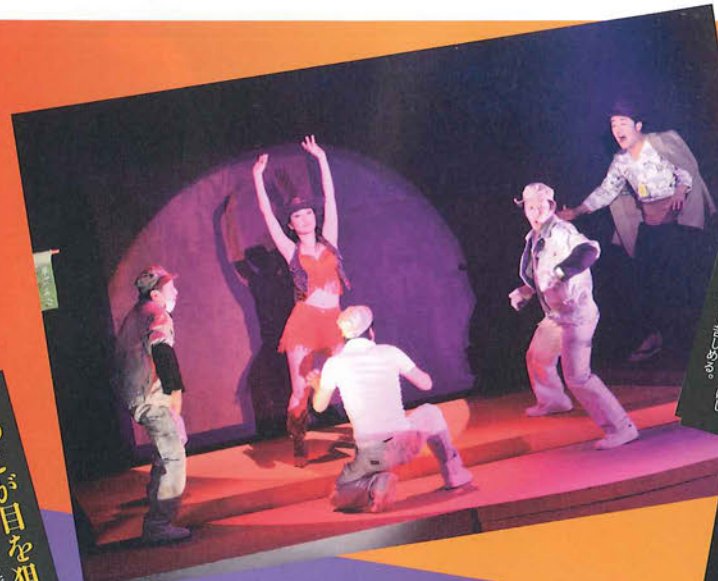
大衆演劇の如くけれん味たっぷりの真心一座は、毎回いくつかの「お約束ごと」があり、ダイナミックでストーリーのフックとなるいくつかのポイントを知っておけば、第四章からさらに楽しんで観られること請け合いです！

今回のストーリー

鳥取で再開したたつこ(千葉)とかつこ(村岡)は、殺したはずの母が生きているという末次(河原)からの情報を頼りに一路大阪へ。ところが盗盗団にカバンをスられ、それを追いかけたたつこは、盗盗団のリーダー・慎也(中村)と出会う。一方かつこは、スリにあい困っていた鳥塚(高橋)を助け和歌山へ。そこへ現れたのが大阪にいるはずの母(木野)。母の問題行動は周囲を巻き込み、ついには鳥塚のトラウマをたきつける。苦悶する彼の前に立ちのはだかつこに、鳥塚は手をかけてしまう。行き着いた小名浜の健康ランドで、母が偽物だったことが発覚。また、姉妹を追ってきた谷村(坂田)は、看守時代の上司に刺されてしまう。果たしてすべては策略なのか？姉妹の運命は、またもや流れ流れていくのだった――。



冒頭シーンには谷村の夢



たつこが目を狙う

谷村が旅先で追られる



かつこが陵辱される



たつこが恋をする

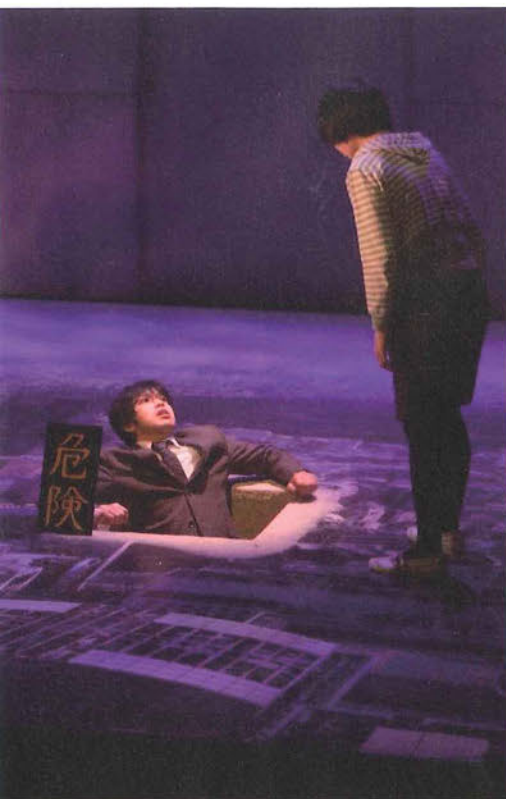


寿命。ぴよ

k · t · uki · in · ti · piy

作・演出・出演◎ノゾエ征爾
 出演◎伊藤ヨタロウ 藤りきあり カオティックコスモス
 加藤直美 小百合油利 鈴真紀史 高橋周平 滝寛式
 竹口龍茶 島島明 町田水城
 2/26~3/4 下北沢ザ・スナリ

それは葬儀会場から始まった。喪服を着た若い数人の男女。娘がなぜ死ななければならなかったのかからず嘆き悲しみ、参列した友人たちを罵倒する母親。遺影は明るい笑顔の若い女性(ねね子)。彼女は創作家としてアートパフォーマンス集団を率いていた。展覧会に向けた準備を進める中、展覧会の直前に亡くなった。なぜ彼女は死んだのか。展覧会前の数日から、彼女がこの世からいなくなるまでの軌跡。



感謝の気持ちを胸に抱き

創作活動に行き詰まったねね子は、なぞの初老の男アンダーソン(あだ名日本人)の部屋に居候を始め、環境を変えて現状を打破しようと試みる。なかなか進まない展覧会の準備に焦るねね子とその仲間たち。それそれが東京砂漠に落ち込んだ男を探したり、鳥の子を産んだり。この世にはいろんな命があり、平等に祝福されているのかもしれないと感じさせる「どこか悲惨なだけどこか爽快」な物語。

ふと俯瞰するとおもしろい。

今回のタイトルは、ちよつと変わっていますよね。

タイトルを決める時期に、自分の身の回りで命に関わるような出来事がいくつかあつて。そのときに、ベタであれなんですけど、いろんな感謝の気持ちとか、生きていく喜びとか、そういうものをどこかで感じながら作品をつくれたらいいなと思い——みたいな。

「途中に。」がありますね。

それは……ちよつとクッションを入れました。「ぴよ」はあとから付け加えたんですけど、強いて言うなら「誕生」みたいな意味で……、説明しちゃうと少しあれですね……(笑)。

今回の客演陣を決めた理由は何かですか。

大抵いつもそうなんですけど、そのときの自分とのフィット感です。このお三方伊藤ヨタロウ、加藤直美、高橋周平はちよつと作品について考えていた頃に、雰囲気がいじくり来たので誘わせたいただきました。お誘いした時は具体的にこの人にごう役というのは浮かんでいないのですが、イメージとして絵が自分の中に見えたりはしています。

「作品の作り方を教えてください。」
 台本は稽古初日に何枚かある程度です。エピソードとしてのアイデアはいくつか浮かんでいますが、最初はまだ

具体的にきちんとつながっていないので、稽古を進めながら徐々に書き上げていきます。僕は、演劇ではちよつと稽古という過程があるので、できた台本を役者さんに演じてもらいながら、現場でどんどん変えるのが好きなんです。その中で若干作品の方向性が変わってくることもありますが、役者さんが窮屈に見えるのは嫌なので、最終的にはその役者あききの台本にしていきたいなとは考えています。

「ノゾエさんはどういう役者が好きですか。」
 どうしたってその人の感じがにじみ出てきちゃう人が好きですね。男女問わず。演じている役が完璧で、役として完成している人なりきっている人はすごいと思うんですけど、僕はそれでもどこかはみでちゃう、にじみでちゃう人が好きです。

「ノゾエさんのお母さん役がすごく印象的でした。」
 今回の作品の中には自分が二人いて、一人は主役の創作家の女の子、もう一人はそれを傍から見ている自分、それがお母さんという形で登場しました。すくがんばる自分と、それを傍から見ているもう一人の自分。作品がうまく作れなくて泣いたり、死がよぎるくらい追い詰められている自分と、それをわきまを見て自分を見て、ふと俯瞰するとすくがおもしろいんですよね。言っちゃえば世の中に全然必要のない作品作りで、何をそこまで追い詰められているのかと(笑)。

「ビッグママはどこからイメージされましたか。」
 生活している中で、確実になかには感じていて、でも正体はわからない。それはなんだろうと思つてたり着いたのがビッグママでした。みんなの中のどこかにあるよりどころとも言えるし、僕らの源とも言える。そういう存在としてのお母さんとも言える何かかな。単純に、お母さん大好きなだけなんです。

「芝居はいいな」

「劇団を10年やってきて、変わったこと、変わらないことはありますか。」
 趣味はほとんど変わっていきいもので、そのとき「おもしろい！」と感じるものは普通に変わっていくんだなあと感じました。あと、初々しさや初期衝動があせていく時に、どういう作品を作っていけるかみたいなのは、毎回課題の一つではあります。

「変わってきたのは主題というより、それを見せる方法や手段ですか。」
 そうですね、テキストという見せ方の好みは変わっていきます。

「作品がひとつ終わったときのお気持ちは？」

今回、終わったときに久々に、「芝居はいいな」とすく実感できました。安



ノゾエ征爾

のそえいじ◎75年生まれ、小学校時代は日米7校を転々とする。99年はえきわ旗揚げ以降、全作品の演出を手掛ける。俳優・脚本家として、多ジャンルで活躍する。演出家としても海外の名劇団などを手掛ける。2017年、6月より公開される映画「ウルトラミッドラフ」で、松山ケンイチ主演の主人公の幼なじみで性格の悪い太(ふじ)役を好演。

次回予定◎映画「非女子図鑑」5月下旬より渋谷シアター10にて全国順次公開。映画「ウルトラミッドラフ」ストーリー16/6より渋谷エロスペース、シネマート新宿ほか全国順次公開。

田辺茂範 の取材簿

ロリータ男爵

第一回ゲスト

ブルースカイ

TITLE
『この世界から消える魔球』

DATA
作・演出・出演◇ブルースカイ
出演◇池谷のぶえ 柏谷吉洋 喜安浩平 小村裕次郎 高田郁恵 原金太郎
松浦羽織子 三浦俊輔 安澤千草 吉増裕士 田村健太郎
3/7~16◇ザ・スナリ

STORY
かつて娯楽として存在した公開処刑はすっかり廃れ、ケンイチとケンジの兄弟が経営する公開処刑場「パラダイス座」も入場チケットが売れずに経営難に陥っていた。いつまで経っても刑が執行されない処刑人を養う為に、兄弟は自らの生活を切り詰めての貧乏生活。そこに何故か伝説の勇者も絡みだし、チケットを売る旅に立つ。

ブルースカイ版 ニューシネマパラダイス?

今号から始まったこのページの第二回目のゲストは、歳も劇団を始めたタイミングもわりと近めなブルースカイさん。その作風と変わらなずつかみどころのないブルースカイさんに、新米インタビューアー田辺茂範が直撃しました。どうやら作品には、ナンセンスコメディへの郷愁の思いが込められていたようですが、聞いてみないと分からないものです。

脱下品

田辺 今回は、歌やダンスもあって、時間もちょっといいくらい長さがたし、テーマもロリコンやウコンとかマニアックな設定がなかったからなのか、とても見やすく感じました。
ブルースカイ 見た人にも見やすかったって言われたんですけど、そういう所だったんですね、ウコンとかロリコンとか。

田辺 意識したりはしなかったんですけど、ブルースカイ 意識しましたね。ちょっと前までは、ロリコンコメディ、っていうのがやるんじゃないかって思ってたんですけど、それが勘違いだと分かったんで……。大雑把に言えば、ロリコンとかウコンとか下品な要素をなくして、ふつうにバカバカしいドラマな面白さを意識しました。

田辺 もともと下品な面白さが好きだから、そういう作品を作っていたってわけじゃないんですか?
ブルースカイ その方が面白いとは思いますが、好きな人も見るかもしれないんですけど、やっぱりこんな事をしていて、人気が出ないのになって思っています、もうやめました。

笑いのスタイル

田辺 それでなのか、今回いい話づく感じたのは、気のせいですかね?
ブルースカイ いつもパターンですけどね、ちょっといい話を装いつつ、よく考えれば実はひどい話っていうのは。

田辺 今回は、タイトルから野球が連想されますが。
ブルースカイ 先にタイトルが決まっていた、最初は野球の話にするとか考えましたけど、野球があまりしっくり来なくて、「この世界から消える」ってフレーズの方をメインにして、最終的に誰かがこの世界から消えるって話を考えました。

田辺 ブルースカイさんの作品はネタの積み重ねで作っている様に感じてましたが、台本はストーリー的なものを決めて書いているんですか?
ブルースカイ 前までは筋を決めてから書いてたんですけど、今回はなるべくいきあたりばったりで思いつく書きました。

田辺 今回の方が、ストーリーを感じましたけどね。
ブルースカイ 締めくくりに終わり方は考えてましたけど、一場面場面

いじゃないものを作ったかっけ気持ちがあります。

バックトゥザナンセンス

田辺 ブルースカイさんの作品は、マトリックスに影響を受けている時は、もろにそれが作風に影響される事がありますけど、今回はありましたか?
ブルースカイ 今回は、チラシの表に「ナンセンス劇」ってもう古いんですか? それならそれで、そういうの懐かしみにきて下さい」って事を書いたんですけど、今あまりやられないような、昔に自分が感動したバカバカしいナンセンス劇をやるって思いました。

田辺 今、ナンセンスって古いんですか?
ブルースカイ 自分の中では古いんです。芝居を観に行くときあまりやってないですね。
田辺 池谷のぶえさんのセリフに「緻密な人間関係の芝居」に対するギャグがありましたけど、主流はそっちなんですかね?

ブルースカイ 「緻密な人間関係を描いて、社会の閉塞感がどうのこうの」っていう芝居ですね、偏見かもしれないですけど、昔と比べると、シリアス系の芝居が多くて、ひたすらバカバカしい芝居が随分なくなっちゃったから、世間的には求められていないんだろうなって。

田辺 でも、小劇場ってやる側の勝手でも、求められてなくてもやりたきゃやるんで、やろうとする人間が減っているだけじゃないですかね?
ブルースカイ ほとんど、メジャーになっていってますからね、「緻密な」の方の人たちが。今はあまりナンセンスは求められてないのになって。
田辺 やる側として、ブルースカイさん自身に感覚の変化はありますか?

ブルースカイ

1994年、劇団猫ニャーを旗揚げし、ナンセンスコメディを展開。2001年より劇団と弁当屋の両立を目指した演劇弁当猫ニャーとして生まれ変わり、2004年に解散。現在はフリーで舞台・テレビ・ラジオ等で作家活動を行いながら、役者としての出演機会を熱望している。

田辺茂範

1995年、ロリータ男爵を旗揚げし、「バカバカしい事を大に」をモットーに掲げたオリジナルミュージカルを展開。現在はドラマやアニメの脚本執筆の他、演劇ぶっく新米インタビューアーとしても活動を開始させ、有名人に会える日を心待ちにしている。





江本純子

えもとじゅんこ 78年生まれ、千葉県出身。00年に毛皮族を旗揚げし、主宰として作・演出を手がけ、出演もしている。外部舞台や映画にも多数出演しており、奥秀太郎監督作品「ドモ又の死」では主演に抜擢された。TBSドラマ「東京少女」(BS-i)では脚本を手掛けた。

次回予定 映画「江本純子「まじめな話」5/22〜24日キヤラリーLE DECO 毛皮族「社会派すけべい(仮)」11/19〜12/1日駅前劇場 映画「USB」(奥秀太郎監督)6月公開 映画「非女子図鑑」内「魁!!みっちゃん」(山口雄大監督)09年公開予定

三浦大輔

みうらだいすけ 75年徳島県生まれ、北海道出身。96年にポツドールを旗揚げし、主宰として作・演出を手がける。06年「愛の渦」で第50回岸田國士戯曲賞受賞。DVD「ソウル・レイ」の脚本・監督を務めるなど、映像分野でも活躍している。

次回予定 映画「ボーイズ・オン・ザ・ラン」(監督)2010年初春公開予定 週刊SPA! リレーコラム「三浦大輔の即物的カルチャー日記」連載中

愛の渦

毎回
緊張感と
集中力を
高めながら

05年に初演され、大きな話題を集めた「愛の渦」。この作品で三浦大輔は岸田國士戯曲賞を受賞し、各方面から注目を浴び、飛躍的に活動の場を広げていった。09年3月で閉館となったシアタートップスでの最終公演として、大きな転機となった「愛の渦」を再演したポツドール。毛皮族主宰の江本純子をはじめ、新しいキャストを交えた約一ヶ月のロングラン公演の成果は?

間口の広い作品に

—今回は再演になりますが、意識して初演と変えた部分はありますか?—
三浦 芝居の雰囲気をもっと変えたんです。初演はもっと雰囲気重視というか、あまり個々の人物を目立たせまいというようにして、その場の状況だけを作ることに専念しましたが、今回の再演ではその要素も含めつつ、もっと一人の人物を立てようと。個々の人物の個性を際立たせたかった。そうすることで、雰囲気だけでなく、もっとわかりやすく間口を広げる作品にできないかなと。テーマとか言いにくいことは変えずに、もうちょっと人に受け入れられるような作品にできたらいいな。こういう作品だから、それと多くの人に観てもらいたいし、そういう可能性のある作品だと思っただけです。ね、今回の再演の意図としては。

—今回はキャストも初演から一部変わっています。江本さんは初演で安藤(玉恵)さんが演じた「女1」の役でした。乱交パーティーの常連で連つ葉な雰囲気を持つ女の役ですが、三浦さんはなぜこの役を江本さんにお願しようと思ったのですか?—
三浦 そうですね、やっぱり女1のキャラクターって個性の強い人じゃないかと思って。うちの周りにはそういう人はいなかったんで、江本さんにお願しよう。毛皮族の舞台を観て、江本さんだったらできるかなと。

江本 私は初演は観ていないんですが、今回の話を聞いて、台本を読んだらすごく面白くて。自分が女1という役を演じることがイメージできたというか、そんなに外れてないかなと思って。あとは「三浦さんの作品に携わる上で(自分が演出家でもなく毛皮族主宰でもなく)、役者として100%信頼して三浦さんについていけようと思ったら、やっぱり、とって話合いの席を設けて頂きました。」

三浦 江本さんとは面識はあったんですが、すっかり話したのは今回オフアワーのときが初めてでしたね。
江本 仕事の話というのは初めてでしたね。まさか自分が三浦さんの作品に出ることになるとは思わなかった。出演が決まった後、50人くらいに「なんで出るの?」と聞かれました(笑)。

厳しい現場で追いつめられて

—稽古はいかがでしたか? ポツドールの稽古は役者さんを追い込むという噂をよく聞きますが。

三浦 僕は稽古ですごく怒るんですよ。役者さんができないことに対して「なんでできないんだ!」って(笑)。でも役者さんは精神的に追いつめられている感じがする。江本、いえ、追いつめます。私、追いつめられた(笑)。今回は29ステージありましたけど、毎回緊張したし、ミスしたら死刑だと思って(笑)。
三浦 (笑)。
江本 でもだんだん追いつめられるばかりじゃ

なく、その世界に入っていくんです。舞台上で相手役とのコミュニケーションをきちんととるには、緊張感と集中力を毎回高めないとけない。気を抜くことを切っ掛けしない、毎日サバイバルです(笑)。
三浦 江本さんはね、よかったんですよ、すごく。女1は変な役ですけど、愛される人じゃないとダメなんです。可愛らしさとかがないとダメなんです。
江本 お客さんには実際どう見られているかはわからないですけど、稽古の初めの頃はちょっと威圧感が強すぎるかなと思って。周りの役者さんたちとよく話してたりして。

三浦 だんだんああなってきた感じですね。ね。最初からああいう感じじゃなかったもんね。意外に江本さんうちの芝居に合ってるよね。
江本 あ、そうですか?
三浦 毛皮族の芝居とうちの芝居とは全然方法論が違いますけど、僕は毛皮族の芝居を観て共感するし、そんなに別のことやってる感じじゃないですよ。
江本 そうですね。三浦さんが稽古でやっていることはほんとにシンプルで。役者としての基本事項みたいな。今まで芝居の基本、なんて根本的に考えたことがなかったんですが、必然的に考えさせられる状況になり……だからそこは絶対克服しないと。少しでも日和ると三浦さんはそれを見過ごさないし、許されないし、ほんと英才教育というか羨ましいでした(笑)。

三浦 大変な現場でしたよね、今だからこんな笑って話せるけど。
江本 それが一ヶ月続きましたからね。すごく貴重な経験でした。今後10年はなにかあっても怖くないというくらい(笑)。
三浦 江本さんもおっしゃっているように特殊な現場ですね、うちの現場って。特殊というか、やっぱり厳しいんです(笑)。
江本 でも別にそれは悪いことではないと思うんで、経験として。私もほんとにこんな緊張感とか集中力とかを毎日毎日……って、今回すごい鍛えられたと思うんですよ。いやほんと軍隊から帰還してきたような(笑)。
三浦 そういいますよね、みんな(笑)。



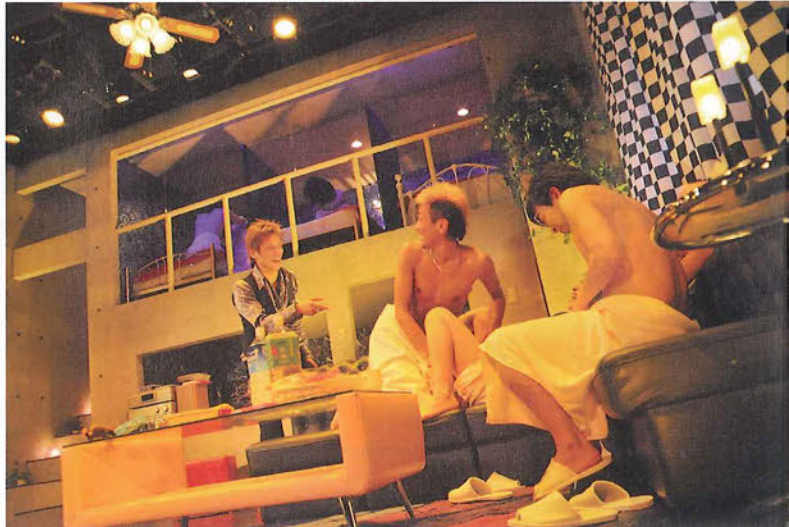
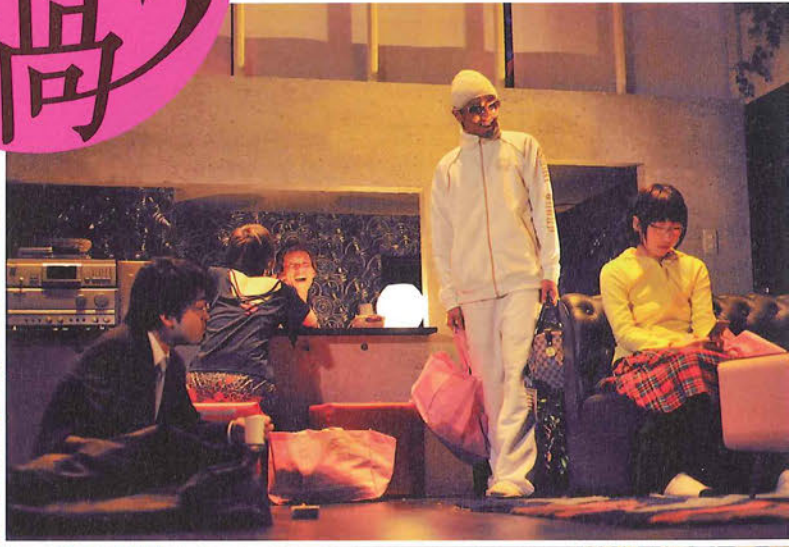
さよなら
シアター
トップス

愛の渦

どるマンションの一室に集まった男女10人。そこでは夜な夜な乱交パーティーが行われている。初めてパーティーに参加した者もいれば、常連の者もいる。ざこちない会話を交わしながら少しずつコミュニケーションを取り合い、セックスを重ねる彼ら。当初の緊張や羞恥心が取り払われると、和やかなムードに。しかし一方では採り事も勃発し……。やがて朝が来ると、全員普段着に着替えて部屋を出て行くのだった。

ポツドール

作・演出 三浦大輔 出演 米村亮太郎 古澤裕介 井上幸太郎 富田崇史 監坂圭一郎 岩瀬亮 美館智範 江本純子 内田慈 遠藤留奈 佐々木幸子 山本裕子 2/19〜3/15 THEATER/TOPS



演劇ぶっく BACK NUMBER



▶ 演劇ぶっく132号

【表紙のヒト】内野聖陽
【発表】読者が選ぶ えんぶチャート2007
【誌面で見える】よりぬき えんぶチャート「舞台編」
【新感線プロデュース】いのうえ歌舞伎☆號
【IZO】森田剛、田辺誠一、栗根まこと、池田鉄洋・山内圭哉
【劇団、本谷有希子】「偏路」本谷有希子



▶ 演劇ぶっく133号

【表紙のヒト】古田新太
【演劇集団キャラメルボックス】「きみがいた時間ぼくのいく時間」上川隆也・坂口理恵
【全方向から見えます! 大特集】
【Potsunen 2008】「Drop」
小林賢太郎、野口毅、徳澤青弦
【コンドルス】「UFO」
近藤良平、勝山康晴、小林顕作



▶ 演劇ぶっく134号

【表紙のヒト】池田鉄洋
【MIDSUMMER CAROL ~ガマ王子 VS ザリガニ魔人~】山内圭哉
【演劇と映像のカンケイ】
板尾創路、堺雅人、石原さとみ、志賀廣太郎
【ロングインタビュー】宅間孝行
【シアター・クーン】「どん底」皆川猿時・犬山イヌコ



▶ 演劇ぶっく135号

【表紙のヒト】
井ノ原快彦×上田誠(ヨーロッパ企画)
【新感線RX】「五右衛門ロック」森山未來・橋本じゅん、いのうえひでのり、インディ高橋のPatchy小道具研究所
【演劇集団キャラメルボックス】「嵐になるまで待つ」渡邊安理・堀見大輔・土屋裕一



▶ 演劇ぶっく136号

【表紙のヒト】宮藤官九郎
【現代能楽集IV】「The Diver」野田秀樹
【ナイロン100℃】「シャープさんフラットさん」三宅弘城・新谷真弓、大倉孝二・小池栄子
【K.K.P.】「TRIUMPH」小林賢太郎
【から騒ぎ】小出恵介
【Studio Life】「マージナル」笠原浩夫、青木隆敏



▶ 演劇ぶっく137号

【表紙のヒト】松たか子 宮沢りえ
【ウーマンリブ】「七人は僕の恋人」
伊勢志摩・矢野美和公・猫背椿・田村たがめ・平岩紙・峯村リエ・遠山景織子
【グリース】生田斗真
【NACSTYLE / PAGE.7 拡大版】
森崎博之・安田顕・戸次重幸・大泉洋・音尾琢真



▶ 演劇ぶっく138号

【特集】発表! 読者が選ぶえんぶチャート2008
【NODA・MAP】「パイパー」橋爪功・大倉孝二
【イッセーオカダ】「空箱」岡田義徳・高橋一生
【アトリエ・ダンカン】「風が強く吹いている」黄川田将也・和田正人
【下荒井兄弟のスプリング、ハズ、カム。】稽古場レポート

演劇ぶっくのバックナンバーのご購入、定期購読[年間6冊、4500円(送料込み)]のご希望は、演劇ぶっく編集部にご直接お申し込み下さい。

株式会社えんぶ 演劇ぶっく編集部

〒164-0011 東京都中野区中央5-46-5 池田ビル2F
TEL:03-3229-2424 FAX:03-3229-2423

あの最終公演「戻」から15年、
再会を約束した30年の折り返し点にあたる今年、
トップスという劇場との別れが不意に訪れた。
東京サンシャインボーイズが数々の傑作を生んだこの舞台で、
仲間たちが最後に繰り広げるのは、
あの頃と変わらないワンシチュエーション・コメディ。
相変わらずのばかばかしさと可笑しさは、
涙が出るほど懐かしい。

東京
サンシャイン
ボーイズ

returns

作・演出◎三谷幸喜
出演◎相島一之 阿南健治 伊藤俊人 小原雅人
現原善 甲本雅裕 小林隆 近藤芳正 斉藤清子
谷川清美(演劇集団内) 西田麻 西村雅彦
野仲イサオ 宮地雅子 吉田羊
3/18~29 THEATER/TOPS

相変わらずの 役者たちと 相変わらずの 笑い

同窓会のはずが、実は宇宙人と戦うために集められた12人。それぞれの秘めたる特殊パワーを思い出そうと繰り広げられる、スリリングで絶妙な笑いのアンサンブル。これこそ、まさに東京サンシャインボーイズの同窓会。

昼から夕方までぎっしりの、さよならイベントやスペシャル公演のあと、夜9時半という遅い時間から「returns」という開演した。

セットというよりトークショーのような、パイ椅子を並べただけの舞台。ぞろぞろと役者たちが登場すると、そこにはすぐにサンシャインボーイズの懐かしい空気が生まれる。登場するときのスタンス、ちやうとした物言、互いの関係性などにそれぞれの特徴があり、それがこの集団ならではの個性であり魅力のベースだった。

そして今回も、三谷幸喜がほんととあの頃と同様に各キャラを生かした当て書きをしている。西村雅彦は傲慢なのに気が小さいし、相島一之は屈折したがるし、阿南健治は暑苦しい。宮地雅子はいい感じにお節介だし、斉藤清子は主婦で、谷川清美は頭よさげで、小原雅人はフシギキャラで、野仲イサオは浮世離れしている。近藤芳正は今もチンゲさんだし、ピデオの梶原善は以前にも増して濃い。西田麻の健気な妻が抱える骨董からは伊藤俊人の明るい声が「どうも、どうも、どうも!」と聞こえてくる……。

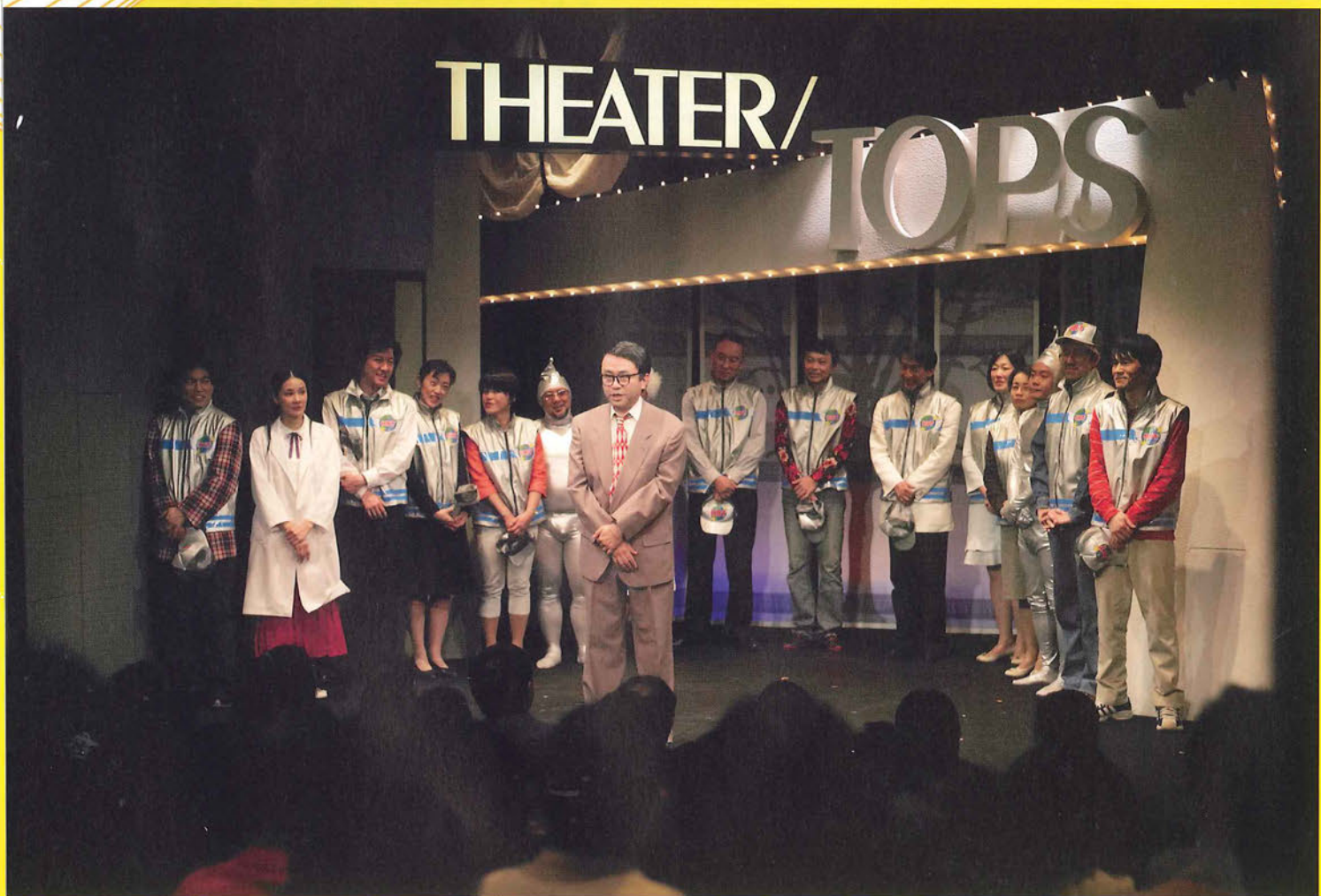
今回のシチュエーションは、恩師シバタムラ(他劇場で公演中の梶原善はビデオレターでの出演)に同窓会と称して小学校の同級生12人が集められる。彼らの役目は、「宇宙人から地球を守る」ことで、それぞれが持っているはずの特殊パワーを

思い出していくという奇想天外な筋立て。それだけに、役者におまかせという解放の状態で近いパフォーマンスが見どころなのだが、そこに絡んでいくメンバーの突っ込みやボケの間のよさは、まさに東京サンシャインボーイズならではの面白さ。芸達者揃いの集団だったからこそ成立したレベルの高いコメディだったことを、改めて感じさせてくれる。

第一部は、恩師シバタムラの妄想かと思われた「宇宙人襲来」が現実となり、防衛服に身を包んだ11人が勇ましく登場する。残りの1人、近藤は、第一部で彼らをスパイする敵側とバレたうえに、戦闘場面では情けないオチもあつて、最後まで手を抜かない三谷の笑いのこだわりが炸裂する。

終演は戸田恵子の声で、「15年間の休憩に入ります」という客出しのアナウンス。仕掛けはいっぱい遊び心満載で、「これだから東京サンシャインボーイズの舞台は気が抜けない」とコメディの楽しみをしみじみ思い出させてくれた2009年の東京サンシャインボーイズ。

さよなら
シアター
トップス





東京サンシャインボーイズ

東京サンシャインボーイズ 『なにもそこまで』('92/5)

三谷幸喜率いる人気劇団の東京サンシャインボーイズは、一幕もののシチュエーション・コメディの傑作を次々に上演、西村雅彦をはじめとする人気役者を輩出した。『なにもそこまで』は、トップスのプロセニアムいっばいにアパートの外壁を組んで、7階のひさしに取り残されてしまった住人たちのサバイバル、ノンストップ・コメディとして見た作品。誌面では楽屋や豪華、袖なども取材してトップスという場所の面白さを伝えている。

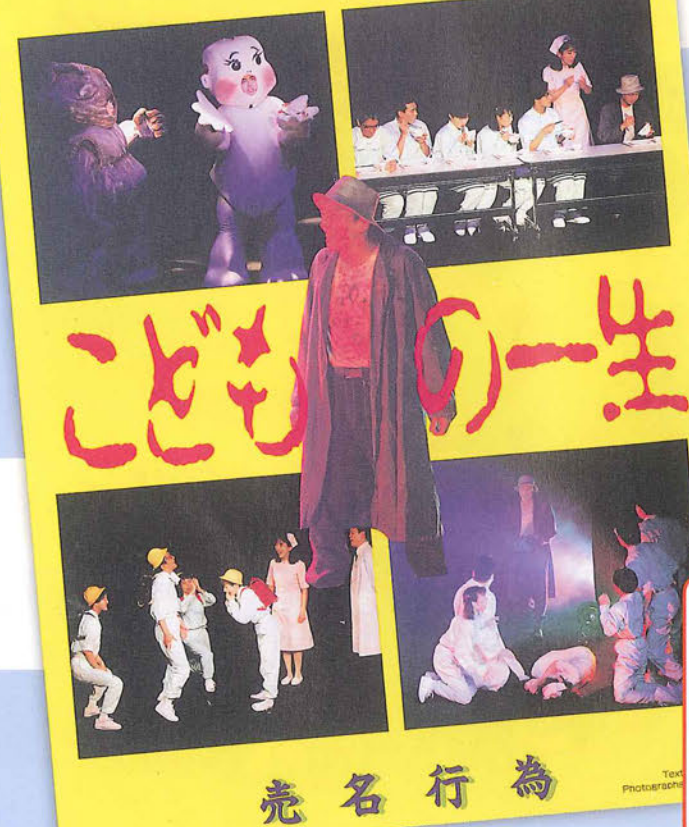
WHAT'S NEXT

売名行為 『こどもの一生』('90/7)

中島らも脚本に関西の役者たちが演じ、ユニットとして人気のあった売名行為は、トップスによく似合うモダンな舞台作りが特徴だった。『こどもの一生』は、こどもたちの遊びで生まれた架空の人物「山田のおじさん」が、現実となってこどもたちを襲うギャグ・ホラー。出演者は古田新太、升毅、立原啓裕、わかぎえみ、栗根まこと、牧野エミなど芸達者揃いで、今も伝説的な傑作である。誌面ではストーリーを写真で展開、その怖さをダイレクトに伝えた。

Theater Clip part 2

気がつくとも恐怖の真ッ中。じいさんがチェーンソーでせまる。売名行為初のギャグホラー。



劇団 新感線
仮名絵本
西遊記



劇団☆新感線 『仮名絵本 西遊記』('89/5)

劇団☆新感線がトップスに初登場した『星の忍者』(86年)は、大劇場なみの照明や音響を駆使した衝撃的な舞台だった。『いのう歌舞伎』のちに呼ばれる中島かずきの活劇の、初期といえるのがこの『西遊記』。元新感線メンバーだった渡辺いっけいをゲストに迎え、羽野晶紀・高田聖子・村木よし子が三人三蔵、悪役の玄奘には古田新太、いのうひでのりもまだ役者として活躍していた。誌面では中島かずきに新感線流の台本の書き方を聞いている。

2009年3月31日で閉館したシアタートップス。新宿駅からほど近い繁華街の飲食店ビルTOP'S HOUSEの4階にあるその劇場は、80年代に生まれた小劇場ブームを支える拠点の1つだった。人気劇団を次々に世に送り出し伝説的な公演を数多く残してきたシアタートップス。上演史のなかからほんの一部だが、当時の公演記事をもとにその場所を振り返ってみる。

さよなら
シアター
トップス
誌面で振りかえる
トップス公演

'88~'94年

シアタートップスは、85年11月にオープン。独特の雰囲気ある空間は、とんがった舞台でもウェルメイドな公演でも違和感なく受け入れる懐の深さがあった。劇団☆新感線の初上京公演から、山の手事情社やZAZOUS TEATERに始まる早稲田の劇研公演、カクスコ、ラッパ屋の洒落た喜劇まで、ジャンルもスタイルも幅広い上演史である。また、常連だった東京サンシャインボーイズの解散公演が3カ月というロングランで行われたのもこの劇場だった。



東京サンシャインボーイズ 『畏』('94/9)

東京サンシャインボーイズは、1991年の『12人の優しい日本人』から1994年のこの解散公演『畏』まで、トップスでは7作品を上演している。30年後の2024年に再結成、と約束した解散公演となった『畏』は、小学校の同級生の死で集まる7人の仲間たちの話で、ダブルキャストで上演。9月~12月までのロングランだった。誌面では2つのチームの舞台を対比させて、全キャストの座談会、演出の山田和也のインタビュー、三谷のインタビューや小学校時代の写真を載せるなど精力的な取材を行った。

遊○機械/全自動シアター 『BABY ROOM』('88/7)

早稲田の劇研から生まれたユニークな人気劇団、遊○機械/全自動シアターの代表作の1つ。白井晃と高泉淳子の作り出したファンタジー世界のしゃれた雰囲気は、トップスによく似合っていた。この作品は「山田のぼる」という高泉のヒットキャラが、大人の世界に踏み込むという12歳のパステルの葛藤を、アイロニカルに描き出している。大阪・名古屋・仙台という全国公演の初日がトップスから始まり、誌面ではそのツアーを日記形式で追いかけている。





カクスコ
『今日までどうもありがとう』
(01/10)

中村育二を中心とした6人の男たちのたわいのないやりとりと、劇中で歌われるアカペラで酔わせたカクスコ。昭和の安アパートの風景と、そこでの日常の1コマ1コマが、懐かしい思いをかき立てる舞台。87年に、トップスの支配人だった佐々木高代氏のアドバイスでスタートしたカクスコが、解散時の01年には2ヵ月間のロングランでも客が入りきれないという人気劇団になった。その最後の公演となったのがこの作品で、誌面でも出演者のインタビューをメインに総力取材している。

カクスコ総集編
今日までどうもありがとう



ファザーズ・プロデュース
『悪霊 下女の恋』 (97/8)

大人計画のメインの公演は本多劇場が多かったが、番外的な公演や松尾スズキや宮藤官九郎が客演する外部舞台も、トップスではよく上演された。松尾が東京乾電池のプロデュースで作・演出・出演した『悪霊』は、池田成志、岡田由里子、池津祥子という少ない出演者が、繰り広げる陰鬱な笑いに満ちたもの。不条理な喜劇がトップスという密度の高い空間ならではの演出。誌面では出演者の対談を掲載している。

さよなら
シアター
トップス
誌面で振りかえる
トップス公演

'95~'01年

トップスという劇場には、この舞台だったら間違いないと足を運ぶ観客も多かった。関西からやってきた人気劇団ビスターチオの公演、またナイロン100℃と大人計画という当時の若手劇団の実験劇も数多く上演されて、つねに刺激的な場として演劇界に活気を吹き込んでいた。また、ここから生まれた劇団カクスコも解散時にロングランを行うなど、出演するカンパニーと特別な絆で結ばれた劇場だった。



ペターボーツ
『雲の絶間姫』 (01/6)

トップスは劇場側の方向性もあって、簡単に公演させてもらえない場所でもあった。そんな厳しいハードルを超えて登場した若手劇団の1つにペターボーツがある。主宰の西島明の世界は、美しいビジュアルと、乙女でエロスな世界観を打ち出した舞台作りで、不思議なペタボ・ワールドを展開。この公演は歌舞伎の十八番『鳴神』にインスパイアされた作品で、元ビスターチオの腹筋善之介などもゲストで出演。誌面では出演者全員にアンケートを行っている。

大人計画
『ちゅん切りたい』 (95/12)

松尾スズキ率いる大人計画は、88年に旗揚げて以来、過激かつ哲学的な作品作りでいまや知らないものがない人気劇団に成長したが、この作品も性にまつわる深層心理や欲望を、重層的でありながらリアルな現実として描き出したもの。初のミュージカルと謳っているだけに、出演者たちの歌い踊る複雑なパワーが、トップスの空間いっぱいに炸裂。誌面ではその面白さを松尾ならではのユニークな歌詞を載せて紹介している。



惑星ビスターチオ
『小林少年とピストル』 (94/9)

アニメ的なパワーミームと、西田シャトナー作・演出の息もつかせぬドラマ展開の面白さで、人気沸騰した関西の惑星ビスターチオトップスによく登場した。この作品は明智探偵の弟子小林少年と彼をアシストする犬のスピード丸の活躍を、保村大和、佐々木蔵之介、今は亡き平和堂ミラノなど、若手の勢いで見せた舞台。誌面では佐々木扮する敵側の犬"ジョンソン"の最後の瞬間を、佐々木本人の書き下ろしシナリオとして紹介。

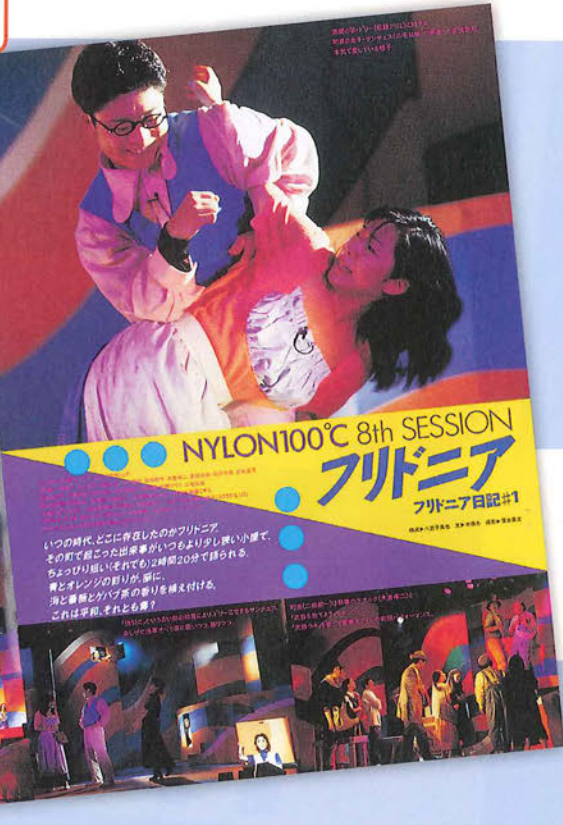


山の手事情社
『グラフィティ』 (97/11)

山の手事情社は早稲田の劇研出身の劇団で、主宰の安田雅弘の模索する演劇スタイルは、つねに実験的な形で観客の前に提出される。『グラフィティ』は、"落書き"をモチーフに、ハイパーコラージュ(この劇団だけの方法論で作る動きや表現)として作られた舞台で、装置も衣装も役者たちの動きも、コンセプチュアルなシュールなものとなっている。誌面では衣装担当への取材で作品内容についての解説を試みている。

ナイロン100℃
『フリドニア』 (96/7)

ナイロン100℃の主宰、ケラリーノ・サンドロヴィッチは、演劇を始めた劇団健康時代からトップスの常連で、この劇場をもっとも多彩に使った演出家の1人である。『フリドニア』はガルシア・マルケスの文学のような、悪夢的でサイケな世界を描いた作品で、乾いた叙情が心に残る舞台と好評だった。誌面では本番中のある1日、5人の役者に24時間の時間割を書いてもらい、写真で買物やストレッチの様子を載せるなど密着取材している。



宝塚歌劇団にとって95年目にあたる今年、100周年という大きな節目に向けて、さまざまな動きが始まっている。その動きのなかで、新しい風を吹き込むスターや公演を紹介していくこのシリーズ。第三回は、5月に「オグリ!」に主演する壮一帆。浄瑠璃や歌舞伎で有名な「小栗判官物語」の宝塚版に挑む、美形で勢いのある、花組の人気男役スターである。

壮一帆

SOU KAZUHO

伝奇ロマン『オグリ!』への挑戦

韓国の人気テレビドラマをミュージカル化して好評だった宝塚版『太王四神記』。演出の小池修二郎の優れたアレンジ力が冴えるその舞台で、悪の世界を掌握するキーパーソンとして大きな存在感を示した壮一帆。ヒゲも似合う美しいワルとして、見事にスパイス役を果たしていたが、次はいよいよ、歌舞伎でも有名な『オグリ』で主演をとめることになった。

ナマズヒゲなのに美形

『太王四神記』ではいろいろな変身してまわす。まず神話時代の青年プルキルから、2000年後の白髪プルキルに瞬で変わって。かつらのついたマスクをかぶるんですが、時間が短いから忙しいです(笑)。あのマスクは顔型を取って作っていただいたので、私とそっくりなんです(笑)。老人役ということでの驚きはありましたか?

宝塚で『太王四神記』を上演するということで、まずドラマのDVDを全



2月花組東京公演『太王四神記』

ので、上級生の方につかたから教えていただきました。プルキルは激しく動くことがないので、大丈夫なのですが、ダンスナンバーや立ち回りをつけてる人たちは汗で取れそうになったり、苦労があるようです。

背中を押されたダメだし

プルキルは魔術で世界を支配するという壮大な企画を持っていて、物語の重要人物ですね。考えることのスケールは大きいんですが、そのわりに手ぬるい部分もあって(笑)。でも、いくらでも想像をふくらませられる面白いです。

役作りで苦労したことはありましたか? 私は稽古中にだいたい一度はガーンと落ちるんですが、今まで小池先生の作品ではダメだと言われることは少ないです。それが今回初めて「君はこういうタイプだから」という役者としてのダメを出されました。自分でも頭ではわかってた部分への指摘で、役者と

してのこれからにも関わることでしたから、すごく納得できましたし有り難かったですね。

この舞台の壮一帆は、凄みがあって堂々としているのはそのおかげですか。

そうかもしれません。できるかどうかは別にして、目立つことも含めて役者としての壮一帆をもっと押し出していきたいと思いましたが。

目ヂカラが大事

— 素晴らしいタイミングで『オグリ!』の主演がきました。

市川猿之助さんのスーパー歌舞伎等でも有名ですし、説経節として古くから残っている物語に、主演させていただけるのはすごく幸せです。まだボスター撮りしただけなんですけど、演出の木村信司先生から、ボスターはとにかく目ヂカラをきかせたいと言われました。

『小栗判官物語』は、伝説がもとになっているだけにロマンティックだし奇想天外で面白いですね。

殺されて、甦って、餓鬼車で熊野まで行くというように、場所も立場も劇的に変化しますし、妻の照手姫との別れや再会もあって、すごく波瀾万丈でドラマチックですから楽しみです。

木村さんの作品では、『スサノオ』や『明智小五郎の事件簿—黒蜥蜴—』で印象に残る役を演じていますね。

『スサノオ』では、月読という物語の最初に出る役でしたし、『黒蜥蜴』では、波越警部という男っぴい役にチャレンジさせていただきました。木村先生は自分の考えを意欲的に話されるしこちらの話もちゃんと聞いてくださるので、今回もたくさんデモンストレーションできたらいいなと思っています。

照手姫になる野すみ花さんは、芝居のうまい娘役さんですね。昨年2月の、中日劇場の『メランコリック・ジ・ロ』でも相手役で、そのときはちゃちゃらしたカップルでしたが



『太王四神記』フィナーレ壮一帆

『太王四神記』プルキル壮一帆

(笑)、今回はしつとりした2人になります(笑)。

パワーの相互作用

— バウホール主演をとめる気持ちはいかがですか。

花組では初めてですからとても嬉しいですが、主演の責任はいつも感じることなのですが、それ以上に、今の壮一帆を真ん中で見ていただく機会に恵まれたことに感謝しつつ、皆さまの期待に応えたいです。

— 2年前に花組に組替えになったから、退団した春野寿美礼さん、現トップの真飛聖さん、7月から宙組のトップになる大空祐飛さんなど、上級生から学ぶことも多かったのでは?

すごく刺激を受けています。最近、自分でも変化したなと思うのは、たとえば自分が芯になっているシンで周りのパワーをすごく感じるようになったんです。また、感じることで自分も

SOU KAZUHO

そうかは○宝塚歌劇団花組、兵庫県出身、96年初舞台。花組に配属され男役スターとして注目を浴びる。00年4月『源氏物語 あさきゆめみし』の新人公演で頭の中將、同年ベルリン公演に参加。01年雪組に組替え、『愛 燃える』で新人公演初主役。雪組時代のバウホール主演は、02年『ホップ スコッチ』(立樹遼、音月桂とトリプル主役)、03年『さすらいの果てに』など。本公演では03年『Romance de Paris』の主人公の義兄、04年『スサノオ』の月読、06年全国ツアー『ベルサイユのばら』のアンドレなど活躍。06年末に花組に組替え。07年は『明智小五郎の事件簿—黒蜥蜴—』の波越警部、『源氏物語 あさきゆめみしII』の頭の中將、『アデュー・マルセイユ』の若き政治家モーリス、08年は『メランコリック・ジ・ロ』でジコロのスタン、『愛と死のアラビア』のアラブの皇子トウズン、全国ツアー『外伝ベルサイユのばら—アラン編—』では再びアンドレ役。最近作『太王四神記』ではプルキル、と幅広い役柄を演じて進め著しい男役スター。5月には花組で初の主演作『オグリ!』が待っている。

次回予定○花組バウホール公演『オグリ!—小栗判官物語より—』5/8~19○宝塚バウホール、5/26~6/1○日本青年館大ホール



『オグリ!』ボスター画像

野田秀樹・謝珠栄

多彩なプログラムで芸術監督スタート

この夏、東京芸術劇場の初代芸術監督となる

野田秀樹の就任記念プログラムとしてオープニングを飾る3作品が上演される。

その第1弾として、英国で人気の男性のみのシェイクスピア劇団プロペラ、

第2弾は英国版を上演し評判となった

野田秀樹の『THE DIVER』の待望の日本バージョン『ザ・ダイバー』。

第3弾は謝珠栄のオリジナルミュージカル『天翔ける風に』の再演。

話題作が芸術劇場に新たな風を吹き込む。

東京芸術劇場初代芸術監督としての活動のこれからと、

『天翔ける風に』再演への期待を、野田・謝に話してもらった。



公演情報

野田秀樹 東京芸術劇場
芸術監督就任記念プログラム

プロペラ

『夏の夜の夢』
『ヴェニスの商人』

作○W・シェイクスピア
演出○エドワード・ホール
出演○プロペラ
7/2～12◎東京芸術劇場中ホール



TSミュージカルファンデーション

『天翔ける風に』

原作○野田秀樹『悪作・罪と罰』より
演出○謝珠栄
音楽○玉麻尚一
出演○香寿たつき 山崎銀之丞 戸井勝海、今拓哉 阿部裕、平澤智 鏡持たまき 福麻むつ美 他
8/21～30◎東京芸術劇場中ホール



NODA・MAP

『ザ・ダイバー』

作・演出・出演○野田秀樹
出演○大竹しのぶ 渡辺いっけい 北村有起哉
8/20～9/20◎東京芸術劇場小ホール
お問合せ
東京芸術劇場 事業企画課
TEL 03-5391-2111



✔今はず東京芸術劇場を知ってもらいたい

昨年の2月に発表があり、準備期間を経ていよいよ芸術監督としての活動が始まりましたが、まずどんな方向性を?

野田 ちゃんとした方向性を打ち出すのは、2012年の劇場改修後になると思います。今はまず「人を呼べる」こと、池袋にこういう劇場がありますよと認知してもらいたいと思っています。認知された劇場ならこういうテーマで、とかラインナップも出しやすけれど、とにかくあらゆる色を出すところから始めようかなと。

その意味では、新しいラインナップは多彩なものが揃いましたね。

野田 芸術監督を引き受けた理由の1つとして海外のものを受け入れる場所ができるというのがあって。今までは知人に日本での公演の話をお願いしても、劇場を紹介するだけだったけど、プロペラには自分の関わる劇場でやってもらえることになって良かったなど。また、いい作品でも、再演ものをやるのが、今の演劇状況では意外と難しいんです。それは演劇界の構造が変わらない限り1つの劇場ががんばっても無理なんだけど、少しでも変えていきたいから。普通は、再演の予定もなかなか立てられない役者が揃わないことが多いけど、謝さんの『天翔ける風に』は、初演メンバーが何人か集まったよね。

謝 そうですね。一般的に再演は難しいと言われているけれど、私たちの作品は、いつも上演期間が短いので初演を観るごとの出来無かったお客様にも来て頂けるんですよ。

野田 あともう一つ考えているのは、もつと若い人たちに機会を与えられる劇場になればいい。謝 それは心強いですね。若い世代を育てるのがいちばん芸術監督にしてほしいことだから。それから外国の作品を呼ぶと同時にこちらの作品も持つてほしい。

野田 その流れはつきたいよね。僕ができるのは今はイギリスとアジアだけだけど、もっともっと広げていきたいと思う。

✔時代を先取る野田作品

8月は『天翔ける風に』と『ザ・ダイバー』が上演されますが、『天翔ける』は野田さんの『悪作・罪と罰』をミュージカル化したものです。

野田 最初は、謝さんの『タン・ピエットの唄』を観て「この作品、良かったから東京芸術劇場でやらない?」と言ったんだよね。

謝 でも時期的に合わなくて。それで『天翔ける』にしよう。これは6年ぶりの再演なんです。初演の時とは今の世の中も、自分たち自身も変化しているので、音楽も含め、新たに練り直そうと思っています。

野田 謝さんの舞台はよく観てて、最近の『AKURO 悪路』も初演からいいなと思ってたら、やっぱり賞を取った。遅いってね(笑)。

謝 ありがとうございます(笑)。

野田 野田さんの『悪作・罪と罰』がミュージカル化や再演されても色褪せない魅力はどこにあるのでしょうか?

野田 もとがドストエフスキーですからね。謝 それを日本の幕末の話にしたのが野田さんのすごさですよ。リアリティがある。描かれている人間たちがドストエフスキーの原作と矛盾なく、それでいてオリジナリティがあつて。そういえば『天翔ける風に』というタイトルも野田さんが考えたんですよね。

野田 なんかへんなタイトルつけてたよね(笑)。初演を観てすぐ面白いと思ったんだけど、それは僕が台本を書いた本人だからかな……と思った。自分が作った手料理は皆おいしくて思うでしょ。でもみんなが面白く言ってくれたん

でちょっとホッとした(笑)。そういうことあるじゃない?人間って自分舐めだから。

謝 ミュージカルがあまり好きじゃないみたいなのに、快くOKしてくれて嬉しかった(笑)。

野田 確か『悪作・罪と罰』のゲネを観てくれて、とても好きだと言ってくれたよね?

謝 私、『悪作・罪と罰』のステージングやつたのよ(笑)。

野田 あ、そっだった(笑)。あれはちょっとサリ

✔劇場は多様性があるほうが面白い

東京芸術劇場はまだまだ認知されていないと言われましたが、その理由は?

野田 それはこの劇場は今までは貸し館中心だったの、あまり個性を求められなかった。劇場の色というものがなかったから認知しにくいんです。たとえばシアター・コクーンなんかは、その劇場の色が決まっている。それはそういう色を持っている劇団とか公演をやっているからなんですよね。

謝 なかなかそういう劇場で公演するのは難しいよね。スケジュールがまず空いてないし。今後、東京芸術劇場がそういう風になつていくのを期待しています。

貸し館中心だった劇場に、自主公演は今後どのくらい入るそうですか?

野田 今後、東京芸術劇場の自主公演を形にいくためには、劇場の移行期ということもあつて、制作面での人材育成も課題かなと思っています。今回は、謝さんのメンバーや僕のNODA・MAPのメンバーと劇場のスタッフが一緒になつて動いている。

まずは野田秀樹おすすめのラインナップで色をつけるということですね。

野田 一応、僕の趣味ですね(笑)。でも劇場は多様性があるほうが面白いと思うので、そういう点では、おすすめはあつても自分の作品や、自分の色に似ているものはかりではないです。質が高ければ色んな色があつていいと思う。

7月のプロペラはどんなカンパニですか?

野田 演出のエドワード・ホールは、ピーター・ホルの息子で、もともとロイヤル・シェイクスピア・カンパニーにいたんです。エドリアン・ノーブルがやめたとき彼もやめて男だけの劇団プロペラを作つて。僕が観たのは、ロンドンから少し離れたところの水車小屋でシェイクスピア劇をやつていて、それがすごく面白かった。彼は20代なのに日本に歌舞伎研究で短期留学して、僕のワークショップに来たりしていました。今回は『ヴェニスの商人』と『夏の夜の夢』を2本上演しますが、

ン事件の時期と重なって、不幸な作品になったんだよね(笑)。人を殺した人間が許されるかとか書いてるわけだから。また衣裳がみんな白でさあ(笑)。

野田 野田さんの脚本はいつも時代を先取りしていますよね。今の不況な時代もどこか『悪作・罪と罰』と重なりますね。

謝 そういふ所、ありますよね。今回は、初演ではあまり意識しなかった社会性を前に出すというか、三条英一という人間そのものの復活と同時に、日本という国の再生という部分をお客様にもわかっていただけるようにしたいと思っています。英一としての夜明けであるとともに、日本の国が眠りから覚めて復活していく。そこをもとに伝わるようにしたい。

野田 野田さんは同じ時期に『ザ・ダイバー』日本バージョンの演出と出演で、楽しみです(笑)。

野田 苦しみです(笑)。装置はまず変えることになると思うし。

謝 野田さんが小ホールというのが面白い。野田 謝さんが上の中ホールで、僕が下の小ホールでやるって新鮮ですよね。

この夏は、東京芸術劇場に新鮮な息吹を吹き込むプログラムになりそうですね。

謝 野田さんが芸術監督になつてくれたことで話題が集まると思うし、若い人たちの足が向かうというですね。いい劇場ですから。

野田 いい芝居さえあれば、自ずといい劇場と呼ばれるようになるからね。

のひでき○55年、長崎県生まれ。76年に夢の遊眠社を結成。解散後は英国留学を経て、93年にNODA・MAPを設立。以後次々と話題作を発表する。歌舞伎、オペラの脚色・演出も手がける。さらにロンドン・東京で全編英語による『THE BEE』、『THE DIVER』を上演するなど、国内外で好評を博す。08年4月より東京芸術劇場の芸術顧問に就任。09年夏から芸術監督に就任予定。

次回予定○『ザ・ダイバー』8/20～9/20 東京芸術劇場小ホール

じゃつま○兵庫県生まれ。宝塚歌劇団を経てNY留学。東京キッドブラザースや夢の遊眠社の演出や宝塚歌劇や東宝ミュージカルの演出・振付を手がける。87年よりTSミュージカルファンデーション(現TSミュージカルファンデーション)を設立。オリジナルミュージカルの上演と共に後進の指導に当たる。『タン・ピエットの唄』、『Calli〜炎の女カルズ〜』、『AKURO 悪路』の演出・振付に対し、紀伊國屋演劇賞個人賞を受賞。『AKURO 悪路』の振付で読売演劇大賞の最優秀スタッフ賞を受賞。

次回予定○TSミュージカルファンデーション『天翔ける風に』8/21～30◎東京芸術劇場中ホール

2年ぶりのラーメンズ

ラーメンズ第17回公演『TOWER』

4/1~12◎東京・本多劇場
4/15~16◎名古屋・アートピアホール
4/20~22◎大阪・サンケイホールブリーゼ
4/24~26◎京都・京都府立文化芸術会館
4/29~5/2◎神戸・新神戸オリエンタル劇場
5/4~6◎新潟・リョーとびあ劇場
5/8~9◎高松・アルファあなぶきホール 小ホール
5/11~14◎広島・アステールプラザ中ホール
5/16~17◎山口・山口情報芸術センタースタジオA
5/21~24◎札幌・道新ホール
5/26~28◎仙台・仙台市青年文化センター シアターホール
6/1~7◎福岡・西鉄ホール
6/9~10◎長崎・チトセアホール
6/15~28◎東京・東京グローブ座

<http://www.rahmens.net/>



片桐仁

かたぎりじん◎73年生まれ、埼玉県出身。大学在学中に小林賢太郎とラーメンズ結成。その風貌とキャラクターで世界観を創りあげるラーメンズの怪傑。最近では、他プロデュース公演や、映画、ドラマ、CMなど、様々なメディアで活躍し、役者としての活動の幅を広げている。不条理アートを生み出す彫刻家としての顔も持つ。



ただいま全国ツアー中!

前回の『TEXT』から早2年——。

それぞれに活動の幅を広げ、進化し続ける小林賢太郎と片桐仁が、「ラーメンズ」として舞台に帰ってきた。

第17回公演『TOWER』は、東京にはじまり東京に終わる、全国13カ所、全72ステージの旅。まだまだ続く旅の途中で語ってくれた、ふたりが目指す『TOWER』とは?



小林賢太郎

こばやしけんたろう◎73年生まれ、神奈川県出身。96年に大学の同級生片桐仁とともにラーメンズを結成。脚本・演出をすべて手掛けるコント職人。ラーメンズの活動以外にも、『K.K.P.』『Potsunen』『NAMIKIBASHI』『SymmetryS』『大喜利狼』など、様々な企画を立ち上げ、勢力的に活動中。<http://kentarokobayashi.net/>

——2年ぶりにラーメンズとして舞台に立った感覚はいかがですか?
片桐 初日の明転した時に、お客さんの反応をすごく意識しました。お客さんの反応を見て、「待っていてくれたんだ」と思って、感慨深いものがありましたね。客席の緊張感がすごかった。始まる瞬間にヒタッと静かになって、私語禁止みたいになつてましたから笑。

小林 お客さんスタッフ、片桐さん含めて、僕が一番緊張してなかったかもしれません。ひとつ前の公演の『TEXT』を、一昨日くらいまでやっていた感覚でした。『TEXT』の後に違う作品をいくつか作って、その時に新しく見つけた原理やスキルを今回に持ち込んでいるので、止まっていなくていいんですよ。やってきたことすべてが今回の『TOWER』の準備とも言えるわけですから、2年空いたという感覚がないんです。だから、楽しんでますよ。

片桐 今回はすごく稽古した感じがしたよね。
小林 やりこみましたね。稽古でできる努力はすべてしましたけど、やっぱり板の上に乗せてみてわかったことが山ほどありましたね。これからもどんどん積み上げていきますよ。

——現段階で、今回の公演『TOWER』に関して言えることはありますか?
小林 今まで17回ライブをやってきましたけど、一番好きな作品です。まだもともとと育っていくとは思って、自分でも予想がつかない姿になつていくとは思っていますけど、今見えている景色はすごくいいです。

片桐 今回、アンケートを見ると、初めて見てくれた人がすごく多いんですね。「予習をしてこなかったんで、大丈夫かな」と思っていたという意見が多かったんですが、予習なんてしなくていいですよと言いたいです。

——『TOWER』というタイトルは、すごく堂々としているイメージがありますね。
小林 そういうイメージもあつてつけました。タイトルを決める前から、大きなものにしたいかっただけで、全方向から見て大丈夫な作品にしたいかっただけなんです。笑いの原理をあらゆる角度から作っていくか、それはお笑いとして見ても、演劇として見てもという意味もあるし。何度も見ている方にも、初めて見る方にも、あらゆる角度からの鑑賞に耐えられる作品にしたいと思つたんです。それで、どこからでも見えるというところから、『TOWER』になりました。

片桐 『TOWER』って聞いたときはちょっと緊張しましたよね。
小林 なんて?
片桐 今回は「バカっぽいので行くぞ」とみたいな話があつたんで、どんなタイトルになるのかなって思ってたから。

小林 『TOWER』ってね、ポスターとかグラフィックになるとカッコイイイメージがあるけど、カタカナで「タワー」って書くのと、すごくバカっぽい感じもするんですよ。

片桐 全国のタワーの中には、どう考えてもバカっぽいものもあるもんね。香川にあるゴールドタワーには、昔、「世界のトイレ博物館」っていうのがあつて、「このトイレでおしっこしないでください」って書いてあるの。「バカじゃないの!」って笑。

——6月の東京まで、まだまだ公演が続きますが。
小林 長い道のりだな。何度も経験していますけど、「これ、終わらないな」と思っても、終わるんですよ。でも、終わるとまた何かが始まるんですよ。その繰り返しでしょうね。

片桐 3カ月、ケガや病気がないように頑張ります。
小林 公演が終わる3カ月後に、何かを成し遂げられているかどうか、宣言しようか。3カ月あれば何が達成できるよね。開脚とかどうですか?
片桐 開脚とかで、3カ月でできる!?

小林 地方だと時間があるから、今回は柔軟をやりたいです。それとも、腹筋割りますか?
片桐 腹筋割れたことないよ、これまで。
小林 3カ月あればちょっとは変わるよ。
片桐 うーん。タワーに行きます!

小林 タワー全国制覇?じゃあ、次の取材のときには、地方のタワーと仁さんが映っている写真を提出するといいな、それ。

片桐 私、片桐仁は、ツアー中に全国のタワーに行きます!行つたけど、真つ暗な時もあつたりね(笑)。でも、狙ったところがすげえ遠いって場合もあるからね。
小林 いろいろ調べてみましょう。じゃあ、僕はとりあえず柔軟を頑張ります。

「行列」の芝居の稽古をしている若者
たち。そこに突然現れる、かつて「行
列」の芝居に出演していたという「一
群」。彼らを率いる「青年」の号令に、
「一群」の人々は架空の砂袋を背に
かつき始める。

奥村 あー、「95kg」なんですな！
横田 思いつきで言ってるだけだからあまり
「異端」であり、大きくかけ離れた世代のパイプ
というか、若者に世代では近いけど、「一群」たち
と時代をともにしたようなセリフも書かれてい
るので、その両方をつなぐ「95kg」のような役割
りかなと。
奥村 あー、「95kg」なんですな！
横田 思いつきで言ってるだけだからあまり

「青年」は名前も記号的で、いろいろな役割を
背負っているように見えました。
横田 「一群」たちは同志であり、若者たちには
「異端」であり、大きくかけ離れた世代のパイプ
というか、若者に世代では近いけど、「一群」たち
と時代をともにしたようなセリフも書かれてい
るので、その両方をつなぐ「95kg」のような役割
りかなと。
奥村 あー、「95kg」なんですな！
横田 思いつきで言ってるだけだからあまり

「行列」と「一群」の79人のエネルギーを受け
て、真ん中で芝居している状態はいかがでした？
横田 まず物理的に人数の力が大事な舞台だ
し、そのエネルギーにすく助けられました。でも
も蛭川幸雄さんが「大人数を演出するってたいへ
んなんだよ、どんなにエネルギーが要るかわかる
だろう」とおっしゃった意味がわかったし、それが動
くときの快感とか感動もありました。
奥村 それぞれの人がそこにたどり着くまでの

「行列」の芝居の稽古をしている若者
たち。そこに突然現れる、かつて「行
列」の芝居に出演していたという「一
群」。彼らを率いる「青年」の号令に、
「一群」の人々は架空の砂袋を背に
かつき始める。

95kgと97kgのあいだ

「行列」と「一群」という2つの集団と彼らを煽る青年、そこに現れた1人の美女。
さまざまなメタファーに彩られながら群れは黙々と砂袋を担ぎ続ける
たった2kgの間にある永遠に思われる何か……？
その表現を求めて苛酷な「稽古」は続く

青年は95kgの役割り？

清水邦夫の戯曲を蛭川幸雄が演出するとい
う形は、これまでに数々の名舞台を生んでい
るが、85年に初演されたこの作品もその1つ。
「行列」の稽古をする若者たちと、そこに現れ
る昔その芝居を演じたという「一群」の群衆劇
だが、彼らの中心として、挑発的な「青年」と
不思議な「女0」という役割りを演じた横田栄
司と奥村佳恵に、この作品への取り組みを聞い
た。

理屈ではなく感覚で演じる演劇

清水邦夫の戯曲を蛭川幸雄が演出するとい
う形は、これまでに数々の名舞台を生んでい
るが、85年に初演されたこの作品もその1つ。
「行列」の稽古をする若者たちと、そこに現れ
る昔その芝居を演じたという「一群」の群衆劇
だが、彼らの中心として、挑発的な「青年」と
不思議な「女0」という役割りを演じた横田栄
司と奥村佳恵に、この作品への取り組みを聞い
た。



横田栄司 奥村佳恵

よこたえいじ○71年生まれ、東京都出身。94
年文学座研究所入所。99年文学座座員とな
る。最近の舞台では06年「オレスティス」、07年
「ひばり」「カリキュラ」、08年「リア王」「ガラ
スの仮面」、09年「冬物語」など数多くの蛭川
幸雄作品に出演している。ほかにも07年にホ
リプロ「ヴェニス商人」、09年博多座の「恋
ぶみ屋一葉」などの舞台で活躍。

次回予定○「雨の夏、三十人のジュリエット」が
運ってきた」5/6~30◎Bunkamuraシアター
コクーン

おくむらけい○89年生まれ、大阪府出身。母
親が主宰するクラシックバレエで雇ったボロ
ーションと華やかな美貌で、08年、「ガラス
の仮面」のオーディションに合格、ヒロインの
ライバル姫川亜弓役に抜擢される。続いてこの
「95kgと97kgのあいだ」でも蛭川作品に出
演し、これからが期待の新人女優。

その魂は、乱舞し続ける

まずは、この若き舞台俳優と関わった経験がある演出家の名を挙げてみたい。ロバート・アラン・アッカーマン。サイモン・マクバーニー。ジョン・ケアード。つかこうへい。岩松了。長塚圭史。etc……。大学の演劇サークルからキャリアをスタートさせ、現在も劇団「ひよっこ乱舞」に所属。劇団を誰よりも愛して止まない彼のスタンスからは、この躍進は想像し難い。多くの演出家に愛される男、そして、唯無二の劇団と、その演出家を愛する男。チヨウソンのハ、現在、28歳。貪欲に学習し、若者らしく葛藤するその人は、舞台上では、ここぞとばかりに「乱舞」する。チヨウソンのハ、エネルギーなロングインタビュー、いざ、始めます。

チヨウソンのハ

LONG INTERVIEW

ひよっこ
乱舞



チヨウソンのハの生まれた場所

——ご出身は東京ですね。どんな家庭でした？

出身は上野(※1)です。下町ですね。実家は親戚みんなと暮らす大家族でした。でね、伯父さん達が怖かったんですよ。小学生の僕が泣いているとパンパンぶつ叩かれる。ヤクザみたいな人達だと思ってましたね。小さい頃は、

——チヨウソンのご兄弟は？

姉ちゃんと妹です。でも、家自体は色んな親戚と一緒にぎゅう詰めで暮らしてました。

——怖かった以外の思い出は？

怖かった思い出ばかりですけどね(笑)。ええと、うちは父親が元新聞記者で、母親が金剛山歌劇団(※2)という歌劇団の元プリマだったんです。で、僕が生まれてすぐ、両親が居酒屋を始めましたけど……また父親がすごく酒を飲む人で、なのに、僕は体質的に一滴も飲めないんですけど。ある晩、親父とお母ちゃんがバタバタと帰ってくるなり口論を始めたんですよ。親父は「寝ろ！」って、すぐ布団に潜ったんですけど、お母ちゃんがその布団をひっぱ返して、親父の胸倉を掴んで正拳突きしたんですよ！お母ちゃんがテコンドー(※3)をやったのは聞いてたんですけど、テコンドーの正拳突きからハイキックを繰り出して。びっくりして大泣きしたら、奥に住んでいた伯父さん達が止めに入ってくれました。

——割と豪快なご家庭だった？

なんででしょうね。ワイルドファミリー？(笑)。

——(笑)。下町の肝玉母さんのな？

そうですね。僕は在日3世なんですけど、2世の人は濃いんですよ……って、こういうことを言うけど、よく「何を知ったような口を」って怒られるんですけど(苦笑)。2世の人は「自分達は根無し草で、どこにも居場所がないんだ」という話をよくするし、周囲からも色々言われてきているので、その中で開ってきたんだろなあとという印象はありますね。反骨精神旺盛というか、

——そういう「強くありなさい」という教えは、チヨウソンにも？

僕にはあまりなかったです。おじいちゃんも父親も、割と自由人なんです。よ。これから日本で暮らしていくことにも肯定的だし、「垣根のないようにしたい」という思いがある人達でした。ね。ずっと「好きなことやれよ」と言われてきましたし。

食べても太らない理由は？

——小学生の頃のお話を聞かせて下さい。

僕、すごく痩せてた(※4)んです。ある日、心配した母親に病院連れて行かれたんですけど、お医者さんに「お子さんをよく見て」覧なさい。これじゃ太る訳がないです」と言われて、僕、病院の中でずーっと動いてたみたい(笑)。「これ位の子供さんがこれだけ動いてれば、何食べても太りませんよ」と。あと、よくある話ですけど、通信簿には必ず「落ち着きがない」と書かれていました。でもね、兄弟がお姉ちゃんと妹なので、女の子の子しながら育ったんですよ。お人形さんとか大好きで、年下の子にお人形とられて泣いてました。

——ちやったりとかしてました。

——スポーツはどうですか？

スポーツはね、ほんとに出来なくて……。これ、言っちゃいけない！僕ね、スポーツ全く出来ないんですよ。だから、小学校では美術部に入って(※5)、ずーっと絵を描いてました。あと、家で1人で漫画描いたり。

——あまり社交的なタイプではなかった？

いや、社交的ではあったんですけど、「スポーツやろうぜ！」という社交性じゃなくて、「間をとる」みたいな。社交性はすごくあったと思いますよ。ひよきんな子でしたし。スポーツって、勝ち負けの世界じゃないですか。勝ち負けの世界が嫌だったんですよ。だから「勝ち負けにならないよう、ひよきんに持つていく」みたいな立場だったと思います。

兄弟で観に行つた初めての演劇

——子供の頃、「将来の夢」はありましたか？

小学生の頃は漫画家になりました。です。中学に入ってから、クラシックギターを習い始めて。御茶の水の新堀ギター音楽院(※6)に5年間通ったのかな。その頃はクラシックギターやしながらバンド組んだり。

——じゃあ、中学高校の頃の夢は……

バンドマンです(笑)。わかりやすい。そう、中1の時の僕って、ぶっくぶくだった(※7)んですよ！面白いんですよ。運動ダメで漫画描いてる頃の僕。中学3年間で水泳やってたので、だいぶ戻ったんですけど。

——漫画、バンドときて、演劇はまだ出て来ないですね。

出てこないですね。でも、母親が歌劇団のプリマだったから、母親に連れて行かれて、よくお芝居観てましたよ。そうそう、小学校高学年の時に「そろそろお姉ちゃんと2人で観に行つてみたら？」という話になって、今思うとアレは下北(※8)だったんですけど、母親にチラシを渡されて、姉と2人だけでお芝居を観に行ったことがあるんですよ。そうしたら、それが超エログロものだったんですよ(笑)。ガンガンSEX！みたいなお芝居で、2人でちやちやしくなっちゃって。帰りの電車の中でも一言も口きかないまま帰って、母親に「どうだった？」と訊かれても、「なんか、へんだった」「みたいな。すごくムズムズしながら観たのを覚えてます。

初舞台に選んだ作品は……

僕の中で演劇が始まるのは高3なんです。すごく親しい友達、演劇好き……というか、清水邦夫さん(※9)が好きだったんですよ。それで、誘われてやつてみたら、すごく面白かったんですよ！それが清水邦夫さんの『署名人』(※10)です。高3、初舞台、『署名人』……お前アホか！みたいな選択です。ね(笑)。1幕もので、牢獄の中で展開するじりじりしたお芝居でしたねー。その時のビデオは残ってますけど……今観たら全然面白くないんですよ。でもね、何かすごく、違いを感じたんですよ。中高とやってきたバンド(※11)との違いを。要は「静寂を知っちゃった」みたいな(笑)。ハードロックとかパンクとか(※12)をやってきた高校生からすると、ああいう静寂を味わったこと

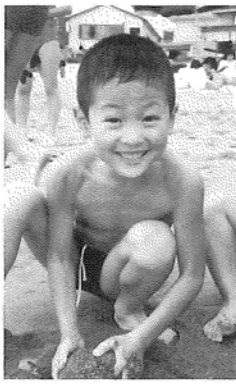
上野(※1) 東京都東区にある地域の総称。上野駅を中心とする帯を指します。未だ歴史情緒が残る街だと思えます。

金剛山歌劇団(※2) 「日本生まれ育ちた在日朝鮮人総合芸術パフォーマンス集団」(公式サイトより)。55年、日本国内に設立された。

テコンドー(※3) 多彩な技を誇る格闘技。スポーツの種で、韓国の国技として約60年のシードオリンピックから正式競技として採用される。

すごく痩せてた(※4) 「カリフォルニアで親に心配されていたんです。喘息持ちで、水泳やてました」(チヨウソンのハ談)。

小学校では美術部に入つて(※5) 「美術部で賞を貰った時の写真です」(チヨウソンのハ談)。



新堀ギター音楽院(※6) 57年、新堀宮に於いて創立されたギター教室。09年現在では、首都圏各地にギター教室を構えているだけでなく、3校の音楽専門学校を運営しています。首都圏在住の方は一度は看板を目にしたことがあるのでは、気になる方は直接HPをご覧ください。http://www.nihon.com/

中1の時の僕って、ぶっくぶくだった(※7) 「中1の時に写真撮影経験がなかった頃の「チヨウソンのハ」談」。



がなかったから、それはものすごく快感だった覚えがありますね。

東大・広田淳一、ひよつとこ乱舞

その『署名人』がきっかけで、大学で演劇をやってみようと思ったんです。それで、色んな大学を見に行ったりして、演劇サークルを探していたら、広田淳一（※13）がいた東大のサークルをたまたま見つけて。

——そのサークルに惹かれた決め手とは？
これがねえ、今からだと考えられないんですけど、役者・広田淳一がめちゃめちゃ格好良かったんですよ。その当時の作・演出は広田さんじゃなかったんですけど、ナンセンスホラーっぽいお芝居をリアルな口語を使って作っていたんです。東大サークルだから、みんな頭が良かったんですけど、何とも不思議な世界観があつて、「入れてくれませんか？」と言いました。

——そのサークルでの出会いが、ひよつとこ乱舞（※14）旗揚げに繋がるんですね。
そうですね。旗揚げはサークルを卒業した直後ですね。サークルを卒業する時、広田さんがユニットを立ち上げたんですけど、それがひよつとこ乱舞。第1回公演（※15）は……うーん。大変だったような気がします。僕は39度位熱が出て、本番は座薬打ちながらやりました。第2回公演（※16）まではみんな学生なんで、劇団としてもすごく曖昧な感じで。実際、2回目が終わった後が、ちょうど卒業と就職の時期なんですよ。それでみんな就職して、ガバッと出て行つて。で、同じ頃僕も北区（※17）を受験するんですね。

翻訳劇特有の分りにくさもあるんですけど、僕のやる「天使」がね、宗教の話ばかりしてる訳です。もう「これは大変なことが起こったぞ」と思つて（苦笑）。で、生まれて初めて、知らない人ばかりの稽古場に参加するんですけど、ほんと（ロバート・アラン・アッカーマン（※22）さんの前では垣根がなくなるというか、ぶち壊してくれるんですよ。アッカーマンさんなんか60代の方なんですけど、誰が先輩だとか、そういう図式がないからすごく気持ちいい。だから、こちが変に謝ると逆に嫌がるんですよ。「もつとやれ、もつとやれ」という感じで。「もつと高い声を出せ」と言われて高い声を出していると、どうやら面白いらしい、みたいな（笑）。そんな感じで、本当にあれよあれよという間に出来上がりましたね。再演の方がよっぽどしんどかったです。

——再演がしんどかった理由って？

初演は本当にあつたという間で、「高い声出して、イントレ駆け上つていれば上

——その受験は何か思い入れがあつて？

やつぱり、かなり行き詰つてはいましたよ。すごくて。大学生サークルだし、みんな20歳前後ですから。すごく楽しかったし、価値があったと思うんですけど、やつぱり行き詰まる訳です。で、別の突破口が欲しいというか、このままだと窮屈だなどという思いもあつて「外に出てみたい」ということを言つて、受験しました。

★☆北区つかこうへい劇団にて考える日々

そしたらね、そのオーディションで「客席に向かつて、受験者全員が自分の名前を叫ぶ」という試験があつたんですけど、舞台上にいる100人位の受験者が、溢れんばかりに自分の名前を叫ぶんですよ。「チョウソンハ！チョウソンハ！」って。そしたら、客席の一番奥に座っている友部（康志）（※18）さんという役者さんがね、「聞こえねーよー！」（笑）。もうね、1000人の声を掻き消すんですよ。1000人が自分の名前を叫んでいても、「聞こえねーよー！」が勝ちちゃう。これだけ直接的な発見というのは大きかったですね。「理屈じゃない、こういうものが欲しかった」と思いました。「ここで何かを知りたい！」って。明らかにあるもの、聞こえるか聞こえないかの世界だから、分かり易かったんですよ。そうすると、「どうすれば聞こえるんだろう？」ということじゃないですか。こっちは口から血が出る位叫んでいるのに、聞こえない訳です。で、「よし、叫んでも聞こえないんだな。そもそも、聞こえるって何だろう？」ということを考えてるようになった。

手くいく「みたいなイメージがあつたんですけど、再演の時は「あれ？こんなんだっけ？」みたいな感覚がありました。あと……そう、再演の時は「もうそんなに高い声出ねーよ」というのもあつた（笑）。初演の時は飛び道具的な扱いでしたし、それをやり尽くした感があつたので、再演の方が色々と考えさせられましたね。

『春琴』で知る、英国と日本の差異

——近話題で「春琴」（※23）のお話を聞きたいのですが。
去年はロンドンでやる機会がなく、今年が初のロンドン上演だったので、サイモン・マクバーニー（※24）さんには「イギリスのお客さんに観せるんだ」という思いが強かったようです。特に、日本の陰影だったり、間とか余白とかが、初演のままで伝わりなれないと思つていたので、中身をすごく詰めたんですよ。

ろくろ？」ということを考えてるようになった。いい意味で、教えてはくれないから考えるんですよ。あの頃はそういうことをずっと考えていられた。良い年月でした。人生振り返っても、一番物事を考えた時期だと思います。

再び、ひよつとこ乱舞へ

一方、広田淳一は「現代って何だ？」みたいなことでこんがらがりながら、公演を続けて行くんですけど……面白くなかったですよ。当時のひよつとこ乱舞は（笑）。あの頃は特に揺れていた時期だと思えます。僕は北区の養成期間が終わり、卒業試験に通つて、正規の劇団員として北区の劇団公演に出させて頂いてたんですけど、ある時つかこうへい（※19）さんから1年間のスケジュールを貰ったんです。その時、自分の中で、その1年は先が見えちゃう気がしたんですよ。それで、これまですごく良くして頂いたつかさんに手紙を書きまして。もう、丸一日掛かりで。ほぼ寝ないで。破つては書き、破つては書き。

——どんな内容だったんですか？
ずらーと、「同世代の人間と一緒に現代の演劇を作りたい」という想いを書いて。その手紙で北区を辞めるお許しを頂いたんですけど、そのやり方もね、劇団のホームページに僕の手紙を全文掲載しちゃうんですよ（苦笑）。そこに、つかさんから「その意気や、よし」という一言が。つかさんは、直接僕に返事するとか、恥ずかしがって絶対しない人ですから。その時に「やつぱりこの人好きだ」と思いましたね。

最初は、僕らにとっても違和感がありました。「説明し過ぎだ」とか「もつと冗長なものではないか？」とか。でも、いざロンドンのお客さんの前に立つと、なるほど、大爆笑なわけですよ。ロンドンのお客さんはね、あの芝居で延々笑っています。びっくり（笑）。「小さい女の子の人形（※25）が、師匠の振りをして男の子をバンバン叩いている」という事実だけが入ると、やつぱり笑うんですよ。その人形が地団駄踏んだりすると、すごい喜んで大笑いするし。そういうのをちゃんと笑いながら観てくれる人達なんだというのが発見でした。何というか「バカなこと」を観て笑うだけじゃなく、ちゃんと観てくれた上での笑いなので、そういう風に笑えるのはちょっと格好良いと思いました。人形が生き生きとしたり、女の子っぽく見えたりすると、感心して笑うんですよ。今回はイギリスの人達に向けて作り上げたので、日本に帰ってくる時に調整で苦労した部分はありましたけれど。

——日本版とイギリス版の違いはあったんですか？
いやあ、難しいですね。一切ないという訳じゃないんですが……こればかりは難しい。台詞は1文字も変わらないし、時間も全く一緒なんですけど。いや、でも、別物の芝居だったという感じがするんですよ。これはみんなが言っていましたけど、日本語が通じると、言葉だけでその陰影が伝わるので、ほんと秘め事のように観てくれるんですよ。そういう所がすごく面白かった。——観客の違いが全く別の舞台を作り上げたというところでしょうか？

——そんなドラマがあり、★☆北区つかこうへい劇団から、再びひよつとこ乱舞に戻れる訳ですね。

はい、第8回公演の『銀髪』（※20）から。

——ひよつとこ乱舞の作品で、印象深いものと言えは？

やつぱり、『銀髪』はすごく残っています。ちよつと前にも再演していますし。あれは、北区から帰ってきた僕のエネルギーをまんま使つて1本芝居を書いてくれた、みたいな感じでした。広田さん自身も戯曲を書くことにずっと悩んでいたんですけど、この時はつかさんのやり方を聞いてくれたんですよ。で、10作って9削るということを『銀髪』ではやってみました。だから、最初はすごく長かったみたいです。僕が1年半かけてやってきたことをひよつとこに持ち込めたし、広田さんも一緒に付き合ってくれたし、あの頃の出だしは（笑）好調でした。ねえ。

転機、『Angels in America』の出演

——『銀髪』の初演が04年。この年に『Angels in America』の初演にも出演されていますね。

客演に関しては『Angels in America』（※21）が全ての始まりですね。そこに全部が詰まっている気がします。

——初演の思い出はどうですか？

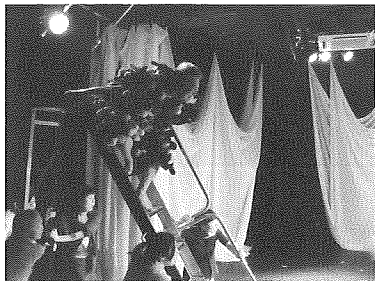
いやー、台本をもらった瞬間から「はあ？」みたいな（笑）。何しろ7時間のお芝居ですからね。今でこそ「すごく等身大のお話だった」と思えますけど、最初に台本を読んだ時はね……。

そうですね。僕にとっては初めての海外公演だったので、その辺のことにびっくりしました。イギリス人の為に作った舞台を日本に持ってきて、「受け入れられ方がこんなに違うのか！」という驚きは、明らかにありましたね。「もつと沢山の国を回って、誰がどう観ても俺らはこうだよ」という感覚になった頃、初めて面白くなるよ」と言われて、それはやってみたいなのと思いましたが、そういうことに対するイメージが豊かになった公演でした。

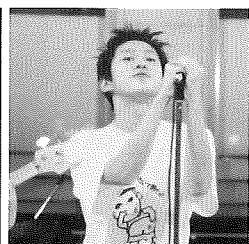
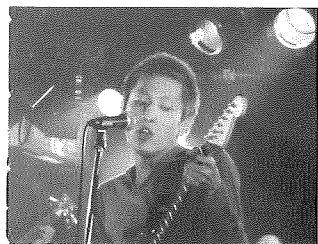
不利をもつて利とした『夏の夜の夢』

——『春琴』を終えて、次の出演作は『夏の夜の夢』（※26）の再演ですね。

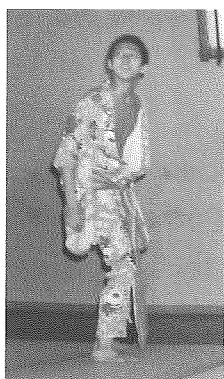
このお芝居も、初演はあれよという間に出来上がった感じでした。ジョン（ケアード）（※27）さん、村井（国夫）（※28）さん、麻実（れい）（※29）さんなどが場所を作ってくれて、そこにシュンてはまつて。だから、実を言うとな再演が少し怖いです。ただ、その時にやったことは今でも覚えているし、すごく楽しかったんで、意気込みはあります。でね、これの初演の時、本番中に肩のじん帯を切ったんですよ、僕。それがまた、すごく面白いんですけど、それから身体のバランスとか、具体的な身体性みたいなことを考えるようになったので、怪我は大きな転機だったんです。その後が『春琴』だったから、ヨガをやったりマイムをやったりしたんですけど、「怪我がなかったらついていけないかな」と思いました。それくらい、怪我をして分かったことが多かったんです。「これ



「銀髪」（※20）
04/5/12 ● 麻布die prazze。07年1月、吉祥寺シアターにて再演された。写真は04年初演時のもの。



中高でやってきたバンド（※11）



「署名人」（※10）

清水邦夫の処女作にあたる作品。舞台は明治中期の国事犯官房の室。立憲運動の身を捧げた2人の男と「署名人」として仕事を生業にする1人の男。計3人の男達を中心とした物語。少年くとも、初舞台を踏む高校生にとっては荷が重い作品かも。
「高校3年生の初舞台。稽古中の1枚です」「チョウソンハ」

下北沢の時。沢しか略していませんが、都内在住ではない演劇づく者の皆様には是非度は訪れたい。東京免小劇場シーを主催する街です。余談ですが、編集長の坂口に「演劇で下北特集をやりませんか」と提案すると、「二度やつたことがあるんだけど、全然売れなかったんだよ。その号」と苦しい表情で答えます。その顔が面白かったので、半年後くらいに同じ提案をしつたら、全く同じ表情で同じことを口にした。そのことから察するに、よほど売れなかった号なのでしょう。それでも下北沢はとても味のある街です。東京都世田谷区の北東部に位置しています。

清水邦夫（※9）

しみずくにち。36年生まれ、新潟県出身。劇作家、演出家。早稲田大学文学部演劇科卒。大学在学中に初戯曲『署名人』を発表し、躍注目を浴びる。72年、蜷川幸雄・石橋蓮司、新江敏三らと、劇団「蜷川」を結成。74年に解散。76年には、松本典子・山崎裕子らと、演劇企画グループ「木を社」を結成する。以降、俳優座・民藝、文学座などに戯曲を提供。一方で、T.V.T.の脚本や小説執筆なども行っている。80年代以降は蜷川幸雄の共同作業も数多い。

ハートロックとかバンクとか（※12）
「バンドではエプロンをはかっていた。洋装の「コ」バンドです。あとは、MR・BIGとか王道ですよな」「チョウソンハ談」

広田淳一（※13）

ひろたのり。78年生まれ、東京都出身。脚本家、演出家。1991年、東京大学在学中に劇団ひよつとこ乱舞を旗揚げ、以降、全作品の作・演出を務める。04年に若手演出家コンクールにて最優秀賞を受賞した。

ひよつとこ乱舞（※14）

「チョウソンハ」が所属する劇団。HPも合わせて参照下さい。
<http://hyotoko-shib.jp/>

第1回公演（※15）

「石馬ワイルド」01/4/7〜10 ● 駒場小空間

第2回公演（※16）

「三輪」01/10/6〜8 ● 駒場小空間

北区（※17）

正式名称は「★☆北区つかこうへい劇団」。04年、つかこうへいが東京都北区からの要請により結成。日本初の行政バックアップ型劇団として注目された。数多くの舞台俳優を輩出しており、劇団出身者として、小西真奈美・内田有紀・石原良純などが有名。

友部（康志）（※18）

ともやすし。74年生まれ、東京都出身。07年、★☆北区つかこうへい。48年生まれ、福岡県出身。国籍は大韓民国。劇作家、演出家。小説家。日本演劇界に「つかこうへい」呼ばれる大現象を起したことは……有名ですよ。70年代から80年代にかけて、後世に圧倒的な影響を残す作品を数多く発表した。07年に紫綬章を受賞。現在は東京都北区に在住。

つかこうへい（※19）

つかこうへい。48年生まれ、福岡県出身。国籍は大韓民国。劇作家、演出家。小説家。日本演劇界に「つかこうへい」呼ばれる大現象を起したことは……有名ですよ。70年代から80年代にかけて、後世に圧倒的な影響を残す作品を数多く発表した。07年に紫綬章を受賞。現在は東京都北区に在住。

「銀髪」（※20）

04/5/12 ● 麻布die prazze。07年1月、吉祥寺シアターにて再演された。写真は04年初演時のもの。

まで筋肉だけでやっていただけが、パランスと呼び出されるようになる。自然とそういう体になれば、意識次第で力が抜けるようになるよ」と、振付の先生に教えて頂いたり。「不利をもって利とする」ということですかね。今回の再演はその続きというつもりで、筋肉と高い声だけじゃなく(笑)、身体の合理性を意識したいです。自分の中では、この1年間でかなり叩き込まれていることなので。

——チョウさんの真面目な学習意欲が垣間見えますね。



チョウソンハ

ちようそんは○81年生まれ、東京都出身。俳優。劇団「ひよっこ乱舞」所属。99年、法政大学入学後に東大内の演劇サークルへ参加。01年には、東大キャンパスで知り合った広田淳一らと劇団「ひよっこ乱舞」を旗揚げする。ひよっこ乱舞第2回公演後、★☆北区つかこうへい劇団のオーディションを受験。1年間の養成期間を経て、無事劇団員に昇格。その後、つが作品数本に出演するが、退団。ひよっこ乱舞第8回公演「銀髪」にて劇団へ復帰し、以降看板俳優として活躍する。04年、TPT「Angels in America」(ロバート・アラン・アッカーマン演出)にてエンジェル役に抜擢され、一躍注目を集める。その後、劇団の本公演の機会を経て、05年「アイスクリームマン」(岩松了 作・演出)、06年「ウィート・マス」(長塚圭史演出)、07年「夏の夜の夢」(ジョン・ケアード演出)、08年「春琴」(サイモン・マクバーニー演出)等、次々と話題作に出演。現在は、アッカーマン率いる the company のアソシエイト・アクターとしても活動している。平成20年度 第63回文化庁芸術祭(文化庁主催)にて、演劇部門新人賞を受賞。ブログ:チョウソンハのWebドラマも随時更新中。 <http://web-dorama.jugem.jp/>

次回予定 ◇「夏の夜の夢」5/29~6/14 ◎新国立劇場 中劇場 ◇ひよっこ乱舞 第21回公演「旅がはてしない」7/17~21 ◎東京芸術劇場 小ホール1 ◇ひよっこ乱舞 第22回公演「タイトル未定」12月中旬 ◎シアタートラム

演が控えていますね。
『旅がはてしない』(※31)の再演ですね。初演の時もすごく面白かったんですけど、ただ……どうしてもね、劇団は未完のまま本番を迎えちゃうので、これは「もって整理してちゃんとやりたい!」と思っていた作品で、僕の中では3本の指に入るくらい、すごく好きなんですよ。

——ひよっこ乱舞を知らない人へ、この劇団のセールスポイントを説明するとしたらどんな言葉をかけますか?

あ、それ大事じゃないですかー!

やっぱりその頃と現代は、どう考えても変容していると思うんです。「ネットゲーム、あれは一体何なんだ?」とかね。僕らの世代は「そういうモノをちゃんと演劇にしなきゃいけない!」ということから始まるんですよ。その時にひよっこ乱舞は、ちゃんとエンターテインメント性も追求しよう。サイモンさんもアッカーマンさんもそうですけど、一流の演出家って、みんな一流のエンターテインメントを作る人だと思うんです。

「好きなこと、これです!」
——いいですね。ひよっこ乱舞は好きですか?
好きですねー。大好きです。やっぱり広田淳一という人間が好きなので、こればかりはしょうがないですね。友達には絶対なれないですけど(笑)、ただこう、あの人が現代を生きている苦しさとか、あの人の葛藤みたいなものは、すごく好きです。

「旅がはてしない」(※31)
TPT公演。初演は、04/11/16 ◎ベサンビッド・レイト公演。1/20/25/29 ◎ベサンビッドにて上演。再演は、07/3/20/4/8 ◎ニッサントにて上演。作・トニー・クシュナー 台本・薛珠麗 tpt workshop 演出のロバート・アラン・アッカーマン 80年代のニューヨークに舞台に、エリスに扮した同性愛者達をモチーフにした作品。上演時間が7時間に及ぶという大作で、チョウソンハは、初演・再演共に主役として出演。
(ロバート・アラン・アッカーマン) ※22
ろーばーと・あらん・あかーまん ○44年生まれ、アメリカ出身。ニューヨーク、ロンドン、そして東京など、世界の演劇シーで活躍する演出家。08年には、日本の活動劇「The company」を結成、これまでに「バム・イン・キリヤード」(チョウソンハ出演)、「1942」の2作品を上演している。
「春琴」(※23)
世田谷パブリックシアター・コプロデュース公演。初演は、08/2/21/3/5 ◎世田谷パブリックシアターにて上演。再演は、09/1/30/2/21 ◎Barbican Theatre (ロンドン) 09/3/5/16 ◎世田谷パブリックシアターにて上演。原作・谷崎潤一郎 演出・サイモン・マクバーニー 「春琴」が第16回読売演劇大賞 優秀作品賞を、サイモン・マクバーニーが同最優秀演出賞を、深津絵里が同優秀女優賞、そして、第43回紀伊國屋演劇賞 個人賞をそれぞれ受賞。チョウソンハは、初演・再演共に佐助役として出演。
「夏の夜の夢」(※26)
「春琴」では、ほぼ等身大の操り人形を用いて、幼少期の春琴を表現している。
小さい女の子の人物形(※25)
「春琴」では、ほぼ等身大の操り人形を用いて、幼少期の春琴を表現している。
「夏の夜の夢」(※26)
新国立劇場公演。07/5/31/6/17 ◎新国立劇場中劇場 作・ウィリアム・シェイクスピア 訳・松岡和子 演出・ジョン・ケアード
ジョン・ケアード(※27)
じょん・けあーど ○48年生まれ、カナダ出身。ミュージカル「ジャズ・オン・ザ・ベンド」等、数々の演出家。日本国内では、05年エフ・エフ・エフ・エフの演出として、08年、09年の「春琴」の演出が知られる。「レフ・エフ・エフ」のワールドツアー等により、今や世界各地で注目を集める存在。
サイモン・マクバーニー(※24)
さいもん・まぐばーニー ○57年生まれ、イギリス出身。演出家。日本国内では、05年エフ・エフ・エフ・エフの演出として、08年、09年の「春琴」の演出が知られる。「レフ・エフ・エフ」のワールドツアー等により、今や世界各地で注目を集める存在。

いや、真面目ですねー(笑)。こんな真面目な話を読んで、読者さんは面白いのかあ? (※30) ホント、嫌になっちゃうくらい真面目ですよ。まあ、東大生とばかり付き合っていて、こんな話に明け暮れてましたから。

ひよっこ乱舞のセールスポイントは?

——そのひよっこ乱舞ですが、7月に次回公演

先に教えて貰えたら考えてきたのに(笑)。大事なんだけど……難しいな。言い尽くせない位あるんですけど……難しい(苦笑)。僕らの世代で演劇を作ろうとしている人は割とそうなんですけど、現代とか、コミュニケーションの在り方の変容について、ちゃんとお芝居にしないといけないと思ってるんですよ。80年代小劇場は確かにエネルギーがあるものだし、それに憧れるのもいいと思うんですけど、

——ひよっこ乱舞の皆さんは、ちゃんと今とコミットしたい人達なんじゃないか。
そうですね、すごくそうだと思います。「そうしないとウソだろ?」って思うんですよ。だって、自分の生活の延長線上に表現があるとして、ものすごく前時代的なものや、「勉強です」とか「これが歴史です」というつもりで演劇をやられても、その先はない訳じゃないですか。そういうのは財産ですか

問題、僕が愛情を持っているのは、彼の演劇観ではなく彼の人間性だということ(笑)。彼が作る演劇がこれくらい面白くなつていくのかは、すごく楽しみです。だから、僕にとつてのひよっこ乱舞は「研究室」なんです。ラボ。こんなこと言うとか、色んな演劇人から「そんな上手い話あるかよ。今に思い知るよ」って思われるでしょうけど(苦笑)、でも、ラボだと思って大事にしたいんですよ。

「旅がはてしない」(※31)
あまのれい ○70年に宝塚歌劇団に入団。85年に退団後ミュージカル「カコ」にて女優デビュー。以降、現代劇、翻訳劇、ミュージカルなど、多くの舞台で活躍している。07年「夏の夜の夢」にて、チョウソンハと共演。
麻美れい(※29)
あまのれい ○70年に宝塚歌劇団に入団。85年に退団後ミュージカル「カコ」にて女優デビュー。以降、現代劇、翻訳劇、ミュージカルなど、多くの舞台で活躍している。07年「夏の夜の夢」にて、チョウソンハと共演。
こんな真面目な話を読んで、読者さんは面白いのかあ? (※30)
本人はそう問われていますが、これを読んでる皆さんはどうですか?
「旅がはてしない」(※31)
05/7/14/19 ◎王子小劇場で上演された第12回公演。09年7月17日より、東京芸術劇場にて再演予定。
岩松了(※32)
いわまつりょう ○52年生まれ、長崎県出身。劇作家、演出家。俳優、映画監督、数多くの舞台作品の演出を手がけている。舞台人としての印象が強いが、近年は映画やテレビドラマの出演、映画監督等の活動も目立つ。チョウソンハは、05年の「アイスクリームマン」作・演出。岩松了に出演した。

演出家たちから貰ったシンブルな言葉

——ちょっと趣向を変えて。チョウさんは色々な演出家さんの作品に出演されていますが「あの演出家の、印象的だった一言」というのを思い出しますか?

僕、そういうこと聞かれると、真面目にネガティブに答えちゃうからなあ……(笑)。でもね、岩松了(了)(※32)さんに言われたことは覚えてますよ。「気持ちは大きく、表現は小さく。これが一番だからね」。これですよ。岩松さんの演技指導は言葉がシンプルで分かり易いです。猫背でね、ちよっと恥ずかしそうに言うんですよ。岩松さんのその言葉は絶対忘れないです。もうひとつは、アッカーマンさんの「Do nothing. Just listen.」です。これはワークショップの時から全員に言っている言葉。「何をすればいいか分からなくなったなら、何もしないでただ聞いていなさい」と。あと、北区を辞める時には、つかさんに「まあ、何でもいけど上手くなるよ」と言われました。そう考えると、皆さんシンプルに言葉を使う人達ですよ。簡単な言葉で、はっきりしたことを。こういう言葉は宝物ですよ、本当に。

みんなでイチローを見ましょっつよ!

——昨今、チョウソンハに目置いている小劇場系の若手俳優が多いと感じるのですが、その理由はどこにあると思われますか?

いや、どうですかね。でもね、自

分もそうだったから分かるんですけど……嘘ですよ、そんなの(笑)。イチローの方が全然凄いですよ! いやいや、イチローすごいじゃん!!
——あは(笑)。その心は?
イチローがやっていることから自分達が学べるのが、沢山あると思うんですよ。「じゃあ、何でイチローを見ないの?」ってなると思うんですけど、その辺は僕にも分かりません。イチローを見るのは、怖いんですよ。「そこまでは出来ないな」とか、自分の中に色んな打算が出てきますから。身近な同業者に「すごいね!」って言うのは楽ですよ。僕もそういうこと言ってる、諸先輩方に叱られてきました。つかさんにも「殺す気で来ないで、抱きしめられない!」って(笑)。だから、僕らの世代で「何を見るの?」って「いつて考えると、イチローを見るのが一番いいんじゃないですかね。だから、イチローの在り方をみんなで見ましょ。僕も一緒に、みんなでイチローを見ましょ。身近な者同士で凄いとかが言ってるよね、お互いどんどん弱っていつちやいますから。」

大事なのは「カンパニーに居られること」

——俳優という職業が嫌になることはありますか?

嫌には……毎日なるんじゃないですかね?(笑)。やっぱり、超怖いでももん。怯え通しでももん。いつも「出来る訳ない!」って思ってます。

——それは「役になること」が?
役になることもそうだし、そのカンパニーに打ち解けることもそうだし。き

ちゃんとカンパニーの一員になることさえ出来れば、作品はちゃんと上手くいくような気がするんです。ただ、カンパニーの一員になれるかどうかは、すごく難しい問題だと思います。
——チョウさんはそういうことが得意そうないメージですが。
ただね、一流の人が集まれば集まるほど、バレルんですよ。勿論、最終的には上手く居る訳ですが、結局「自分がそこにどういふつもりで居るのか」ということが一番大事なんです。ちよっとでも何かを我慢しながら、とりあえずその場に居ることになると、もうバレルんですよ。やっぱりね、自分は自分の居場所を、生き生きできる居場所を見つけないといけない。それって本当に大変なことだと思えます。役者はね、自分から自信を持って「僕はこれが大好きな人です」と言えないといけないし、同時に「僕はこれが大嫌いな人です」と言えなさいいけないですよ。要するに、きちんと言い合いが出来て、その上でここに居るんだ、と言えなさいいけないと思います。そうじゃなくて、「今回は全てが楽しいですよ」とか言っていると、すぐバレちゃうんですよ(苦笑)。もともと「私はこれが好きなんです」ということを一所懸命にやらないと。人の好きなものに合わせることは、全然違うシチュエーションで大事になってきますけれども、まずは自分の好きなものをちゃんと育てて、それを一生懸命やらないといけない。その上で、人の好きなものと自分の好きなものをすり合わせなさいいけない。もしかしたら、それは次のステップなのかもしれないけど、今の僕は、そっちに行っちゃうことが多

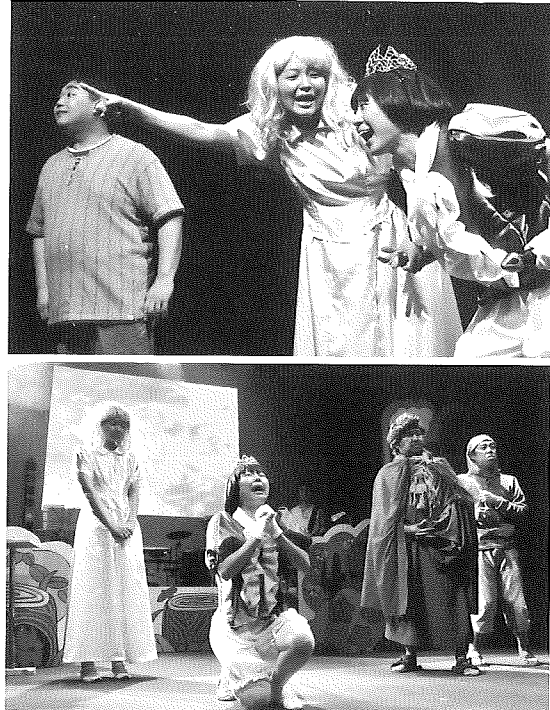
い。でも、僕らの世代って割とそうなんです。お互い顔を見合っちゃうというか、見合った状態で作品を作っちゃうというか……。やっぱり、もともとむき出しじゃないといけないですね。
あ、めっちゃくちゃ楽しかったー!!
——チョウさんと言えは元気なイメージがあります。そんなチョウさんのエネルギー源は何でしょう?
(即答で)睡眠です。こんなこと言うとか怒られちゃうかな? 僕、9時間は寝ないとダメなんです。ムカつくでしょ?(笑)。6時間位だと調子が出ないんですよ。寝られる時は12時間、普段でも9時間は寝たい。何もなければ24時間寝ていたい(笑)。

「旅がはてしない」(※31)
あまのれい ○70年に宝塚歌劇団に入団。85年に退団後ミュージカル「カコ」にて女優デビュー。以降、現代劇、翻訳劇、ミュージカルなど、多くの舞台で活躍している。07年「夏の夜の夢」にて、チョウソンハと共演。
麻美れい(※29)
あまのれい ○70年に宝塚歌劇団に入団。85年に退団後ミュージカル「カコ」にて女優デビュー。以降、現代劇、翻訳劇、ミュージカルなど、多くの舞台で活躍している。07年「夏の夜の夢」にて、チョウソンハと共演。
こんな真面目な話を読んで、読者さんは面白いのかあ? (※30)
本人はそう問われていますが、これを読んでる皆さんはどうですか?
「旅がはてしない」(※31)
05/7/14/19 ◎王子小劇場で上演された第12回公演。09年7月17日より、東京芸術劇場にて再演予定。
岩松了(※32)
いわまつりょう ○52年生まれ、長崎県出身。劇作家、演出家。俳優、映画監督、数多くの舞台作品の演出を手がけている。舞台人としての印象が強いが、近年は映画やテレビドラマの出演、映画監督等の活動も目立つ。チョウソンハは、05年の「アイスクリームマン」作・演出。岩松了に出演した。



俳優達の現在

志し高く
“演劇”を作り続ける
人々の現在に、
舞台を通して近づく。



山本治

①75年生まれ、東京都出身。00年、自己批判ショーに加入。今回、音楽隊として公演に参加したEROS∞PANICのボーカリスト
②今まで経験したことが無い位、本当に楽しい現場でした。全ての人にひとすべり感謝です。色んな課題も見えてきたので、もっともっと成長して、またいつか再演してみたいです。

小菅節男

①74年生まれ、埼玉県出身。自己批判ショーには旗揚げ公演より参加。作曲も担当しています。
②タイトなスケジュールで大変なことも多かったけど、素晴らしいスタッフさんや客演さんに囲まれて、最初から最後まで楽しんで参加できる公演でした。公演が終わって、こんなに寂しい気持ちになったことは初めて。

大久保宏章

①81年生まれ、茨城県古河市出身。自己批判ショーには17歳から参加。童貞27年生です。
②3年振りの参加なので、新鮮なことだらけでした。稽古、そして本番と楽しい時間を過ごさせてもらい、劇中において全身を水でビショビショに濡らしたのも良い思い出です。でも少ししんどかったです。

紺野秀行

①82年生まれ、埼玉県出身。茨城県在住。第18回公演「木曜の男」より自己批判ショーに参加。
②今回の公演「小劇場王子」は、自己批判ショーでは初のファンタジーでした。たぶん自己批判の中でも、こういうネタはあまりなかったと思います。演技的には「メルヘンを感じて」と言われて、色々大変でした。

自己批判ショー

小劇場王子

作演出：栗原崇浩 音楽：草薙周達 EROS∞PANIC 相良幸平 EROS∞PANIC
五十部裕明 中川稔朗 中川稔朗 中川稔朗 中川稔朗 中川稔朗 中川稔朗 中川稔朗 中川稔朗 中川稔朗

「ナンセンスコントとミュージカルを融合させる」という荒行に挑み続ける劇団・自己批判ショー。1年8ヶ月振りの新作公演は、そこにファンタジー要素と、初参加の客演女優2人と、凄腕ミュージシャン達を加えた形に。劇団特有の「ユルさ」は変わらず、あの手の手で観る者をくすぐるスタイルは、やはりこの人達しか出来ない(又はやらない)。面白い方だと思えます。小劇場王国の嫡男・小劇場王子ご行様による「最後まで『小劇場王子』を上演する為の冒険」が、今始まります！

ハッピーな充実感を笑いに変えて

今回は自己批判ショーが誇る俳優陣、小菅節男、山本治、大久保宏章、紺野秀行の4名による座談会を決定！ 相性バツチリの女優達や強力なバンドを得た久しぶりの本公演は、劇団の更なる進化を予感させる「ハッピーな充実感」に満ちていました。素朴な口調で、現在を語る俳優達の、ほのぼの系インタビューを、ご賞味あれ！

自己批判ショーの特徴とは？

まず、自己批判ショーという劇団の特徴、ウリを教えてください。

大久保 やっぱ(作演出)栗原崇浩の脚本あってこそ劇団じゃないかと。

紺野 自己批判ショーより、栗原崇浩シアターについて。

山本 「自己批判ショー改め「栗原崇浩シアター」。

大久保 あと、茨城県古河市在住の劇団です。

山本 我々はコントをやっている集団なので、お客さんに笑って頂くことを一番考えている、というのがありますね。

小菅 それから、音楽もそうです。今回の公演にも音楽班がいまして、うちのメンバーも楽器が弾ける人が多いので、そういう人達が集まって「笑いと音楽の融合」を目指している感じがします。

紺野 その曲を作っているのが小菅さん。

劇団の中にプレイヤーやコンポーザーがいる？

小菅 はい、そうです。うちはオリジナルの脚本・演出。

出、オリジナルの音楽、オリジナルのスタイルで、オリジナルの作品を作っているのが特徴かと。

メンバーによる『小劇場王子』のツボ

今作の「お気に入りのシーン」をお聞かせ下さい。

小菅 僕は、紺野君の「ミスターVTR」※映画の予告編で流れる映像のパロディです。あれがうけてくれると僕らも盛り上がります。紺野君の努力が舞台上で報われているのを見ると、我が息子を見るような気持ちになります。

大久保 「休憩コト」とか。幕間の休憩という体で、ストーリーと関係ないコントをやりますけど、それはお気に入りです。急に世界観が変わるから、フットワークが要求される感がある。

紺野 今回の客演さん2人のシーンが見所じゃないですか。見ててすごく勉強になりますし。

山本 工藤(史子)さんなんかは、コント毎にキャラクタが全く異なるんですけど、そのギャップという

か、演じ分けは凄いなと思います。あと、空き時間にやる小芝居みたいなものも、すごく洗練されていて

紺野 たまに下りていくんですけど(笑)。

山本 ちょっと嫉妬するくらい上手。

紺野 佐伯(さち子)さんはまた違う雰囲気を持ってて、あの感じはどうやって出してるんですかね？

小菅 今度聞いてみようか。

女優陣&楽隊のミリョク

その、客演の女優さんについて語って頂きたいのですが。

作り上げなきゃいけなかったこと、でしょうか。

山本 あと単純に、1年8ヶ月ぶり本公演をやれたことが嬉しかったですね。

大久保 やっぱ本公演はいいですよ！僕は事情があつて、3年振りの出演になったんですが、自己批判の本公演は……いいね(笑)。

小菅 うん、いいね。

大久保 公演をやる、毎回お世話になっているスタッフさんも参加してくれまして、本当に沢山の人達に支えられているんだなと実感できるの、いい！大変だったことは、やはり時間が足りなかったこと。「もともとと出来るのに」という思いがありました。

——では、最後の質問です。自己批判ショーといえ

ば「自己批判ショーのテーマ」という曲が有名？)です

ね。その中に「キ、キ、キ、客が少なくい」というリフレインがありますが、あれは事実なんじゃない

か？

小菅 (しれっと)いや、多いですよ。あれはフィクです。

——(笑)。

小菅 自己批判ショーといえば、古河で知らない人はいない劇団なので、古河駅で降りて「自己批判

ショー」と言って頂ければ、誰でも「あー、はいはい」

と言いますか？

大久保 「あぁ、う、うん……」くらいでしょうか(笑)。

小菅 最近のは、茨城県内でも名が通ってます。古河市は茨城県の西の方なんですけど、最近

は土浦市くらいまで知れ渡りまして、あと、水戸市でも知られて……。

——自己批判ショーの名が、遂に筑波山を越えた

と。

小菅 そうですね、越えました。

大久保 越えるの大変だったね、あれは。

——なるほど(笑)。では、そんな感じで宜しいですか？

山本 え……あ、はい。

中川稔朗

①81年生まれ、栃木県出身。
②今回は音楽隊として参加させて頂きましたが、何を隠そう、前々回公演「木曜の男」で主演を務めた男です。「次回はまた俳優として出演させてもらいたい」、そう強く感じた楽しい舞台でした。

草薙周達

①75年生まれ、茨城県出身。通称nagiwo。天才的なアーミングで百戦錬磨の強者EROS∞PANICを率いるギタリスト。
②舞台を後ろから見るのは初めての体験。笑いをこらえることがこんなにづらいとは……。

相良幸平

①77年生まれ、静岡県出身。通称KVK。職人芸のスーパーチャッパ。EROS∞PANICの舞台を支えるベーシスト。
②演劇は初めてでしたが、とても面白かったです。機会があればまた。

横木亜衣

①83年生まれ、東京都北区赤羽出身。声楽から音楽まで何でもこなすマルチプレーヤーになる予定は未定。6月位に自主制作CDが出るみたいです。お問い合わせはlord-of-destruction@hotmail.co.jp まで。
②稽古に行く度「赤羽って埼玉でしょ?(笑)」と言われるのですが、赤羽は立派に東京都です！そんな自己批判ショーさんと戦うべくサックスを吹いてみました。勝敗は謎のまま。これが所謂「宇都宮線の戦い」です。

工藤史子

①79年生まれ、兵庫県出身。現在フリーで活動中。最近主に吉本の神保町花月に出演。花柳症。
②都心から遠く古河の稽古場もなんのその、日本一の古河桃まつりに行ったり、本番中は毎日飛鳥山公園に足を運ぶ、仲良しこよしの現場でした。小菅さん家のようち歩き(1歳4ヶ月)が、自分に水の字だったのが一番の思い出です。

栗原崇浩

①72年生まれ、茨城県出身。92年の演劇活動開始以来、全ての作・演出を手がけて、以来全ての婚期を逃す。
②私は皆さんに参加していただくだけです。ですからこの質問には、「公演中、劇場近くの飛鳥山公園の桜が如何に綺麗だったか」についてお答えし、回答に代えていただきます……と書いたところで文字が尽きました。

佐伯さち子

①77年生まれ、鳥取県砂原市出身。野鳩所属。身長は170cm。二言目には面白い話に持っている31歳。些細な会話も拾い上げる名レシーバー。(小菅談)
②居心地が良いって自己批判ショーでした。それからこの質問には、「公演中、劇場近くの飛鳥山公園の桜が如何に綺麗だったか」についてお答えし、回答に代えていただきます……と書いたところで文字が尽きました。

五十部裕明

①83年生まれ、栃木県出身。幼少期よりピアノとすじに生き、2006年、自己批判ショーと出会う。
②いやー、自己批判ショーは本当に信じられないくらいおもしろい。どう信じられないって、あまりのおもしろさに演奏をしくじりかける自分に信じられないくらい信じられないです。こんなことは初めてです。

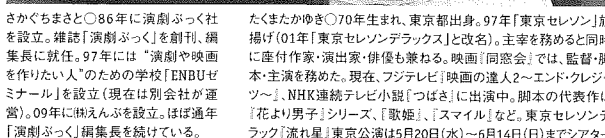
宅間孝行
(東京セレソండ래ックス)

(東京セレソンのデラックス)

坂口真人

(演劇ぶっく)

演劇史に名を残すような人は、必ず過剰なエネルギーの持ち主です。そしてその人と、その時代にふさわしい(それがたとえ不幸な出会いであっても)出会いがあります。東京セゾンデラックスの宅間孝行と本誌編集長の坂口真人が、その時代のエネルギーを現代に蘇らせるべく、時代を逆向けに演劇の世界に旅立ちます。



東京セレソングラックス
公式モバイルサイト配信!

東京セレソンデラックス
公式モバイルサイト配信中!

僕は演劇の知識はないです。

坂口 今回「演劇史」で僕と対談(連載)をしていただくのですが、宅間さんは演劇の知識は豊富ですか？

宅間 そんなにないですよ。そもそも僕は演劇が大好きじゃなかったし、始めたわけでもないです。僕らが劇団を旗揚げてからいろいろアドバンテージをしてくれているから、博博の人がいて、その人からなんとなく聞きかじっている程度です。

坂口 僕は演劇の知識はないです。

宅間 演劇誌の編集長でしょう笑。

坂口 みんなが演劇の歴史を知っているものをつくらなければいけませんからね。必要とときにのぞきに行けばいいと思いませんか？

宅間 昔の演劇人は博博うばいすよね。

坂口 新劇は明治時代から欧米の影響を受けていたから、芝居をくくる上でもかなり必要な知識だと言われているんですよ。唐十郎や寺山修司のいわゆる「アングラ劇」で庄則的に肉體を含めた現実の方向を重視した作りになっている。劇場の演劇に比べて、これもその流れが続いているという感じではないですか？ この数年はその比重が少し変わってきているようですが。

宅間 小劇場の流れはバッチリですか。一番いいときを見ているんですね。

坂口 小劇場演劇ブームと言われたりして、ほぼ学生。だいたいが、自分たちのやりたいことをやって成功しているという意味では、ちょっとその時に演劇がいくつあったんですよね。

それは毎回死にそうなんです

宅間 僕は演劇にまったく興味がなかったんです。早稲田大学に行っていたが、演劇が盛んだということすら知らなかった。もちろんやるのは知ってましたよ。大隈講堂の前で荒音練習してゐるのを見たら「大学生にもなって劇なんてやっアホなんじゃないか」と思ってたくらいですもん。

坂口 演劇を意識的につくり出したのはいつ頃からですか？

宅間 97年くらいからですね。僕はそもそも自分分がやりたいこと、見せたいことがあつてののをつくるわけじゃないんですよ。台本を書くことに結果的になっていますが、全然望んでいない。自分役者で出るイメージをつくるために劇団をつくったんです。自分から席に出たい、舞台上に立たいたいこの集団を大きくしたい、お客さんに来てもらいたいとなると結局物語(語り)に帰結しつて……。

坂口　ご自分のスタイルをつくる背景はわかりませんが、作品のかたち　中身はそういうふうに決まっていたんですか。

宅間　それは毎回死にそうなんです。ものを一本つくるのは本陣に死ぬぞというところ。か　方程式があればこれは楽かと思いますが。今は、セトをきちんとしと中下　芝居をつくりたい。そこで生きた芝居があって、お客さんが笑わせたいという。それ以外の縛りは僕の中で何もなし。どうしたらお客さんがケラケラ笑ってくれる、どうしたらボロ口に出いて観に来てよかったですね。観に来たいと思ってもらえるかということではないですね。

坂口　死ぬほど大変だとおっしゃいましたがフリス Taylor だから大変なわけですね。いつもひとつひとつ確認し　こまかやればならぬから。

宅間　こまかやっても　初日終わってお客さんの反応を見ないとホツとできないんですよ、毎回怖いです。安心できませんね。ちょっと皮肉でもあるんですけど、大御所の人たちは評価され続け、「今回の芝居は……」と酷評されることはまずないでも小っちゃいところとやると酷評されます。

坂口　厳しい状況の中でつくっている。

宅間　厳しそうですね。つまらないのを一本くっちゃうといきなり　終わったねあととは」と言われる、非常にキツキツの線やっている。

坂口　でもそこは望むところなわけですよね。

宅間　(笑)。でもつらいですけど。

坂口　つらいけど望むところ。自分がそういうふうにしたわけじゃない。

宅間　方向性としてこうなっちゃったんですけど、本当は僕は役者がやりたいんで、つまらないことやっても客さんが集まってくれる方がラクなんです。

坂口　いや、それは本音じゃないですよね。舞台を観ていると、自分がやりたいことにものすごくこだわっている感じがしませんね。

宅間　そうしなと今までやってこれなかったといふ怖さがあるんで。

坂口　そうじゃないと人はそう簡単に感動しないですわね。

当時演劇ぶつくがあれは取り上げられてたような坂口　連載をやるにあたり、いろんな作家を扱いながら、演劇の歴史をアトランダムに辿っていたと思います。僕がやりたいのはエイクスピアリやチャットといういわゆるみんなが知っている人たちの時代と人間のです。たとえばチャット・ホフドと、鉄道

が、な時代には、王スフが当時の流布地サハラまで一萬口を旅して調査に行くエピソードがあります。船とか馬車を持ち廻って、半分死んでおられることになるが流布地を調査して、帰りは船でジブトの先を回つてスエズ運河を通して帰ってきた人ですが、その訳のわからないエネキヲを持たない人がやむを得ずまれ時現代に出会つて、結局生き残っている気があります。そんな人たちがくついている作品と興味がありません。

宅間　ここへ来てあらためて古典というか演劇に立ち立って読むというのはうまい機会じゃないかなと思つてのことです。シェイクスピアももう一つ時代ごとの作家もこのうづらに残っている人たちではないんだが大衆に受け入れられているはずなんです。当時の作家を取り巻かれている状況がよくわからぬので、そういうことを調べて、その人の人間性や当時の環境を踏まえた上で、新しい解釈というかあらまは取り上げられてきたような笑ふ、それが見えたらおもしろいと思ひます。

坂口　では宅間さんの意見を言つて、ちくちく書いてくれると思います。

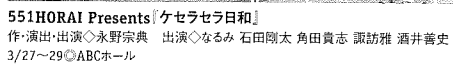
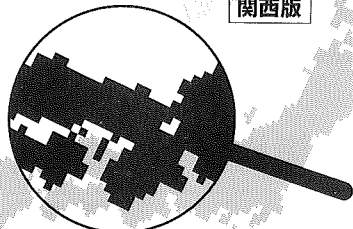
宅間　いえ例へば、お互いある一つの結論を持つてくるものではなくて、まあ「チエボ」は変態的なところがあるんですよ、オウィジの結論を持ち寄りながら認るところあり、譲れないところあり、最終的にこの人はこういうやつだということを書き出す。独断と偏見の新しい人物像を勝手に作り上げる。これをものと作品を解釈し演出すると現代の日本を受け入れるというキャッチコピーでいい笑。

坂口　では宅間さんが決めたということでよろしく願ひます(笑)。

依賴

女芸人のなるみがヨーロッパ企画と一緒に芝居を作って、しかも作・演出が上田誠ではなくて永野宗典？ 一体どんな芝居をやったのか想像もつきません。

レポートお願いします！



よしもとクリエティブ・エージェンシーの女芸人なるみがヨーロッパ企団とのコラボで初舞台！ しかもヨーロッパ側も、永野宗典が本作で作・演出家デビュー！！と、何ともセンセーショナルな話題満載だった『ケセラセラ日和』。今回はあえて野暮な解説など入れず、なるみ&永野の仲良しトークでレポートさせていただきます。

なるみ 今年で芸歴20年になるんですけど、この機会に今までやったことがない演劇の舞台に挑戦してみたい。しかもよしもと違う世界に「留学」しようと思って、ヨーロッパさんと先生(註：永野)を紹介してもらいました。

永野 演出は短編映画で大きな賞を受賞したと
 して、作・演出への意欲が高まってたんです。打ち合
 わせてみるみさどとお話するうちに、TVで見る明るい
 なるみさどとは全然違う役をやらせたくなりました。
 ままか、引きこもりの未入生になるとは笑。
 永野 もともと団地を舞台にしたけど、団地の
 部屋の明かりがワットと点いてる中で、たそがれてい

なるみさんという絵がいいなと思って。それでヨーロッパのメンバーには、団地の主婦で初の女優に挑戦してもらったにしました。稽古は劇団の芝居作りと同じように、エチュードで肉付けをしてもらう作業が中心。

なるみ 最初は「稽古で即興芝居って
どういうこと?！」と(笑)。でも脚本をボ

ンと渡されるだけよりも、皆で「こんなことがしたい」などのやりとりができて、すごい「参加してる」感がありました。ただ直前まで脚本の手直しがすごかったんで、初めての舞台としては最初から、山積みの課題をボーンと投げ出された感

じでした笑。

永野 本当に脚本と時間をかけ過ぎたのが、今回の僕の反省点です……なるみさんは迷惑がちゃいましたね。

なるみ いやだからこそ面白かったんですよ。先生全然反省しないで笑。でも私もいざお客さんを前にしたら、よし



もとの肉の血が出てきて、日に日にどんどん勝手な演技をやったり始めたんですよね突然暴れてみたりとか。永野 確かに牙を向かれましたとか、芸台のなるみさん永野 が見え 離れ間は多々ありました。この舞台はなるみさんの女が開花が目標だったけど、僕の手を離れてどんどん先に 行くなるみさんを見られたのは嬉しかったですなるみ おっと、お婆めの言葉をいただけました笑）。あと私が演じた役って、あれは今年生ずるのもですよねささいなことでも落ち込んで何かあったらすぐ悶ててでも内側には出たないものが溜まるって言う。永野 そう言われるとその辺りは察がつかないうちに自分のキャラクターの反映になってまたたねえ笑。

なるみ でも自分のやりたことではなく他人がやらせたいと思うことをやってみるというのはすごく面白い経験でした。だから皆がいいよって言うてくれるんならもう一回ヨーロッパさんと芝居したいです。

なるみ 次のやうに笑いを取らないでどうですか？なるみ いやと思うけど、それって演技力いるやんな？永野 じゃあ演技力を磨くために僕が演じていた役者志望の青年のように、朗々と発声練習とかして笑。

なるみ あれをすんの？ あれは昔なあかんやったら……それはなんかイヤななあ笑。

なるみ 永野宗典

なるみ◎72年生まれ。大阪府出身。89年に温才コンビ(ノナド)でデビュー。99年映画『夏は、愛をください』で、ボケツキ男と愛知自在のキャラクターを世に知し『5513恋愛のCM』やTVの司会&コメンテーターなどで活躍している。

なかのねのち◎78年生まれ。喜劇俳優出身。99年にヨーロッパ企画旗揚げに参事として参加し、以降全公演に出演。本作が初めての本格的な映画出演舞台となった。

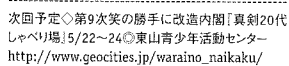
水戸予定◎ヨーロッパ企画『ボス・インザ・スーツ』1/5・15/7の京都府立府民ホールアルティム、6/5・15/4伊豆イザナ、6/17・18/青山円形劇場、その他他賀、広島、福岡などで公演あり。<http://www.europe-kikaku.com/>

依賴

演劇も好きですが、プロレスも好きです。京都に本気でプロレスをする劇団がある、と聞いたのですが、どんな劇団ですか？

演劇にプロレスを取り入れる集団は、決して少なくない。しかしここまで芝居中にプロレスで勝負をつけようという流れを作り、かつ本気の対戦を見せる集団は京都の劇団「内閣」をおいて他にないだろう。以前は普通の芝居をしていましたが、ハッスルと和泉元彌が面白すぎて、演劇人としての危機感が、俺らもてんやない。

第9次喫次の内閣」さならにせんとん
～あなはたのハートに3カ出づ～
脚本・演出◇高間登 演出◇ちくちく 出演
眞野ひとみ 橋本源氏(明暗神楽) 太山寺知(劇団酒
豪子) HIROFUJI 川崎一輝(劇団米路座) 影映美
(劇団月夜光線天K) 辻悠介(劇団月夜光線) 四方
香来 平田祐輔 葉山万寿(劇団公益芸術劇場) 織田
圭太(ニッポンキックシアター) 藤井麻理 横塚しほ
高田富貴(京都コマックス) 浪崎李二 野口雄輔
(劇団ミルキークラウド) スペシャル
3/7・8◇In-dependent theatre 2nd
次回予定◇第9次喫次の勝手を改造内閣「真剣20代
しゃべり場」5/22～24◇太山寺知さんライブ活動中
http://www.geocities.jp/waraino_naitaku/



レフ・コリコフ、イン・ベンターを招ける
女子レスラーが、結婚とプロレスのどち
らを選ぶか……という物語の合間に、
5つの試を展開。そのうちの1つでは、
大川興業の「暗闇演劇」の手法を劇団の
許可を得て使用。真つ暗闇の中、格闘漫
画なみに無理のある激戦の様子が、実況
のみで語られた。人VS家電など、プロ
なら怒られるような試合でももちろんで
きる。と、まさに演劇という虚構だからこ
での、数々の笑って見られる「名」迷勝
負が繰り広げられたのです。

これからもプロレフだけではなく、芝
居じやないと言われても、度肝をぬぐ企

【NEWS!】

「特搜! エンプスcoop・関西板」では、皆さまからの依頼をお待ちしています。「あの公演が見えなかったのレポートတွေに欲しい」というものから「役者の**さんの素顔が知りたい!」「▲▲劇場の近所にある◇◇という店が気になるので調べて下さい」というものまで。ミーハーなネタ、くだらないネタでもOKです。ただし、関西地方限定! 巻末ハガキにて「エンプスcoop」係)まで。

私は「舞台」に

立つ!

5月生(1年コース)
追加募集中!

第一線で活躍する演出家・監督が直接指導 現場を知り尽くした講師陣から生のノウハウを学ぶ

2009年度春期 担当講師 演劇科(演劇コース担当)

「今そこに在る」演技にこだわり、
作品を生み出す

赤堀雅秋 (あかほりまさあき)

劇作家・演出家・俳優 THE SHAMPOO HAT
[担当講座]
専任講座
(昼間部)



現代口語演劇の旗手。後身育成にも尽力

平田オリザ (ひらたおりざ)

演出家・劇作家・青年団

[担当講座] 演出家ワークショップ

撮影:青木司

なにげない日常の1コマを、
宇宙規模のスケールで魅せる

福原充則 (ふくはらみつなり)

演出家・劇作家・俳優 ビーチ5
[担当講座]
専任講座
(昼間部)



舞台演出のほか、映画などの
脚本や俳優としても活躍

河原雅彦 (かわはらまさひこ)

演出家・劇作家・俳優

[担当講座] 演出家ワークショップ

堺雅人らと東京オレンジを
立ち上げ演出家として活躍

横山仁一 (よこやまみかず)

演出家・俳優・俳優・東京オレンジ
[担当講座]
専任講座
(夜間部)



徹底的に追求した「リアル」で、
小劇場界に激震を起こした

三浦大輔 (みうらだいすけ)

脚本家・演出家・ボドール

[担当講座] 演出家ワークショップ

先鋭的な感性で生み出される
会話劇から、人間の本质を描き出す

柴幸男 (しばゆきお)

演出家・劇作家・青年団演出部
[担当講座]
専任講座
(夜間部)



基礎を大切に身体作りの
プロフェッショナル

山の事情 (やまのていじや)

劇団・俳優・俳優・俳優

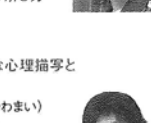
[担当講座] 演技基礎

確かな演出力で、小作品から大作品まで魅せる

板垣恭一 (いたがきこういち)

演出家・映像ディレクター

[担当講座] 台本の読み解き方



舞台、リーディング、ワークショップと多岐に活躍

明神慈 (みょうじんあすか)

劇作家・演出家

[担当講座] リーディング



舞台上にドラマにエッセイに、
多才ぶりをいかんなく発揮

細川徹 (ほそかわとほる)

演出家・劇作家・俳優

男子はだまってなさいよ!

[担当講座] コメディ(昼間部)

「ひやくはち」でデビュー。
TVドキュメンタリー演出も多数

森義隆 (もりよしたか)

映画監督

[担当講座] 映像ワークショップ



数々のコンプライブを手がけ、
体系的な指導が好評

故林広志 (こばやしひろし)

劇作家・演出家・俳優

[担当講座] コメディ(夜間部)



「日が暮れても彼女と歩いてた」で
若者の心をわしづかみに

高柳元気 (たかやなぎはるき)

映画監督

[担当講座] 映像ワークショップ



新しい音楽のアイデアで、
斬新なミュージカルを展開

田辺茂範 (たなべしげのり)

演出家・劇作家・ミュージカル

[担当講座] ミュージカル(昼間部)



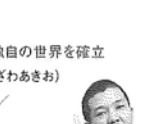
One on Oneのみならず、外部公演も手がける

浅井さやか (あさいさやか)

劇作家・演出家・俳優

One on One

[担当講座] ミュージカル(夜間部)



舞台上の俳優の熱を伝える脚本と演出で人気

成井豊 (なるいゆたか)

演出家・劇作家・俳優

演劇集団キャラメルボックス

[担当講座] 教養講座



演劇界をリードする演出プロデューサー

細川展裕 (ほそかわのぶひろ)

プロデューサー

ヴァレチ「劇団☆新感線」代表

[担当講座] 教養講座



80年代からトップを独走し続ける、
小劇場ブームの立役者

鴻上尚史 (こうかみしゅうじ)

作家・演出家

虚構の劇団、サードステージ

[担当講座] 教養講座



徹底的な検証力で、独自の世界を確立

宮沢章夫 (みやざわあきお)

演出家・劇作家・作家

遊園地再生事業団

[担当講座] 教養講座



Piperでの活動を軸に幅広く活躍中

後藤ひろひと (ごとうひろひと)

脚本家・演出家・俳優

Piper

[担当講座] 教養講座



落語の他、多ジャンルに才能を発揮

柳家花緑 (やなぎやろく)

落語家

[担当講座] 教養講座



プロの演出家が直接指導! 舞台俳優を目指すなら



演劇コース

昼間部

夜間部

ここが POINT!

劇場公演

プロの演出家指導で舞台に立つ!

舞台で活躍するプロの演出家指導のもと、一つの舞台作品をつくり、実際に劇場で上演します。舞台監督、照明、音響などもプロのスタッフが担当し、舞台に立つことの楽しさ、表現の可能性を体験します。

4名の専任講師から1人を選び劇場公演へ

昼間部



赤堀雅秋 (THE SHAMPOO HAT)

あかほりまさあき ● 劇作家・演出家・俳優。96年THE SHAMPOO HAT旗揚げ。以来全作品の作・演出・出演を担当。等身大の不格好な人間を描くその作風は、日常の中に存在する「ざらつき」を表現し、観る者の心に深く刺さる。外部での脚本、演出、俳優としての活動も多岐にわたる。



横山仁一 (東京オレンジ)

よこやまみかず ● 演出家・俳優・俳優。92年早大劇研を母体に移籍し、高橋洋らと東京オレンジ旗揚げ。「体系的なインプロヴィゼーション(=即興)」メソッドを用いたグループ創作スタイルは、俳優育成の現場のみならず、コミュニケーション能力向上を目指す教育現場からも注目を集めている。



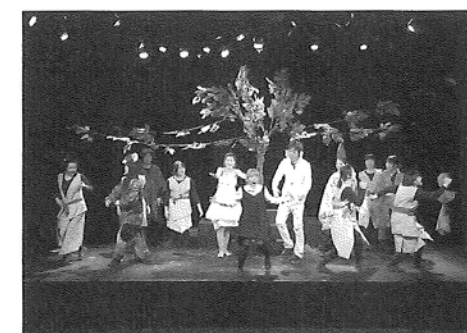
福原充則 (ビーチ5)

ふくはらみつなり ● 02年より「劇団ビーチ5」を旗揚げ、脚本家、演出家として活動を開始。リアルな演技から底意な面取り、様々な仕掛けの舞台は、多くの観客を魅了する。物語の始まりと爆発的なオチの落差からその作風は「四畳半から宇宙に飛び出す物語」と称される。



柴幸男 (青年団演出部)

しばゆきお ● 劇作家・演出家。青年団演出部所属。「ドミノ」で「第2回仙台劇のまち戯曲賞」大賞を受賞。第四代目劇王。近作ではサンプリングやループなど異ジャンルの手法を戯曲・演出に積極的に取り入れ、新しい視点による普遍性を模索している。代表作には「反復かつ連続」、現代口語ミュージカル「御前会議」(作 平田オリザ)、「あゆみ」などがある。



▲2008年春期 演劇コース 松村武クラス「千三百回忌」



▲2008年春期 演劇コース 赤堀雅秋クラス「東京」

カリキュラム

基礎講座

- 演技基礎
- 台本の読み解き方
- リーディング

実践講座

- ウェルメイド講座
- コメディ講座
- ミュージカル講座

ワークショップ講座

- 演出家ワークショップ
- 映像ワークショップ

特別講座

- オーディション講座
- 教養講座

卒業生の活躍

劇団を作る!

- 劇団、本谷有希子
- メタリック農家
- はえぎわ など

劇団に入る!

- 演劇集団キャラメルボックス
- NYLON100°C
- 青年団
- カムカムミニキーナ など

大手芸能プロダクションによる
ENBUゼミ生だけのオーディション実施!!

- 田辺エージェンシー ● アミューズ
- キューブ ● JFCT

舞台に立つ! 映画に出る! 映画監督になる!

ENBUゼミナール

〒164-0012 東京都中野区本町2-28-11-2F

資料請求・お問い合わせはこちら

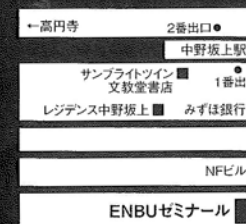
☎ 03-5358-5211 (10:00~22:00)

✉ zemi_info@enbu.co.jp

🌐 www.enbu.co.jp/zemi/

携帯からも簡単に資料請求できます >>>

📱 www.enbu.co.jp/mobile/



ACCESS
① 東京メトロ丸の内線「中野坂上駅」1番出口より徒歩3分
② 都営大江戸線「中野坂上駅」1番出口より徒歩3分

まずは説明会へ。お気軽にご参加ください。

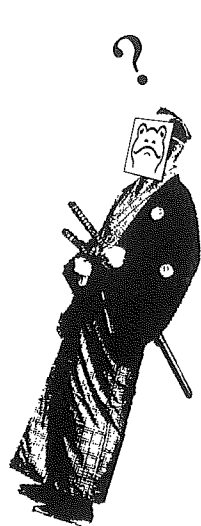
『学校説明会』開催中!

無料

予約制

5/17 SUN. (日)

■ 映画監督コース
11:00~12:30
■ 演劇コース
13:30~15:00
■ 映像俳優コース
13:30~15:00



見事な殺陣だけど、あの役者はダレ?

気になる? 演劇をケータイで

「演劇モバイル」

?

渋くてカッコイイ!!
あの役者はダレ?



惹き込まれる芝居...
あの役者はダレ?

?



?

オモシロくて印象的な、
あの役者はダレ?



美人で気になる、
あの役者はダレ?

?



栗根まこと(劇団☆新感線)、馬場徹、長谷川博己、富岡晃一郎、松永玲子(ナイロン100℃)の豪華演劇人による、毎週更新の「演モコラム」。そして演劇人がオススメの本を週替わりで紹介する『演モ書店へようこそ』。数週に渡って演劇人のインタビューを紹介する「演劇人訪問記」など、演劇好きなら見逃すわけには行かないのが演劇モバイル。

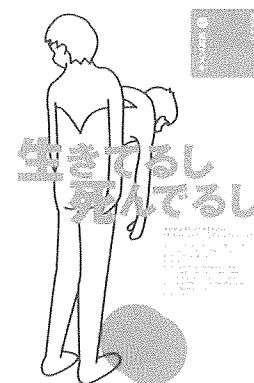
演劇を讀もう!!!
気軽に読めるエンタテインメントな現代戯曲シリーズ

ヨムゲキ100

超有名作からコアな作品まで続々刊行中の「ヨムゲキ100」。
あなたのお気に入りが見つかります。

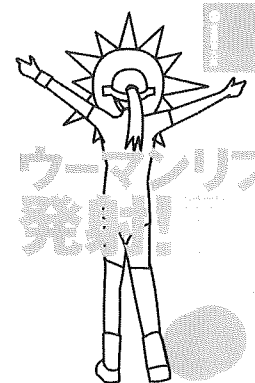
松尾スズキ、初期作品12冊発売中!

- 001●手塚治虫の生涯
- 002●マイアミにかかる月
- 003●嫌な子供
- 004●ゲームの達人
- 005●猿ヲ放ツ
- 006●溶解ロケンロール
(神のようにだまして:併録)
- 007●冬の皮
- 008●SEX KINGDOM
- 009●鼻と小箱(河海湾:併録)
- 010●嘘は罪
- 011●ちょん切りたい
- 012●生きてるし死んでるし



宮藤官九郎、●●●●4冊発売中!

- 001●ナオミの夢
- 002●ずぶぬれの女
- 003●NICKY IS SEX HUNTER
- 004●ウーマンリブ発射!



劇団☆新感線の興奮をもう一度!

中島かずき戯曲集

- 003●ヒデマロV(完結編)
- 004●星の忍者
- 005●炎のハイパーステップ
- 006●夢みる無法者
- 007●西遊記1
- 008●西遊記2
- 009●宇宙防衛軍ヒデマロ3



●●●●好評発売中!!

中島らも

- 001●X線の午後
- 002●セメントラヴァーズ
- 003●レディモルフェウス

石原美か子

- 001●うちに来るって本気ですか?

ブルースカイ

- 001●MY LITTLE MOLERS

青年団の名作を戯曲で!

平田オリザ戯曲

- 002●カガクするココロ
- 003●北限の猿
- 004●バルカン動物園
- 005●冒険王



etc...

■購入方法
(株)えんぶに直接お申し込み下さい。

〒164-0011
東京都中野区中央5-46-5池田ビル2F
TEL03-3229-2424 FAX03-3229-2423

■価格は全て1,050円+郵送料です。



3キャリア対応QRコードで、
いますぐアクセス!!



<http://engeki.cave.co.jp>

株式会社 ケイブ
cave <http://www.cave.co.jp>

○サービスの利用には、利用料が含まれます。○サービス利用料の他に別途パケット通信料がかかります。通信料に関しては、契約回線業者にお問い合わせください。○仕様・情報内容・料金・お申し込み方法等は、予告なく変更する場合がございます。○この広告中に記載された企業・団体・サービス名およびそれらのロゴマークは、関連各社・団体の商標または登録商標です。○本広告掲載の写真、イラストおよび記事・情報内容の無断転載・掲載・二次使用を禁止します。



このコーナーにある、すべてのメッセージは主催者の皆さんに書いていただいたものです。よくよく読んでいただき、それぞれの公演の面白さににじみ出てくる仕掛けになっております。お楽しみいただけますと幸いです。

編集担当／矢崎亜希子、坂口真人

2009年5月9日から7月10日分を掲載



情報の人

西島 明

つくり手からのメッセージ

えんぶ情報館

本能中核劇団『シリタガールの旅』

●ぼくはただ、わからなくても眠くならない舞台を作りたいと思ったのです。そのためには、マンジュウをわきの下で暖める女や、氷をつめたランドセルに顔をつけて涼む男などを登場させ、舞台と客席が体臭や体温のイメージを互いの中枢神経を通して共有する必要があります、と本能的に思っています。
(元ベターボーツ／西島明)

作・演出○西島明
振付○山田うん
出演○猿飛佐助 吉原朱美 横塚真之 佐伯さち子(野鳩)
佐々木幸子(野鳩) 立本恭子 森田ガンツ(猫のホテル)
6月20日(土)～6月27日(土)◎こまばアゴラ劇場
＜料金＞前売¥2800(日時指定 整理番号付自由席) 当日¥3300
＜お問合せ＞090-2916-1739(MRco.) <http://honchu.net/>

唐組『黒手帳に頬紅を』



●第43回公演・新作『黒手帳に頬紅を』君も貰えるその手帳、海底200mの、黒い都に入るなら……そこは、おるこ屋デカダン、3人の似顔絵描き師がたむろしている。さあ、今日はどんな通行人に声をかけるのか。「描かしてください、あなたの顔を」どうぞご期待ください。
(多田亜由美)
●5/9～10、6/6～7、6/13～14◎新宿・花園神社 5/23～24、5/30～31◎雑司が谷・鬼子母神 地方公演あり。
作・演出・出演○唐十郎
出演○島山昌久 久保井研 辻孝彦 稲荷卓央 他
＜料金＞前売¥3500 当日¥3600
＜お問合せ＞唐組 03-3330-8118
●チケプレ情報
6/7(日)花園神社19:00の回 6名様

パンダラコンチャソアラム公演『相思双愛』



●ダンダンブエノを主催してきた近藤芳正が立ち上げたソ活動ユニット「パンダラコンチャ」。初回公演は、時代も作家も異なる2つの原作を融合させ、2人の脚本家&演出家、2人の男優と女優で贈る。人間の生と死、愛情と憎しみ、別れと出会いを描いた双つの物語が交わり、新たな物語が産まれる。これは、ある愛と命の物語。(近藤芳正)
●5/9～17◎紀伊國屋ホール
原作○横光利一 重松清
脚本○倉持裕 前川知大
演出○近藤芳正 桑原裕子
出演○坂井真紀 辺見えみり 近藤芳正 榎本孝明
＜料金＞S席¥6500 A席¥4800
＜お問合せ＞

内が荒れておりましたので、幸せのための三つの法律を制定しました。
1.人を憎まないこと
2.独占しないこと
3.實際以上に理想像に感じないこと
これで我が国の民は、皆幸せになれます。ラブリーな世界で繰り広げられるチクチク痛む恋という名の憎悪のお話。(制作担当)



●5/6～10◎駅前劇場
作・演出○若木英
出演○内田亜希子 オレノグラフィティ(劇団鹿殺し) 羽鳥名美子(毛皮族)
岸潤一郎/伊藤ヨタロウ 他
＜料金＞前売¥3300 当日¥3500(6日と7日昼、割引あり!)
＜お問合せ＞メタリック農家 090-3450-8174
<http://www.metanou.com/>

イクウメ『関数ドミノ』



●＜「ドミノ幻想」では、世界はある特定の人間を中心にして回っていると考えた。＞本作は2005年3月にサンモールスタジオで初演。「運命についての壮大な物語」と、ご好評をいただいた同作の再演となります。この春、新型の「関数ドミノ」にご期待ください。(イクウメ/制作部)
●5/8～24◎赤坂RED/THEATER
作・演出○前川知大
出演○浜田信也 盛隆二 岩本幸子 安井順平 とまき衣
＜料金＞前売一般¥3500 当日一般¥3800
＜お問合せ＞イクウメ 03-3715-0940
<http://www.ikiu.me.jp>



●5/6～30◎Bunkamura シアターコクーン
作○清水邦夫
演出○蛸川幸雄
出演○鳳蘭 三田和代/ウエンス士
古谷一行 他
＜料金＞S席¥10000 A席¥8500
B席¥7000 コクーンシート¥5000
＜お問合せ＞Bunkamura 03-3477-3244

こまつ座&ホリプロ公演『きらめく星座』



●こまつ座とホリプロがタッグを組み、傑作戯曲を、演出に栗山民也を新たに配して10年ぶりに上演いたします。太平洋戦争開戦前年、浅草にある小さなレコード店を舞台に繰り広げられるドタバタ音楽家族劇。ピアノの生演奏にのせて、当時の流行歌が飛び出す、心躍る舞台です。(谷口/こまつ座制作)
●5/6～24◎天王洲銀河劇場
作○井上ひさし
演出○栗山民也
出演○愛華みれ 阿部力 前田亜季 八十田勇一 相馬一之 木場勝己 他
＜料金＞S席(1,2階)¥7350 A席(3階)¥6300 学生割引S、A席とも¥4200
＜お問合せ＞こまつ座 03-3862-5941
<http://www.komatsuza.co.jp>
ホリプロチケットセンター
03-3490-4949
<http://hpot.jp>

メタリック農家『針』

●目が覚めたら、指には血が滲んでいて、私は一国の王女でした。国

台化します。原作も映画も大ヒットしたこの怪物小説を映画よりも、より原作に忠実に舞台化します。主役の湯川学に岡田達也。そして湯川と対峙する天才数学者・石神哲哉を西川浩幸が演じます。また西牟田恵、斎藤歩、川原和久、という演技派ゲストをむかえ、より深い作品世界をお届けします。(製作部)
●4/30～5/24◎サンシャイン劇場
原作○東野圭吾
脚本・演出○成井豊
出演○西川浩幸 岡田達也/西牟田恵 斎藤歩 川原和久 他
＜お問合せ＞演劇集団キャラメルボックス
03-5342-0220
<http://www.caramelbox.com/>

『シラノ』



●作曲のワイルドホーンが「曲が足りなければいくらでも書くから」と言うほど熱を入れてくれているし、スタッフもキャストも本当にすばらしい。日本発のミュージカルとして、みなさんの記憶に、そして歴史に残る作品にしたいと思っています。(鹿賀丈史/主演)
●5/5～28◎日生劇場
台本・作詞○レスリー・ブリカス
作曲○フランク・ワイルドホーン
演出○山田和也
出演○鹿賀丈史 朝海ひかる 他
＜料金＞前売一般S席¥12600 他
＜お問合せ＞ホリプロチケットセンター
03-3490-4949
<http://hpot.jp>

Bunkamura20周年記念企画シアターコクーン・オン・レバトリー-2009『雨の夏、三十人のジュリエットが選んできた』

●Bunkamura20周年企画第2弾は、1982年に日生劇場で初演された清水邦夫の幻の作品『雨の夏、三十人のジュリエットが選んできた』。演出を手掛けるのは清水の盟友・蛸川幸雄。最強のスタッフと実力派キャストが集結し、百貨店を舞台にした独特の世界が繰り広げられる。(公演PR担当)



初日が
4月17日～5月10日の公演

ナイロン100℃ 33rd SESSION『神様とその他の変種』



●KERA-MAP「あれから」、オリガト・プラスティク「しとやかな獣」も好評を得、監督映画『罪と罰と罰と罰』(主演・成海璃子)も公開中等、クリエイターとして五臓六腑の活動を続けるケラリーノ・サンドロヴィッチの新作。劇団員、そして魅力的な客演陣によって生み出されるあらたなKERAワールドに乞うご期待下さい。名古屋、大阪、広島、北九州も公演有り。(ナイロン100℃広報担当)
●4/17～5/17◎本多劇場
作・演出○ケラリーノ・サンドロヴィッチ
出演○犬山イヌコ みのすけ 幸村リエ 大倉孝二/水野美紀 山内圭哉 山崎一 他
＜料金＞¥6800(全席指定/税込)
＜お問合せ＞キューブ 03-5485-8886

演劇集団キャラメルボックス 2009スプリングツアー『容疑者Xの献身』



●東野圭吾の『容疑者Xの献身』を舞

発表!!

えんぶチャート2008 お詫びと訂正

幣誌138号(2009年4月号/3月9日発売)P.62～P.63「えんぶチャート2008 作品チャート データ編」にて、掲載漏れの作品がございました。

第12位 778票

『嵐になるまで待って』(演劇集団キャラメルボックス)

第186位 7票

『眠れない夜なんてない』(青年団)

第12位に『嵐になるまで待って』が入りますので、以下の順位は繰り下げとなります。そして、第186位に『眠れない夜なんてない』が入りますので、以下の順位は繰り下げとなります。

関係者各位及び読者の皆様には、この場を借りて訂正し、お詫び申し上げます。

【坂口真人/演劇ぶっ編集長】



演劇集団
キャラメルボックス
『嵐になるまで待って』
撮影○伊東和則



青年団
『眠れない夜なんてない』
撮影○青木司



MOVIE CULTURE MAGAZINE

ピクトアップ

映像作品を手がける表現者たちのスタンス、そして、傑作が誕生する現場の空気。ピクトアップは、クリエイティブの核心をステキな写真と読みごたえのあるテキストで伝えます!

最新号 #58 発売中! issue on 2009/4/18・6月号 ¥600 ▶▶▶

【特集】日本映画の旗手ふたりと、『おと・な・り』／岡田准一 麻生久美子
加瀬亮×岡田将生 山田孝之 栗山千明 市原隼人 連載(松ケンイチ×清塚信也)
『GOEMON』、熱さの源をさぐる 広末涼子 紀里谷和明 池田鉄洋が挑む真面目な笑い
僕らの世代の市川準／鈴木卓爾×向井康介×山下敦弘 横浜で『インスタント沼』は生まれた／三木聡



#54
issue on 2008/8/18・10月号
【特集】
松田翔太 SPIRITUAL
& MATERIALS
¥600



#55
issue on 2008/10/18・12月号
【特集】
『流星の絆』に見る
キャラクターの走らせ方
¥600



#56
issue on 2008/12/18・2月号
【特集】
『少年メリケンサック』が
目指すところ
¥600



#57
issue on 2009/2/18・4月号
【特集】
『ヤッターマン』が
目指すところ
¥650

ピクトアップは偶数月18日発売!
全国の書店、オンラインショップにて
お求めください。

雑誌コード/17633 発行・発売/有限会社 ピクトアップ
東京都新宿区西新宿7-19-6-2F tel 03-5348-5148 fax 03-5348-5149

オンラインショップはこちらから!

<http://pict-up.com>



●神は細部にやどりたもう。古代の記憶の痕跡を忘れたひとびとの物語に刻みながらたたび水のカーニヴァルが幕をあげる。牢獄病院に幽閉された女の夢がなぞる。はるかな時間の旅。土星のもとに生まれたメランリックな精神が、人間の消滅を予感しながら世界を揺蕩い、聖なる森の精霊たちにとどついた。(劇団)

●5/23～24、29～31、6/2～8◎駒込大観音境内特設野外劇場
作演出◎桃山由
＜料金＞前売¥3500 当日¥4000(全公演観覧自由席)
＜お問合せ＞090-3595-6635
http://www.suizokukangekijou.com

青年リンク ニ騎の会『一月三日、木村家の人々』



●今公演は、ニ騎の会二年ぶりの公演であり、2006年『直線』以来となる宮森さつき待望の新作です。群やけられがちな「家族」という言葉が、「介護」という避けられない現実に触れ、その本質を静かに晒す新春の家族会議。ご家族でご来場のお客さまにはお得な家族割をご用意してお待ちしております。(ニ騎の会・制作)

●5/23～6/2◎こまばアゴラ劇場
作◎宮森さつき
演出◎多田浩之
出演◎小河原康二 木崎友紀子 島田曜蔵 村井まどか 他
＜料金＞基本料金(予約・当日)¥3000 学生・シニア¥2000 家族割¥1500(家族でご来場のお客様は、基本料金の半額で観劇頂けます。受付にて「家族写真」をご提示下さい。)
＜お問合せ＞青年団 03-3469-9107
http://www.seinendan.org

『江戸の青空 ～Keep On Shackin'～』



●2007年に上方落語を舞台化して好評を博した『地獄八景・浮世百景』に続く、落語シリーズ第二弾! 演出はG2が統括し、舞台を江戸に替えて深みと味わいのある面白くも楽しい作品を贈ります。「行き当たりばったりで見栄っ張り、お人好しでおせっかいな江戸っ子たち」が繰り広げる人情コメディ。どうぞ最後までおつきあいのほどを。(制作)

●5/24～6/7◎世田谷パブリックシアター(東京公演)、6/12～14◎北九州芸術劇場 中劇場(北九州公演)、6/19～21◎梅田芸術劇場シアター・ドラマシティ(大阪公演)他、広島・名古屋・札幌・新潟・仙台
脚本◎千葉雅子
演出◎G2
出演◎西岡徳馬 須藤理彩 松尾貴史 柳家花緑 吉田鋼太郎 他
＜お問合せ＞
ジーゾープロデュース 03-5738-0637

初日が5月25日～5月31日の公演

劇団浪漫狂NEO公演
『新・五月晴れの青い空』
●抱腹絶倒あはアホ浪漫狂ワールド炸裂!! 親分の女に恋をした? 無謀極まりない程純粋な弟分を結局は応援してしまふ兄貴と、その幼なじみのおでん屋店主を軸に、懐かし浪漫溢れる感動の、ま

●さすが、アガサ・クリスティー! 平穏な人生から突然「ヒネ〜、どうすりゃいいんだ!」と頭を抱えるようなミステリーの世界へとほうり込まれてしまう…ミステリー実体験演劇ミステリアスなキャストとミステリアスなスタッフによるミステリー浮き世の憂き晴らしにデートのお供に是非ご覧ください。(大谷亮介・演出)

●5/22～30◎ル テアトル銀座 byPARCO
作◎アガサ・クリスティー
演出・上演台本◎大谷亮介
出演◎浅丘ルリ子 石井一孝 六角精児 他
＜料金＞全席¥9800 BOX席¥18500(2名様)(税込)
＜お問合せ＞
コマ・スタジオ 03-3207-5588
http://www.koma-sta.co.jp

studio salt第11回公演『天気の良い日はボラを釣る』



●某都心にある川辺を舞台に、不況の最中、家族や友人や社会との絆を失った人々の「生きている/生きてゆく」想いや、ささやかな絆の回復と再生を描いた作品です。横浜を拠点に活動する劇団スタジオソルト初の東京進出公演です。※[CoRich舞台芸術まつり2009春!]最終選考対象公演※(劇団制作・藤本忠生)

●5/20～24◎王子小劇場
作・演出◎椎名泉水
出演◎麻生0丸 東亨司 高野ユウジ 木下智巳 鷲尾良太郎 他
＜料金＞
一般¥2800 早期観劇割引¥2000 高校生以下¥1500 ※要劇団予約
＜お問合せ＞
スタジオソルト 090-1773-2823
劇団公式サイトは「スタジオソルト」で検索して下さい。

劇団40CARAT 15周年 第22回公演『いばら館のろくでなしのヨウコさん』



●百年間続いた男娼らのプライドの館で起きる殺人事件。心の奥深く渦巻くどろどろとした感情と隠された悪意。「マクベス」をなぞらえた物語は深い灰の森の中で、予定調和では終わらない意外な結末を迎える…演劇と音楽・渡辺勝のコラボレーションによる独自の世界観。他では味わうことのできない舞台をお見せします!(制作)

●5/22～25◎ザムザ阿佐谷
作・演出◎花山芳
出演◎鹿又隆志 鈴木麻記子 柿元周太郎 内江浩八枝 千賀亜希子 他
＜料金＞前売¥2800 当日¥3000
＜お問合せ＞
090-8700-2183(劇団稽古場)
http://www.40carat.com

水族館劇場春公演『メランコリア 死の舞踏』



撮影:KUMA

の将軍が迫ってきて、大ピンチ!おばあさんの山菜汁をまた飲めるのか?目もくらむ出し物さ、観るべし!(ひげ太夫制作部)



●5/20～25◎明石スタジオ
作・演出・出演◎吉村やよひ
出演◎成田みわ子 田嶋蘭子 永井ひとみ 林直子 鈴木のぞみ 他
＜料金＞前売¥3000 当日¥3300(日時指定・整理番号付自由席) 学生割引¥2500(要学生証提示)
＜お問合せ＞
ひげ太夫 080-6742-7505
http://www.higedayu.com/

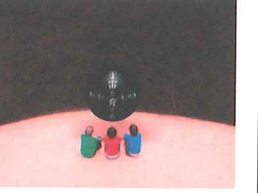
北京蝶々『愛のルーシー』



●1991年、アリゾナの砂漠に建設された実験施設を模して日本に建設された「バイオスフィア」。かつての実験を再現するかのよう、8人の男女が集められる。彼らもまた、自給自足の生活を開始するのだが――。少子化と晩婚の時代に北京蝶々がお送りする。パイオロジックラブストーリー。(大塩哲史ノ作・演出)

●5/20～26◎下北沢OFF-OFFシアター
作・演出◎大塩哲史
出演◎本井博之 高木エルム 東谷英人 帯金ゆかり 鈴木麻美 森田祐史 他
＜料金＞
一般¥2800 早期観劇割引¥2000 高校生以下¥1500 ※要劇団予約
＜お問合せ＞
スタジオソルト 090-1773-2823
劇団公式サイトは「スタジオソルト」で検索して下さい。

味わい堂々第三回公演『宇宙を育てる』



●味わい堂々々は、宮本奈津美・浅野千鶴・岸野聡子の三人で結成した劇団です。宮本さんは可愛いのにどこか残念です。浅野さんはおっぱいヘアーです。岸野さんはお酒ばかり飲んでます。そんなもっちゃんらしい私たちですが、育てたいのです。宇宙。合言葉は、「根暗ポップ!」(浅野千鶴ノ役者)

●5/22～26◎中野スタジオあくとれ
作・演出◎岸野聡子
出演◎宮本奈津美 浅野千鶴 岸野聡子 他
＜料金＞
前売一般¥2000 当日一般¥2300
＜お問合せ＞
味わい堂々 080-3349-5647
http://www.geocities.jp/ajiwaidou

『蜘蛛の巣』



撮影:KUMA

かけた「ドラマ」再び。過去からの使者が現代に何を伝えようとしたのか。2007年、鴻上尚史と堤幸彦による共同企画作品が誕生。そして、そこから生まれた「伝える言葉」とカタルシスが現代に問いかける。単なるノスタルジーではなく、時代における昇華した傑作の待望の再演。(制作)

●5/19～31◎東京芸術劇場 中ホール
6月～北海道・宮城・名古屋・大阪・広島が全国公演あり。
企画・原作・脚本・演出◎鴻上尚史
企画・原案◎堤幸彦
出演◎中村雅俊 片瀬那奈 塩谷瞬 森田彩華 他
＜料金＞
S席¥7500 ジーンズシート¥4000
＜お問合せ＞
サンライズプロモーション東京 0570-00-3337
サードステージ 03-5772-7474
http://www.thirdstage.com

演劇集団池田塾第34回公演『裸でスキップ』



●不況渦巻く寒風に凍える下町の木工工房が舞台。それでも元氣な職人達! 春、奇跡の一夜。夏、結婚・不渡り! 秋、別居・大資本投入!? 傾く経営、不況の波は段々と色濃く…そして裸でスキップ!! 池田塾×鈴木聡氏(ラッパ屋)＝楽しさ未知数! 温か可愛くて大好きなお話です! 劇場で皆さんと共有したいと思ってます。(中山達也ノ池田塾)

●5/20～24◎ザ・ポケット
作◎鈴木聡
演出◎池田定幸
出演◎叶野喜和子 もろいくや 久万玲子 田中貴裕 他
＜料金＞
前売¥2300 当日¥2600
平日昼の回¥2000
＜お問合せ＞
演劇集団池田塾 03-3388-4530
info@ikedajuku.com
http://www.ikedajuku.com

●チケプレ情報

本誌持参の方(ご一緒の方も)¥2500にてご入場いただけます!

東京セレノンデラックス『流れ星』



●東京セレノンデラックスの最新作は06年にうつみ宮土理を迎えて上演した『流れ星』の再演が決定! 作・演出・主演はセレノン主宰の宅間孝行、ゲストには初演に引き続きうつみ宮土理、セレノン初参加の山田まりやが登場。「夫婦の絆」をテーマに、おほかで心優しい人たちが織り成すほろ苦切ない物語にご期待ください。(公演広報)

●5/20～6/14◎シアターサンモール(東京公演)、9/20～23◎テレビアホール(名古屋公演)他、大阪公演予定
作・演出◎宅間孝行
出演◎宅間孝行 うつみ宮土理 山田まりや 小野了 永田恵悟 越村友一 他
＜料金＞¥5000(全席指定/税込)
＜お問合せ＞
キョードー東京 03-3498-9999
http://www.ts-ds.com/

ひげ太夫第27回公演『雲南ジャッカル』

●組体操で物語を表現するひげ太夫。肩に乘るの朝飯前、高さ3m超えは当たり前。組体操で繰る、冒険物語。遠吠え一つで獣を集める男、雲南ジャッカル。都

と死、官能性で強く魅了する現代美術作家塩田千春の美術も必見。(新国立劇場/広報)

●5/15～31◎新国立劇場小劇場
作◎デア・ローアー
演出◎岡田利規
出演◎吹越満 柴本幸 鈴木浩介 内田慈 広岡由里子
＜料金＞A席¥4200 B席¥3150 ※当日学生半額
＜お問合せ＞
新国立劇場 03-5352-9999
http://www.nntt.jac.go.jp/play/

劇団俳優座『蟹工船』



●「おい、地獄を行くんだ!死ぬか生きるかも一回!」カムサック沖で蟹を獲り缶詰に加工する蟹工船「博光丸」。過酷な労働条件を強いられる労働者たちは、耐え切れずストライキを起こすのだが。格差社会が叫ばれている現代において、多くの人々の共感を得た小林多喜二の小説を創立65周年記念公演として舞台化!(制作)

●5/15～24◎俳優座劇場
原作◎小林多喜二
脚本・演出◎安川修一
出演◎中寛三 星野元信 河野正明 矢野和朗 他
＜料金＞一般¥5250 学生¥3675 ハーフサービス¥2625(5/15・18限定)
＜お問合せ＞劇団俳優座
03-3405-4743 / 03-3470-2888
http://www.haiyuza.co.jp

『劇団岸野組 1990プロジェクト』



●お江戸大捜査線!! あなたの追憶お捜します! 総ての記憶をなくした男と、忘れてしまいたい過去を抱えた浪人者。二人が頼ったのは、「万お仕事承り」の看板を掲げた腕利きの何でも屋・小平次。小平次によって、次々と明らかになる男達の過去! だがそれは、意外なものだった…。(観世佳男)

●5/16～24◎池袋東京芸術劇場小ホール2
作◎観世佳男
演出◎岸野幸正
出演◎岸野幸正 関俊彦 豊嶋真千子 吉水孝宏 他
＜料金＞
前売一般¥5000 当日一般¥5500
＜お問合せ＞
劇団岸野組 048-442-2187
http://www.h3.dion.ne.jp/~kishinog

初日が5月18日～5月24日の公演

KOKAMI@network vol.10『僕たちの好きだった革命』



●激動の1969年。日本中を熱くした「あ」の出来事から40年。学生たちが情熱を

れる妻、旧同級生との不倫関係。一見、現代社会では生活の周辺にありふれた諸事情を抱える家庭に、一人の男が現れる。男の「ユートピアをつくる」という発言から形作られていく環境に支配される人間たち。激しい舞台シーン展開、それとは裏腹にある俳優の繊細な芝居によるリアリティの探求を試みた松井周の処女作を再演。(制作)



●5/15～24◎三鷹市芸術文化センター 星のホール
作・演出◎松井周
出演◎辻美奈子(サンプル・青年団) 古館寛治(サンプル・青年団) 古屋隆太(サンプル・青年団) 羽場睦子 吉田亮他
＜料金＞前売¥3000 当日¥3300 財団友の会会員¥2700 当日¥3000 高校生以下¥1000(要学生証)
＜お問合せ＞
080-5863-4452(10:00-20:00)
http://www.sample.net.org/

新国立劇場 シリーズ・同時代【海外編】③『タトゥー』



●ドイツに新星のように現れたという女性作家デア・ローアーが描く官能的作品を岡田利規の演出で。よき父と母、仲の良い姉妹の4人家族。どこにでもある平穏な家族は、実はある秘密によって繋ぎ止められた、閉ざされた家だった…。生

切り、その先に戦隊ヒーロー達はいったい何をみるのか?イマジネーションを描き立てる独特の手法でお見せします!(腹筋善之介ノ主宰・作・演出家)

●5/14～17◎笹塚ファクトリー
作・演出・出演◎腹筋善之介
出演◎ドンタケウ 朝田博之 マット前転 大友美香子 ベッツ。他
＜料金＞前売一般¥3000 当日一般¥3200(全席指定)
＜お問合せ＞
オフィスIQ5000 090-4223-8854
http://www.iq5000.com

アトリエ・ダンカンプロデュース『鴨川ホルモー』



●人気作家、万城目学のデビュー作『鴨川ホルモー』を今年の演劇賞を終えぬしに鄭義信が手がけます。京都の大学生たちが「ホルモー」という千年続いているという摩訶不思議な競技にまきこまれていく。主演は舞台初挑戦の石田卓也に、国際派女優の芦名星と注目のキャスト。恋に戦いに課題に…! 青春群像劇の決定版です!! (宣伝担当)

●5/15～6/7◎吉祥寺シアター
演出・脚本◎鄭義信
出演◎石田卓也 芦名星 中川真吾 秋山奈々 他
＜料金＞¥6000(全席指定/税込)
＜お問合せ＞
サンライズプロモーション東京 0570-00-3337
http://www.duncan.co.jp/web/stage/horumu/

サンプル『通過』

●性能不全の夫、親の介護にくたび

http://kyobashi.laff.jp/drama/

タテヨコ企画 第18回公演『夜まで待てない』



●10周年記念公演第2弾は、得意のギャラリー公演!ギャラリーのオーナーが亡くなった。遺言により後を継ぐのはアーティストの息子ではなく、息子の嫁。あまりしっくり来ない夫婦にとつて、遺言は火に油を注ぐカチン…。『夜まで待てない』は銀座のギャラリーを舞台にした、夫婦の恋物語。(タテヨコ企画ノ制作)

●5/13～17◎ギャラリー悠玄(中央区・銀座)
作・演出◎横田修
出演◎館智子 ちゅうり 藤崎成益 好宮温太郎 瓜生和成 他
＜料金＞前売¥3500 当日¥3800 中・高校生¥2000
＜お問合せ＞
タテヨコ企画 03-5490-3753
http://tateyoko.com

IQ5000本公演『バーサーファイブ』



●私が大好きで三回目の再演となる作品です。今回のために完全書き直しをしました!復讐に次ぐ復讐、裏切りに次ぐ裏

満ちた眼差しで描いた清水邦夫の傑作が、人気・実力共に最強メンバーでシアタートラムに登場!舞台上に囚われた4人の女優たちの生息に迫る!(シス・カンパニーノ広報)

●5/10～6/14◎シアタートラム
作◎清水邦夫
演出◎生瀬勝久
出演◎小泉今日子 蒼井優 村岡希美 渡辺り
＜料金＞前売売完 当日券前日予約あり
詳細は主催者HP参照
＜お問合せ＞
シス・カンパニー 03-5423-5906
http://www.siscompany.com/

初日が5月11日～5月17日の公演

京橋花月5月より芝居『FAKE HEART』



●『よる芝居』は京橋花月という舞台で行う立派な演劇行だ。演劇という文化をちよっと親しみやすくてできるような、老若男女問わずに楽しめるような、そんな公演を京橋花月で行いたい。ぶつくる作品は『FAKE HEART』という不器用な人間を描くドラマ。吉本だけ、劇団だけではできないものを作りたい。(川浪ナミヲ)

●5/11～26◎京橋花月
作・演出◎高見健次 川浪ナミヲ(劇団赤兎)
出演◎米原幸祐(RUN&GUN)ノ郷本直也(※Wキャスト) おへい久馬・浅越ゴエ(ザ・プラン9) 川下大洋(Piper) 他
＜料金＞前売¥3000 当日¥3500
＜お問合せ＞
チケットよしもと 0570-036-912
(受付時間10時～19時)

オフィス・REN 03-5829-8031
http://www.dandanbueno.com/

FUKAIPRODUCE 羽衣第10回公演『朝霞と夕霞と夜のおやすみ』



●契った男女が次に逢うまでのその間、誰しもの人生の大半を占めるそんな夜を愛しみ味わ「妙〜じ〜カル」一総勢11名で送る今作は、ボカリのように浸透するのにアルコール度数がめちゃくちゃ高い…そんな危険な飲み物のような作品になる予定。(坂田ノ制作)

●5/9～20◎こまばアゴラ劇場
作・演出・音楽◎永井幸之介
出演◎深井順子 藤一平 日高啓介 キムス(散歩道楽) 西田夏奈子 他
＜料金＞前売一般¥2690 当日一般¥2800 学生¥2200 プレビュー(9日)¥2000
＜お問合せ＞FUKAIPRODUCE羽衣 070-6511-5034
http://www.geocities.jp/hagoromo_hukai/

シス・カンパニー公演『楽屋』

～流れ来るものはやがてなつかしき～



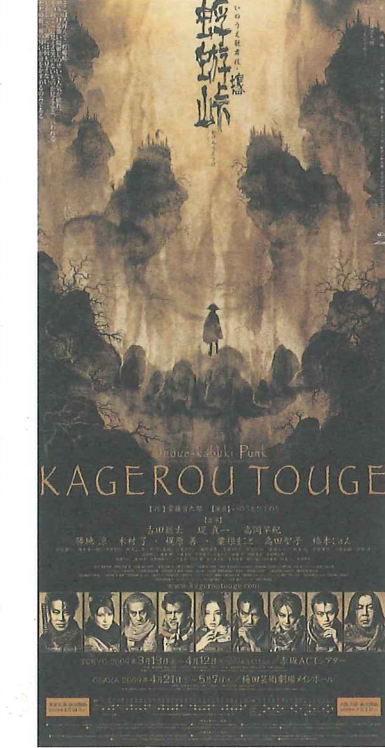
●女優という「生き物」の凄まじい業を、辛辣かつ滑稽に、そして愛しさと哀切に

束から1枚!

0 2 2

久住昌之

くすみさきゆき◎泉昌之(泉晴記との合作ペンネーム)。Q.A.R.(実録・非他との合作)で知られる漫画家。『野武士のグルメ』(晋遊舎)、『新・中学生日記 8』(青林工芸舎)、扶桑社文庫『孤独のグルメ』(扶桑社)など、色々発売中です。ライブ情報はブログにて随時更新しています! http://www.qusumi.com/



今号のチラシ 束

もらった場所◎劇団☆新感線 いのうえ歌舞伎・俣『蜚蜚峠』3月25日(水) 18:00の回◎赤坂ACTシアター
チラシ枚数◎48枚(内訳、本チラシ22枚、仮チラシ13枚、公演外チラシ13枚) 重さ◎450g

栗根まことの

96

人物ウォッチング

あわねまこと○劇団☆新感線の理数系知性派役者。
演劇ぶっく協力携帯サイト・演劇モバイルでもコラムを好評連載中。
近況「5月はやっとちょっと暇になるので、ついに部屋を片づけます」
次回予定○映画「インスタント沼」(三木聡監督) 5/23よりテアトル新宿、
渋谷HUMAXシネマほか全国ロードショー
○劇団☆新感線「盗賊鬼」10月○新橋演舞場、11月○梅田芸術劇場

勝地 涼

新感線には2度目の出演となる勝地君。もうとにかく元気でテンションが高い。しかもグッドルッキングガイ。なのだが適度におバカさん。と、実に新感線の水に合った俳優さんだ。本人が言うには、楽屋でのハイテンションは意識的なモノで、普段はもの静かなタチなのだそうだが、きっとそれはウリだ。だっていつもウルサインだもの。

セリフの一人稽古する時も本番と同じテンションで。楽屋でも舞台リデでも。しかも唐突に。唐突と言え、よく急に鼻歌を唄いだす。しかも、なぜ今その選曲?というセリフなんだ。「徹子の部屋」のテーマ曲とか「ファイナルファンタジ」のバブルアップの曲とか。木村了君ともとても仲良しで、今回は橋本じゅんさん指導の元、二人と3人でトレーニング。

二人ともどんどんマッチョになっています。常に明るく前向きで、素直で真面目なナイスガイ。これから、そのパワフルなおバカな勢いのままです。突っ走って下さい。

演出で21世紀に新たに蘇ります。天才画家ゴッホの激しく燃え尽きた人生に炎のような生涯を描いた作品。これぞ人間ゴッホといふべき、骨太な舞台が誕生します。(ホリプロ制作)



●6/12~28◎天王洲 銀河劇場
作○三好十郎
演出○栗山民也
出演○市村正親 益岡徹 萩野目慶子 他
＜料金＞S席¥9000 A席¥7500
＜お問合せ＞
ホリプロチケットセンター 03-3490-4949
http://hpot.jp

初日が
6月15日~6月21日の公演

六倉企画
『しあわせになろうね』



●「ガッツ石松」WBC世界ライト級チャンピオン獲得・芸能生活35周年 特別公演。解散を翌日に控えた、ある極道の粗事務所でおこる笑いあり涙ありの、シチュエーションコメディ。本当のしあわせとは何なのか?しあわせになるためにはどう生きるべきなのか?を六倉企画独自の映像と舞台のコラボレーションで描く。(制作:金子太郎)
●6/16~22◎俳優座劇場
作○村橋明郎
脚本・演出○高田拓士彦
出演○ガッツ石松 さとう珠緒 上野淳 永倉大輔 他
＜料金＞前売¥6000 当日¥6800
＜お問合せ＞
六倉企画 03-3445-5930
http://www.rokushakikaku.net/index.html

乞局(コソボネ)
『芍薬鳥(シャクリ)』



●「はい、私が神様です」宗教の話ではありません。どうやら国が何も助けてくれる気配もないので、それならば自分たちを「神」と称して国を創つたらいかが?という作品です。この先の将来、不安を抱えずにはられないので書ける時に書こうと思います。ぜひ劇場にいらしてください。(下西啓正/脚本・演出家)
●6/17~22◎下北沢 駅前劇場
作・演出○下西啓正
出演○若本えり 黒井幹子 笹野鈴々音 立花葉子 三橋良平 他
＜料金＞前売一般¥3000 学生・若割 ¥2500(劇団予約のみ) 当日¥3500
※17(水)~19(金)は前半割引として前売 ¥2500、当日 ¥3000(学生・若割の取扱いなし)
＜お問合せ＞乞局 080-3096-8432 kotubone@gmail.com
http://kotubone.infoseek.ne.jp/

劇団俳優座
『nine』
●喫茶店の半分を間借りした開放

笑いとホロリとさせる人情喜劇を繰り込んだ、最近ありそうでなかなか見かけない、ちょっとステキなお芝居をお届けいたします。(三島ゆたか/主宰・演出家)



●6/10~14◎中野ザ・ポケット
作・演出○三島ゆたか
出演○内藤トモヤ 和田サトシ 平野めぐみ 吉浦正一 鳴海剛 他
＜料金＞
前売一般¥3500 当日一般¥3500
＜お問合せ＞
おにぎりスキップパース2 03-3814-8754
http://www.w21.ocn.ne.jp/~onigiri2/
●チケット情報
6/5(金)19:30の回 5組10名様

演劇ユニットてがみ座 第1回公演
『ありふれた惑星』



◎GASHO ITO #021
●「望遠鏡のある部屋」を舞台とした連作短編を、前嶋の(思考動物)・植原拓(劇団チャリ企画)という今注目する両氏を演出に招き同時に上演し量産とペラダから遠く頭上に望む宙、人々の心の線。二つの宇宙を丁寧な筆致で描く。井上さし氏推薦、世界天文年2009日本委員会公認イベント。(長田育恵/主宰・制作家)
●6/10~14◎王子小劇場
作○長田育恵
演出○前嶋のの
演出○植原 拓
出演○扇田拓也 中島美紀 梶山明子 他
＜料金＞前売 ¥2800 当日 ¥3300 学割 ¥2300 プログラ割引 ¥2300(※要問い合わせ)(全席自由)
＜お問合せ＞
てがみ座 080-1099-6630
http://tegamiza.net
info@tegamiza.net
●チケット情報
6/11(木)19:30の回 5組10名様

拙者ムニエル
『リッチマン』



●結成以来、頑なに「笑い」にこだわる拙者ムニエルが、劇団15周年を記念して送る本公演。いつもに増してゆるゆるのストーリーと、キレ味するどい奇天烈なキャラクター達で、唯一無二のナンセンスをお届けいたします。百年に一度という不況の中、気分だけは「リッチ」に突っ走る「リッチマン」に、どうかご期待ください!(村上大樹/拙者ムニエル)
●6/12~21◎吉祥寺シアター
脚本・演出・出演○村上大樹
出演○加藤啓 千代田信一 伊藤修子 成田さほ子 山岸拓生 寺部智英 他
＜料金＞前売 ¥3500 当日 ¥3800
＜お問合せ＞ナイレ 03-3260-042
http://www.sessya.com/

『炎の人』
●名優・市村正親が演じる、魂のゴッホ! 20世紀を代表する劇作家・三好十郎の傑作戯曲『炎の人』が、名匠・栗山民也

野を目指す」。是非、劇場でご覧ください。(CBHS制作部)
●6/5~9◎シアターグリーン BOX in BOX THEATER
作○小栗剛
演出○柴田雄平
振付○荒川修寺
出演○イチキ游子(B-amiru) 柚木幹斗(ナイロン100℃) 三科喜代(ブルドッキングヘッドロック) 他
＜料金＞前売 ¥3000 当日 ¥3300 平日 マチネ料金 ¥2500
＜お問合せ＞ http://www.cbhs.jp
●チケット情報
6/5(金)19:30の回 5名様

ハイバイ
『リサイクルショップ「KOBITO」』



撮影青木司
●「て」ハイバイ オムニバス」と快作の続くハイバイの最新作。岩井の母が実際に営むリサイクル屋をモデルに「圧倒的な幸福を願った女達の、ある果ての姿」を誰な衣装をしたイカつい男達で描きます。(制作)
●6/5~16◎こまばアゴラ劇場(東京公演)、6/25~28◎精華小劇場(大阪公演)
作・演出○岩井秀人
出演○岩井秀人 岩瀬亮 斎藤じゅん子 有川マコト(絶対王様) 他
＜料金＞前売 ¥2800 当日 ¥3300(整理番号付自由席)(東京公演) 前売 ¥2500 当日 ¥3000(整理番号付自由席)(大阪公演)
＜お問合せ＞
090-8059-6479(10:00-20:00)
http://hi-bye.net

劇団ヴァダー 第18回公演
『鬱々★シンドローム』



●ラブラブ夫婦の結婚記念日!にうつ病で疎遠になっていた友人が遊びに来る事に「うつ病っていったいどんな病気なの?」焦る気配り屋さんの夫と空気の読めない直球型の妻、招待客をも巻き込んで果たしてどんなホームパーティーになるのか?今回はうつ病をテーマにコメディタッチで展開するストーリーをお届けします!(奥山どれみ/劇団員)
●6/6~7◎神戸アートビレッジセンター 2F KAVホール
作・演出○ハマヤアキコ
出演○友田かず 福田祐子 河田幸子 加門 宇智勝也 他
＜料金＞
前売初回公演のみ ¥1500(小学生以下 ¥500) 一般 ¥2300 当日 一般 ¥2400
＜お問合せ＞
劇団ヴァダー 078-842-6574
http://homepage2.nifty.com/vada/
●チケット情報
6/6(土)19:00の回 3組6名様

初日が
6月8日~6月14日の公演

おにぎりスキップパース2
『みまもり刑事Z フラッシュ!』
●逮捕権を持たないために冷蔵庫や歩道橋、郵便ポストなど日常普通にある「なにか」に擬態して事件を見守ることしかできない、刑事の物語を描いたミステリーコメディ。シュールな設定の中にベタな

(大阪公演)
脚本○後藤法子 藤本有紀 横田理恵
演出○宮田慶子
出演○勝村政信 高岡早紀 他
＜料金＞ ¥7350(全席指定/税込)他
＜お問合せ＞
パルコ劇場 03-3477-5858
http://www.parco-play.com

エレクトリック・モンキー・バレード
第二回公演
『世界の終わり』



●その衝撃的なラストから賛否両論波紋を呼んだ前作に続き、またまた波紋を呼びそう最新作「世界の終わり」。ダメな男女のダメな恋愛。そのダメさゆえに男は女を傷つけ、女もまた男を傷つける。ダメダメメロドラマという悲しき負のスパイラル。どうか彼らに笑ってあげて下さい。そこしか救いはないから、多分。(寛晋之介/主宰)
●6/5~7◎しもきた空間リハビリティ
作・演出○寛晋之介
出演○渡辺ケンタ 金城真史 野村勇 小嶋美紗沙 笠原麻希 他
＜料金＞
前売一般 ¥2500 当日 一般 ¥2800
＜お問合せ＞
エレクトリック・モンキー・バレード
090-2448-9561
http://electricmonkeyparade.web.fc2.com/

クロムモリブデン
『あああ 地上がデジタルになってゆく!』



●夢はある!希望は無い!新しく建つ東京タワーは、僕たちどんな希望を与えてくれるのだろう…。揺らした腹いせに少女を刺した少年は、命の恩人間違われてしまふ。意味無く浮かび上がった容疑者は犯行時間に「お芝居」を観ていたがその内容をうまく説明出来ない。かくして「お芝居」の身中を確かめる捜査が始まる(制作部)
●6/5~8◎HEP HALL(大阪公演)、6/16~21◎赤坂RED/THEATER(東京公演)
作・演出○青木秀雄
出演○森下亮 金沢涼恵 板倉チヒロ 奥田フレタ 木村美月 他
＜料金＞一般前売 ¥3300 当日 ¥3500 学生前売 ¥2000 当日 ¥2500(要学生証) 悪い席料金 ¥1800 ※雨の日割引あり
＜お問合せ＞03-5310-1738
http://crome.jp/

チェリーブロッサムハイスクール
『愛妻は荒野を目指す』



●CBHS6回目の本公演は、日常が逸脱してゆくこれまでの設定から、日常のままだ人間を逸脱させてゆく物語になります。ひとつのストーリーを異なる視点で描くマルチアングル方式を採用し、登場人物の心理に触れるような作品を目指します。強力な客演陣も魅力の「愛妻は荒

中華人民共和国
建国60周年記念事業
京劇『霸王別姫〜漢楚の戦い〜』



●漢の劉邦と西楚の霸王項羽の対決を軸に、項羽と虞美人の愛と別れを描く京劇の名作。演出は屈指の実力を誇る天津青年京劇団で項羽役を文戯(歌を主にした芝居) 武戯(立ち回りを主にした芝居)に分かれて演じる豪華な配役も話題です。激しい戦闘場面、一方、独特の歌唱が美しい愛の調べを奏でます。(京劇公演事務局・楽戯舎)
●6/4~14東京芸術劇場中ホール(東京公演)、6/16アクロス福岡シンフォニーホール(福岡公演)、6/18愛知芸術劇場(愛知公演)、6/19~20NHK大阪ホール(大阪公演)
出演○天津青年京劇団(総勢52名) 孟広禄 趙秀君 他
＜料金＞
全席指定 S席 ¥8500 A席 ¥7500
＜お問合せ＞
京劇公演事務局(楽戯舎内)
03-5281-8066
●チケット情報
6/4(木)19:00の回 2組4名様(東京公演)

社団法人日本劇団協議会主催
『ガラスの家族』



●1986年初演。大好評を頂き、全国で400ステージを超える再演を重ねたヒット作!里親の家をたらいまわしにされ、重んじ心を持った主人公キリ。そのキリの成長を描く、歌・ダンスを取り入れたエネルギッシュな舞台です。今回、音楽をリニューアルし新演出をお届けいたします!ぜひ観に来て下さい!!(西海真理/企画・演出)
●6/4~10◎俳優座劇場
原作○キャサリン・ハタソン
脚本○吉原廣
演出○西海真理
出演○屋敷数一 こやまあつこ 堀田将智 他
＜料金＞
一般 ¥3500 学生 ¥2000(全席指定)
＜お問合せ＞
劇団朋友 03-6661-1101(平日10:00~19:00、土11:00~17:00、日祝除く)
http://www.gekidanforyou.com

PARCO PRESENTS
『LOVE 30 VOL.3』



●LOVE30のコンセプトは新進鋭鋭の作家が書き下ろす上演時間30分、男女の俳優二人の恋愛ドラマ。3回目の今回はドラマや映画と映像で活躍する女性作家3名が執筆。脚本・演出は、後藤法子作「ピアノ・レッスン」に勝村政信・高岡早紀、藤本有紀作「しゃべん」に松重豊・もさかえ、横田理恵作「エアコンな夜」に鈴木浩介・西田尚美。それぞれの視点から描き出す珠玉のラブストーリーを上演します。(公演広報)
●6/4~21◎PARCO劇場(東京公演)、6/27~28◎愛知勤労会館(名古屋公演)、7/11~12◎シアター・ドラマシティ

2002年度の二賞3部門を独占し、世界中で上演されている「熱いメッセージ性を持った社会派ミュージカル」の名作である。今回、私たちはまったく新しい「オレタチのプロドウェイミュージカル」として上演する。(流山児祥)



●5/29~6/28◎座・高円寺1
脚本・演出○グレッグ・コティス
音楽・演出○マーク・ホルマン
台本○坂手洋二
演出○流山児祥
出演○千葉哲也 曾我泰久 他
＜料金＞ ¥4500 学生 ¥3000
＜お問合せ＞
流山児★事務所 03-5272-1785
http://www.ryuzanji.com
●チケット情報
6/4(木)19:00の回 2組4名様

初日が
6月1日~6月7日の公演

加藤健一事務所vol.72
『パパ、I LOVE YOU!』



●ムジャクシャするような日頃の鬱憤がぶっ飛びよう爆笑コメディです。村田雄造さんとは初演で、僕自身も今からワクワクしています。演出も僕がやる事になり、6月の本番に向けて、大車輪のような日々となりそうです。「こんなに笑ったの初めて!」と言っていたような舞台を作り上げようと思っています。(加藤健一)
●6/3~14◎下北沢・本多劇場(東京公演)、6/19◎兵庫県立芸術文化センター(兵庫公演)、6/20◎京都府立市民ホール(京都公演)
出演○加藤健一 村田雄造 日下由美 加藤義宗 一柳みる 山野史人 他
＜料金＞ [東京公演] 前売 ¥5000 当日 ¥5500(全席指定) 高校生割引 ¥2500(学生証提示・当日のみ) [兵庫公演] ¥5000(全席指定) [京都公演] 前売 ¥5000 当日 ¥5500(全席指定)
＜お問合せ＞
加藤健一事務所 03-3557-0789

花組ヌーベル 第2回公演
『盟三五大切 一かみかけてさんごたいせつ』



●シェイクスピアのエッセンスがギュッと詰まった大人のための「夏の夜の夢」が、今年の初夏も輝き降り! 恋の精当て、チャミングな妖精の森、ちょっと色っぽくてピリッと皮肉も効いたシェイクスピアの中のシェイクスピア。大切な人と一緒にどうぞ。(新国立劇場/広報)
●5/29~6/14◎新国立劇場中劇場
作○W.シェイクスピア
演出○ジョン・ケアード
出演○村井国夫 麻実れい チョウソハ 根見大輔 他
＜料金＞ S席 ¥6300 A席 ¥5250 B席 ¥3150 ※当日学生半額
＜お問合せ＞
新国立劇場 03-5352-9999
http://www.ntnt.jac.go.jp/play/
●6/27◎富山市オーバード・ホール公演あり。

きに生死を懸けたその恋の行方や如何に?...(中村隆太/主宰・演出)



●5/27~31◎俳優座劇場
作・演出○中村隆太
出演○中村隆太 石本敏之 松下千佳 仁井基明 山下明起 他
＜料金＞ 一般 ¥4000 当日 ¥4500
＜お問合せ＞劇団浪漫狂
info@romankyo.com
http://www.romankyo.com/

タンゴ・ミュージカル
『Tanguera タンゲラ』



●世界初のタンゴ・ミュージカル「タンゲラ」は、本場アルゼンチンのトップダンサーがダンスと音楽で物語を紡ぐ情熱的なステージ。初演以来世界11ヶ国で上演され各国を魅了し、数多くの賞を受賞している本作が、昨年に引き続き早くも再来日を果たします。今公演では08年度国際ヒスパニックコンクールにて最年少で準優勝を果たした18歳のバンドネオン奏者・三浦一馬がオープニングアクトを務めることが決定。世界が認めた三浦一馬の「タンゴ」にもご期待ください。(公演広報)
●5/28~31◎Bunkamuraオーチャードホール
＜料金＞ S席 ¥10500 A席 ¥8400 B席 ¥6300(全席指定、税込・未就学児入場不可)
＜お問合せ＞
サンライズプロモーション東京
0570-00-3337(全日10:00~19:00)
http://www.tanguera.jp/
※6/2◎兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホールあり。

新国立劇場
『夏の夜の夢』



●シェイクスピアのエッセンスがギュッと詰まった大人のための「夏の夜の夢」が、今年の初夏も輝き降り! 恋の精当て、チャミングな妖精の森、ちょっと色っぽくてピリッと皮肉も効いたシェイクスピアの中のシェイクスピア。大切な人と一緒にどうぞ。(新国立劇場/広報)
●5/29~6/14◎新国立劇場中劇場
作○W.シェイクスピア
演出○ジョン・ケアード
出演○村井国夫 麻実れい チョウソハ 根見大輔 他
＜料金＞ S席 ¥6300 A席 ¥5250 B席 ¥3150 ※当日学生半額
＜お問合せ＞
新国立劇場 03-5352-9999
http://www.ntnt.jac.go.jp/play/
●6/27◎富山市オーバード・ホール公演あり。

流山児★事務所
創立25周年記念公演スペシャル
座・高円寺 春の劇場03
『ユーリントウン -URINETOWN The Musical-』
●「ユーリントウン」はニューヨーク・フリンジから一挙にプロドウェイに進出、

宝塚スタールインタビュー

榎原和子



力強さと華をあわせもつ男役、可憐で美しさがきらめく娘役……。スターたちは何を想って舞台上で躍動するのか。30人の宝塚スターが、舞台にかける熱い想いと宝塚への愛を存分に語る。真摯な姿勢と素顔がのぞくファン必携のインタビュー集。

朝海ひかる／春野寿美礼／安蘭けい／大和悠河／水夏希／湖月わたる／瀬奈じゅん／壮一帆／霧矢大夢／貴城けい／真飛聖／柚希礼音／彩輝なお／大空祐飛／蘭寿とむ／愛音羽麗／涼紫央／音月桂／彩吹真央／遼河はるひ／悠未ひろ／彩乃かなみ／月船さらら／北翔海莉／樹里咲穂／白羽ゆり／凰稀かなめ／晴華みどり／轟悠／遠野あすか(掲載順)

青弓社
101-0061 千代田区三崎町 3-3-4
電話 03-3265-8548 mail@seikyusha.co.jp
www.seikyusha.co.jp

「演劇ぶっく」連載の宝塚スタールが1冊に！

●「夢を信じる力を描いた物語です。人を愛し、人を許し、夢を信じることによって、世界が愛に包まれます。今まさに夢をあきらめようとしているあなたに贈る、極上のエンターテインメントです。(SHOW-COMPANY代表 阪上めぐみ)
●5/8～5/9
プロデュース・構成・演出○阪上めぐみ
脚本・音楽○えーばん
出演○阪上めぐみ 山本京 水船愛子 以倉里江子 阪野登 他
＜料金＞¥5500(全席指定/未就学児入場不可)
＜お問合せ＞
SHOW-COMPANY 072-948-0132
http://www.musical.co.jp
show@musical.co.jp

日本ミュージカル研究会・劇団JMA
但馬ミュージカル研究会
ミュージカル『じろはったん』



●太平洋戦争と同時代に生きた僕にとって、戦争を二度と起してはならない事を伝えたい。神戸の子供等が但馬に疎開し、じろはったんに出会った。じろはったんは知略の天才であった。じろはったんには親友の新人がいた。新人は国の命令で戦争に行き戦死した。じろはったんはいつか新人の帰りを待った。(高井良純/劇団主宰)
●5/30
原作○森はな
脚色・演出○高井良純
出演○留田幸大 寺西恵美 千葉みつ子 野間一豊 久本正志 他
＜料金＞
一般前売¥3500 当日¥4000 小学生以下前売¥1000 当日¥1200(自由席)
＜お問合せ＞日本ミュージカル研究会・劇団JMA 078-903-39
http://www.jmamusical.jp
info@jmamusical.jp

ゲキダンキオ 音楽劇
『はらっぱい』



●和太鼓とガムランの生演奏がアジアの風を運んでくる!文化庁新進芸術家公演事業に認定された本作品が、よりドラマ性の高い作品へとバージョンアップ。音楽の生演奏と映像などを取り入れながら、舞台表現の可能性を最大限に追求します。(さくらこりん/ゲキダンキオ 制作)
●6/26
出演○ゲキダンキオ役者陣 市川富美雄 大咲せり花
演奏○ウツテンヤ子(ガムラン) 創作芸術団黒猫子(和太鼓)
＜料金＞
一般前売¥2000 当日¥2500 高校生以下前売¥1000 当日¥1500(自由席)
＜お問合せ＞
ゲキダンキオ 06-6621-1555
http://thekio.co.jp
active@thekio.co.jp

ミュージカルカンパニー02mate
『幕末ロックミュージカル Ryoma』
●2007年大好評の内に幕を閉じた幕末ロックミュージカル「Ryoma」が熱い想いに後押しされ(神戸ミュージカルコレクション)参加公演として再演決定!(日本版オファブロードウェイシアター、宝塚から発信!)を目標に、ミュージカルカンパニー02mateが新神戸オリエンタル劇場にいいよ!進出します。(広報担当)

脚本・演出○ラサール石井
脚本○朝長浩之
原作(「人生双六」)○茂林寺文福/館直志(合作)
出演○志村けん ダチョウ倶楽部 他
＜料金＞¥8500(全席指定)
＜お問合せ＞
東京音協 03-3201-8116
http://www.duncan.co.jp/

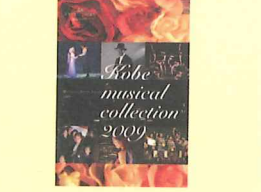
ブロードウェイ ミュージカル
『COCO』



●20世紀を代表するファッションデザイナー「ココ・シャネル」の一生をミュージカルに。1969年、キャサリン・ヘップバーン主演により公演された本作は、台本&作詞を「マイ・フェア・レディ」のアラン・ジェイ・ラーナー、作曲を「恋の手ほどき」のアン・ドレーウィンが手掛けた。幻のこの名作が、40年の時を経て日本の舞台上に甦ります!(宣伝担当)
●7/6～20日 テアトル銀座
演出・翻訳○G2
出演○鳳凰 湖月わたる 岡幸二郎 大澄賢也 今陽子 鈴木絢馬 他
＜料金＞¥11000(全席指定・税込)
＜お問合せ＞
Quarasエンタメ事務局 0570-01-7333
http://www.coco.mu



『神戸ミュージカルコレクション2009』
～“大人のエンターテインメント”を神戸から～



●現在、関西では沢山のミュージカル劇団やダンスカンパニーが、独自に活発な活動をしていますが、一堂に会したフェスティバルのようなものはありません。関西で活躍されているミュージカル・ダンスカンパニーのフェスティバルを開催することで、お互いの刺激となり関西におけるミュージカル、ダンスレビューがよりいっそう活性化していく一助となれどと考えています。(新神戸オリエンタル劇場/広報)
●5/6～6/26 新神戸オリエンタル劇場
＜お問合せ＞新神戸オリエンタル劇場 チケットセンター
078-291-9999(10:00～18:00)
http://www.shinkobeoriental.com/
info@shinkobeoriental.com

SHOW-COMPANY
オリジナルミュージカル
『天使の休日2009』



前売一般¥3000 当日一般¥3300 高校生以下(前売当日とも)¥1000(当日学生証持参見)(全席指定席)
＜お問合せ＞
劇三鷹市芸術文化振興財団
0422-47-5122
http://mitaka.jp.org

初日が
6月29日～7月6日の公演

劇団様ショービズプランニング
第3回公演
『ダーティー・マネー』



●2007年の「ねえ、夜は誰のためにあるの?」2008年の「THE DISHWASHERS」と本邦初演の作品を上演してまいりました。今回の「ダーティー・マネー」も前作同様本邦初演です。三浦浩一、三浦孝太の親子初共演。「ダーティー・マネー」にどうぞご期待ください。(臼田典生:プロデューサー)
●6/30～7/5 銀座みゆき館劇場
出演○三浦浩一 三浦孝太 田口守 田中敦子 福園美里 下馬二五七
＜料金＞¥6000
＜お問合せ＞(株)ショービズプランニング
03-5913-848
http://web.mac.com/showbizplanning

宇宙のコード
『鉄棒 ファン』



●宇宙のコード2年ぶりの新作は、特にこれといった新しい試みは一切せず、むしろこれまで通りにものづくりにばけり作です。ゲストにブルースカイさんを招いて、まあブルースカイさんに乗っ取られる形で挑みます。矢沢誠出演、富岡晃一郎から「出せ」とメールがきています。こうご期待。(小林顕作)
●7/3～5 世塚ファクトリー
作・演出○小林顕作
出演○西村たけお 小林顕作 中村たかし 矢沢誠 フルースカイ
＜料金＞
前売¥2800 当日¥3000(全席自由)
＜お問合せ＞
070-5587-0315(ウエチ)
http://www.purple.dti.ne.jp/uchu-record/

『志村魂4』
～松竹新喜劇の名作「人生双六」再び～



●ついに志村魂の季節です!老若男女、問答無用で楽しめる「バカ殿様」も、抱腹絶倒「コントライブ」も!そして、昨年の上演で劇場を感動の渦に引き込んだ名作「人生双六」も、更なる完成度で再演します!至高のエンターテインナー、志村けんが自信を持ってお届けする「笑いと感動」を、ぜひ劇場で体感して下さい!(宣伝担当)
●7/4～12 天王洲 銀河劇場(東京公演)、7/18～31 中日劇場(名古屋公演)

『EVIL DEAD THE MUSICAL』
～死霊のはらわた～



●ホラー映画の傑作として世界中でカルト的な人気の「死霊のはらわた」のミュージカル版。ミュージカルでは「恐怖は度を越えると思わず笑ってしまう」という人間心理を活かしコメディとして上演。03年のカナダ初演以来アメリカ、韓国など各国で大ヒット。本作の脚本に倉持裕、演出に河原雅彦、出演に諸星和己、大和田美帆、上山竜二(GUN&RUN)、右近健一(劇団☆新感線)、瀬戸カトリーヌ、森本亮治、高橋由美子を迎えて日本初演致します。(公演広報)
●6/25～7/5 サンシャイン劇場
脚本○倉持裕
演出○河原雅彦
出演○諸星和己 大和田美帆 高橋由美子 他
＜料金＞S席¥8500 A席¥6300(全席指定・税込・未就学児入場不可)
＜お問合せ＞
サンライズプロモーション東京
0570-00-3337
http://www.evildead.jp

タニマチ金魚
『誕生!劇団くすみちゃん』



●熟コメ「熟女コメディ」という新ジャンルを創るべく08年に結成した、関西在住の3人の女優によるユニット「タニマチ金魚」。第2弾となる今回の公演はコント・キュートでピンキー、シャイニーでプリアメントな最高にくだらないステージにどうぞご期待ください。(制作)
●6/25～28 HEP HALL
作○「劇団くすみちゃん」劇団員一同
構成○楠見薫
演出・出演○楠見薫 鈴木つかさ
出演○牧野エミ 中道裕子 武内由紀子 他
＜料金＞前売一般¥3800 当日一般¥4000
＜お問合せ＞TBSサービス
03-3505-7225(平日10:00-17:00)
http://www.fiberbit.net/user/tanikingu/
●チケプレ情報
6/27(土)18:00の回 3組6名様

城山羊の会+三鷹市芸術文化センター presents
太宰治作品をモチーフにした演劇
第6回
『新しい男』



●昭和16年から、没する昭和23年までを三鷹で過ごした太宰治。三鷹市芸術文化センターの斜め前の「榊林寺」に眠る太宰を偲び、平成16年から始まった「太宰治作品をモチーフにした演劇公演」。しくも太宰生誕100年の今年、その舞台を担うのは城山羊の会の山内ケンジ。どんな太宰の匂いが立ち昇りますか。ご期待ください。(森元隆樹/三鷹市芸術文化振興財団演劇企画員)
●6/26～7/5 劇場名 三鷹市芸術文化センター 星のホール
作・演出○山内ケンジ
出演○三浦俊輔 橋本けい 初音映莉子 山本裕子(青年団) 岡部たかし 古館寛治(青年団)
＜料金＞

初日が
6月22日～6月28日の公演

西村和宏(青年団演出部)＋
ウォーリー木下(sunday)企画
『ハルメリ』



photo:堀川高志(kutowns studio)
●青年団演出部の西村和宏初プロデュース作品。現代社会を冷やかな悪意を持ちながら鮮やかに描いた第13回新人戯曲賞受賞作『ハルメリ』を関西の気鋭の劇作家・演出家ウォーリー木下が演出する。ポップでサイケデリックな世界をぜひご覧ください。(西村和宏/プロデューサー)
●6/23～30 アトリエ春風舎
作○黒川陽子(劇団劇作家)
演出○ウォーリー木下(sunday)
プロデュース○西村和宏(青年団)
出演○清由香(sunday) 長野海(青年団) 他
＜料金＞
予約・当日一般¥2800 学生¥2300
＜お問合せ＞
サラダボール 090-3548-6388
http://saladball.org

劇団キリン食堂第5回公演
『MOZU啼く城』



●骨太な物語+日本最高峰の殺陣+ゴージャスなダンス。劇団キリン食堂は大人のためのライブエンターテインメントを目指し、毎回9割のお客様に感動して頂いております。『MOZU啼く城』は戦国時代を舞台にした大河時代劇の完結編です。スベクタルな演劇を、是非ご堪能下さい!(久保田誠二/主宰・演出家)
●6/24～28 六本木俳優座劇場
作・演出○久保田誠二
出演○新井剣史 大島つかさ 藤浪靖子 松木威人 他
＜料金＞¥4500(全席自由)
＜お問合せ＞
劇団キリン食堂 03-3532-6490
http://www.kirin-syokudou.com/

劇団八町荒し第5回公演
『Re:近江屋』



●町のしがなとんかつ屋「近江屋」。このお店ではとんかつに添えるキャベツの千切りのみを切る調理人達がお店の地下にひっそりと存在する。この様な調理人達の間の小さな人間模様。今回で2回目の再演となるこの作品をさらにバージョンアップして皆様元へお届け致します。(竹岡英臣)
●6/24～28 新宿シアターミラクル
出演○榎原 竹岡英臣 早崎瑛子 アモTYPE-R 他
＜お問合せ＞
劇団八町荒し
info@haccho-arashi.net
http://www.haccho-arashi.net

ない生活の果てに彼が悟った人生の秘密とはなにか? 幽霊となって我々の前に現れた男はかく語りだす! 脚本原案(ビチチ5)の数作品を原作に新たな劇作へと再構築。(佐々木充邦/脚色・構成・演出)
●6/19～28 MOMO
原作○榎原充則(ビチチ5)
脚色・構成・演出○佐々木充邦
出演○嶋村太一(親族代表) 森戸宏明(動物電気) 熊野善啓(チャリT企画) 石澤美和 木下実香 三枝貴志 他
＜料金＞
当日一般¥3300 前売一般¥3000
＜お問合せ＞
info@bajirico.com
090-4063-6973(劇団)
●チケプレ情報
6/21(日)15:00の回 2組4名様

ダイワハウスSpecial
地球ゴージャスプロデュース公演
Vol.10
『星の大地に降る涙』



●94年に岸谷五朗・寺脇康文の2人によって結成された演劇ユニット「地球ゴージャス」の10作品目。木村佳乃、三浦春馬、音尾琢真(Team NACS)らをゲストに迎え、歌あり、ダンスありの一大エンターテインメント舞台としてお届け致します。EXILEが担当する主題歌にも是非ご注目ください!(宣伝担当)
●6/20～7/26 赤坂ACTシアター(東京公演)、7/30～8/3 道心ホール(北海道公演)、8/7～17 梅田芸術劇場メインホール(大阪公演)
作・演出○岸谷五朗
出演○木村佳乃 三浦春馬 音尾琢真 岸谷五朗 寺脇康文 他
＜料金＞
S席¥10500 A席¥8400(東京公演)
＜お問合せ＞
チケットスペース 03-3234-9999
http://www.amuse.co.jp/chikyuu/vol_10/

青年団国際演劇交流プロジェクト
2009 日仏交流企画
『鳥の飛ぶ高さ』



●フランスを代表する現代劇作家ミシェル・ヴィナヴェール作「Par-dessus bord」の舞台を、現代の日本に置き換え、平田オリザがお届けする道引企業買収劇。超高性能便器を開発した日本の家族経営メーカーが、世界最大手のフランス資本便器会社に狙われる。日仏合作の新型経済演劇をフランスの次世代を担うアルノームニエが演出する。(青年団)
●6/12～14 京都芸術センター(京都公演)、6/20～28 シアタートラム(東京公演)
原作○ミシェル・ヴィナヴェール
演出○アルノームニエ
翻訳・演出協力○平田オリザ
出演○山内健司 ひらたよこ 松田弘子 他
＜料金＞
一般¥2500 学生・シニア¥1500(日時指定・全席自由席・整理番号付き)(京都公演) 一般¥3500 学生・シニア¥2500 高校生以下¥1500 世田谷区民¥3300 劇場友の会¥3200(全席指定席)
※日本語・フランス語上演/日本語字幕付き
＜お問合せ＞
青年団 03-3469-9107
http://www.seinendan.org

55歳以上の団員による演劇劇団さいたまゴールド・シアター。待望の第3回公演はケラリーノ・サンドロヴィッチの書き下ろし新作。初顔合わせとなる蜷川幸雄が、平均年齢70歳の団員を率いてKERA戯曲を迎え撃つ!どうぞご期待ください。(彩の国さいたま芸術劇場/制作)
●6/18～7/1 彩の国さいたま芸術劇場小ホール
作○ケラリーノ・サンドロヴィッチ
演出○蜷川幸雄
出演○さいたまゴールド・シアター
＜料金＞¥3000
＜お問合せ＞
彩の国さいたま芸術劇場
048-858-5511
http://www.saf.or.jp

劇団シアターOM
『うしろ!プロジェクト 第四弾
『うしろとら』
第五章
『符咒師 鏢〜化物を狩る男〜』



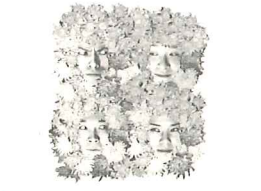
●大阪の劇団シアターOMが原作者・藤田和郎先生の認可のもと、なんと漫画『うしろとら』をど〜んと完全舞台化! 昨年12月からスタートした本企画も大好評の第五弾!今回の演出は、「符咒師 鏢〜化物を狩る男〜」!! 人気キャラの鏢(ひょう)がいよいよ登場します!! 集え! 獣の槍のもとへ!! 走れ! 桜川三丁目劇場へ!!(うしろ!プロジェクト制作部)
●6/19～22 劇団シアターOMスタジオ「桜川三丁目劇場」
原作○藤田和郎
作・演出○福森誠
＜料金＞
前売¥1500 当日¥1800(全席自由)
＜お問合せ＞
劇団シアターOM 06-4392-8515
om@art.email.ne.jp
http://theater-om.com/
●チケプレ情報
6/21(日)18:00の回 3組6名様

乱雑天国vol.7
『海と雨とフェスティバル』



●何でフェスって切ないんだろう? 余韻? 動物電気の松下幸史が作、演出、主宰を担当する乱雑天国の新作。70分。中川真主演。双数姉妹・辻沢綾香、はえぎわ・川上友里、動物電気、7%竹、りんごなど小劇場界のオモシロ役者達がフェスティバルの風景を「哀愁・パンク・ロック喜劇」に乗せて、地球にお届けします。(松下幸史/主宰・作・演出)
●6/19～23 新宿ゴールデン街劇場
＜料金＞¥2000 ※23(火)15:00のみ平日マナネ割引¥1500
＜お問合せ＞090-4418-3722

バジリコバジコ
『ヨシザキ、カク語りキ』



●100円ショップ店員・吉崎は壮絶な最期を遂げた。イケない中学時代、なんとく生きてきたフリーター時代……しょうも

的なコミュニティFM局。ある時、地元の高中生が書いたラジオドラマを放送することになったが、当日になって彼が意外なことを話し始める…北朝鮮による拉致事件、原子力発電所によって労働者の間、在日朝鮮人の歴史、憲法9条など様々なテーマを描く。(制作)



●6/17～25 シアター-X
作○小原延之
演出○山田潤
出演○中吉卓郎 巻島康一 斎藤深雪 田野聖子 他
＜料金＞一般¥5250 学生¥3675
＜お問合せ＞劇団俳優連
03-3405-4743 03-3470-2888
http://www.haiyuzo.co.jp
●チケプレ情報
6/17(水)、18(木)18:30の各回 6名様

ヨーロッパ企画
『ボス・イン・ザ・スカイ』



●ヨーロッパ企画の新作本企画は、全方位型のパフォーマンステイム。円形舞台が牙をむく! うねりかか! (劇団)
●5/15～17 京都府立府民ホール アルティ(京都公演)、5/20 NTTクレドホール(広島公演)、5/22～24 イムズホール(福岡公演)、6/5～14 伊丹市立演劇ホール AI-HALL(兵庫公演)、6/17～28 こどもの城 青山円形劇場(東京公演)、他

リボルブ方式第8回公演
『鯖男にイカの目女』



●吉増裕士、作・演出によるユニット「リボルブ方式」約2年振りの新作公演。ナイロン100℃のオーディションで知り合った吉増裕士、田中嘉治郎、廻飛雄の3名で2000年6月に結成。吉増独特の人間観・世界観に基づいた劇作は、独自の作品世界を作りだしている。久々の本作は「最もリボルブ方式らしい作品になる」そう。必見。(制作)
●6/17～21 下北沢 シアター711
作・演出○吉増裕士
出演○田中嘉治郎 廻飛雄 吉増裕士 宮崎陽介 宮本奈津美 清水葉月 他
＜料金＞S席¥3000 他
＜お問合せ＞Little giants
090-8045-2079(13時～20時)

さいたまゴールド・シアター
『アンドウ家の一夜』



●蜷川幸雄をして「過激」と言わしめる、

0 7 3

演劇ぶっく 広告料金表

演劇ぶっくでは、各種広告スペースをご用意させて頂いております。

これまでも「演劇公演のご案内」、「劇団員の募集広告」、「学校・スクールの生徒募集広告」、「稽古スペースのご案内」など効果的な宣伝媒体としてご利用いただいております。

広告料金表(税込)

掲載面	スペース	色数	料金	サイズ
表4	1P	4	577,500	275×195
表2	1P	4	420,000	276×187
本文	1P	4	315,000	276×187
本文	1P	1	210,000	276×187
本文	タテ1/3P	4	105,000	276×55
本文	タテ1/3P	1	84,000	276×55

この他にも用途・目的等に合わせた各種スペースがございます。広告掲載のご検討や詳しい入稿方法など、お気軽にお問い合わせ下さいませ。

演劇ぶっく

- 創刊／1986年4月25日
- 発行形態／隔月刊／奇数月9日発売
- 定価／750円(税込み)
- 判型／A4判・平綴じ

演劇ぶっくは、小劇場や新しい演劇の流れを中心に幅広く舞台をとりあげるエンタテインメント・フォト・マガジンです。

■お問合せ

〒164-0011 東京都中野区中央
5-46-5 池田ビル2F
株式会社えんぶ
演劇ぶっく編集部
TEL:03-3229-2424
FAX:03-3229-2423

第59回

『24と25』

さてさて、二十歳の大学一年生からお芝居に出会って、今年で25年目になるのだと最近気がつきました。おそ、一応、区切りの年、言い方を変えれば記念の年になるはずでした。でも、気づいたのが一年の三分の一を過ぎてからだったので、今さら自分

さてさて、二十歳の大学一年生からお芝居に出会って、今年で25年目になるのだと最近気がつきました。おそ、一応、区切りの年、言い方を変えれば記念の年になるはずでした。でも、気づいたのが一年の三分の一を過ぎてからだったので、今さら自分

さてさて、二十歳の大学一年生からお芝居に出会って、今年で25年目になるのだと最近気がつきました。おそ、一応、区切りの年、言い方を変えれば記念の年になるはずでした。でも、気づいたのが一年の三分の一を過ぎてからだったので、今さら自分



にしかわひろゆき◎64年生まれ、埼玉出身。85年に演劇集団キャラメルボックスに入団。以来看板役者として活躍。
次回予定◎演劇集団キャラメルボックス「容疑者Xの献身」4/30～5/24◎池袋サンシャイン劇場

西川浩幸の 素晴らしい2009年 ギャグ人生

さてこの季節、よく五月病などと言われますが、春先にそういった症状になるのは、暖かい季節に身体が順応しないからなんだそうです。そう言えば僕の場合は冬公演が終わって、しばらくお休みの期間になったりすると、稽古が始まって身体を動かすようになって、なかなか汗が出てこないことがあります。ランニングを何日も続けたりしないと、汗線がすぐには開かないのです。一度寒さから身体を守った状態になると、目を醒ますには時間がかかるってことなのかもしれません。五月病にも運動はいいって聞きますし。運動しよ、そうしよう!!

さてこの季節、よく五月病などと言われますが、春先にそういった症状になるのは、暖かい季節に身体が順応しないからなんだそうです。そう言えば僕の場合は冬公演が終わって、しばらくお休みの期間になったりすると、稽古が始まって身体を動かすようになって、なかなか汗が出てこないことがあります。ランニングを何日も続けたりしないと、汗線がすぐには開かないのです。一度寒さから身体を守った状態になると、目を醒ますには時間がかかるってことなのかもしれません。五月病にも運動はいいって聞きますし。運動しよ、そうしよう!!

さてこの季節、よく五月病などと言われますが、春先にそういった症状になるのは、暖かい季節に身体が順応しないからなんだそうです。そう言えば僕の場合は冬公演が終わって、しばらくお休みの期間になったりすると、稽古が始まって身体を動かすようになって、なかなか汗が出てこないことがあります。ランニングを何日も続けたりしないと、汗線がすぐには開かないのです。一度寒さから身体を守った状態になると、目を醒ますには時間がかかるってことなのかもしれません。五月病にも運動はいいって聞きますし。運動しよ、そうしよう!!

さてこの季節、よく五月病などと言われますが、春先にそういった症状になるのは、暖かい季節に身体が順応しないからなんだそうです。そう言えば僕の場合は冬公演が終わって、しばらくお休みの期間になったりすると、稽古が始まって身体を動かすようになって、なかなか汗が出てこないことがあります。ランニングを何日も続けたりしないと、汗線がすぐには開かないのです。一度寒さから身体を守った状態になると、目を醒ますには時間がかかるってことなのかもしれません。五月病にも運動はいいって聞きますし。運動しよ、そうしよう!!

イベント event

早稲田大学
坪内博士記念演劇博物館
『現代演劇シリーズ第33弾
やぶれ船で
流浪する水夫たち
—水族館劇場20年の航跡—』



●大掛かりな特設テントで数トンの水を演出で用いる上演スタイルから根強い人気を誇る水族館劇場。流浪する人々の場に寄り添い、演劇の可能性を探る地道な活動は今後も一層評価されるに値するでしょう。本展示では演劇史からこぼれ落ちたとされてきた活動の軌跡—航跡—を辿ります。ぜひ足をお運びください。(梅山いつき)

●[Part1]3/1～8/3◎演劇博物館3階「現代」コーナー
[Part2]7/6～8/3◎演劇博物館2階・企画展示室Ⅱ
＜料金＞無料
＜お問合せ＞早稲田大学坪内博士記念演劇博物館 03-5286-1829
http://www.waseda.jp/enpaku/

募集 recruitment

劇団ムジカフォンテ
『劇団員大募集!!』



●豊島区を拠点にミュージカルの公演や区内施設でのボランティア公演等、様々な活動をしてきたムジカフォンテも2010年に20周年を迎えます。更なる飛躍を目指す私達と共に、あなたも舞台の上で生きてみませんか?通常のレッスンは週2～3回。発声、歌、芝居、ダンス、アクション等のレッスンで心と体を磨きましょう☆(谷ノ劇団員)

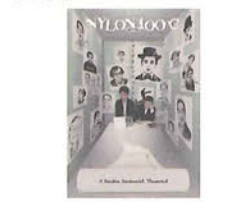
●応募資格>歌うこと、体を動かすこと、生きることが好きな方。年齢不問。豊島区在住大歓迎。
＜応募受付＞随時。
＜応募の方法＞下記連絡先までご連絡下さい。
＜連絡先＞〒170-0011 東京都豊島区池袋本町2-17-27 劇団ムジカフォンテ(代表:松本)
03-3986-5659
http://www3.to/fontes/

注目のFABRICA作品がDVDに!!
『FABRICA [11.0.1] -LOST GARDEN-』



●映画監督:本広克行(『踊る大捜査線 THE MOVIE』シリーズ・『少林少女』など)が演出を手がけた3部作の最終章が、遂にDVDで発売されました!脚本=高井浩子(東京タンパリン)が今回描いたのは、「人間の表と裏」。豪華出演陣による芝居はもちろん、リハーサル他その裏側に迫った特典映像も見ものです。(宣伝担当:ポニーキャニオン/山下明)

演出◎本広克行
脚本◎高井浩子(東京タンパリン)
出演◎安藤聖 石原竜也 川田希 近藤智行 他
＜価格＞¥3675(税込)
＜発売元＞ポニーキャニオン
http://visual.ponycanyon.co.jp/



●ナイロン100°C結成15周年記念公演。ハイペース、且つハイクオリティな作品を発表し続けているケラリーノ・サンドロヴィッチの、あらたなる傑作との呼び声も高い一作。劇団員総出演に加え、佐藤江梨子、小池栄子、坂井真紀、他の豪華客演陣も見どころ。出演者を2チームに分け、同じ作品、同一セットながら、異なる演出で挑んだWキャスト公演の両バージョン公演の完全収録パッケージ。必見!!(宣伝担当)

脚本・演出◎ケラリーノ・サンドロヴィッチ
キャスト◎
ホワイトチーム:三宅弘城 松永玲子 村岡希美 / 佐藤江梨子 清水宏 河原雅彦 他
ブラックチーム:大倉孝二 犬山イヌコ みのすけ / 小池栄子 坂井真紀 他
＜価格＞¥7800(税込)
＜発売元＞
キューブ キュービットクラブにて販売
http://www.e-fanclub.com/cube/index.html
2008年10月、本多劇場にて収録

奇才・町田康の小説の舞台化に成功した傑作を再び!
『バンク侍、斬られて候』



●原作は芥川賞作家の町田康、演出には映画「バコと魔法の絵本」にも出演したPiper所属の山内圭哉。奇才・町田康の創作SF時代小説を浪花の星・山内圭哉が完全舞台化! 2006年に大阪のみで公演された初演を完全版として再演。(映像制作/土屋直喜)
原作◎町田康
脚本・演出◎山内圭哉
出演◎山内圭哉 小島聖 宇根剛士 大谷亮介 他
＜価格＞¥4900(税込)
＜発売日＞5/27
＜発売元＞よしとアル・アンド・シー

トの演技が注目。(宣伝担当/梶谷有里)

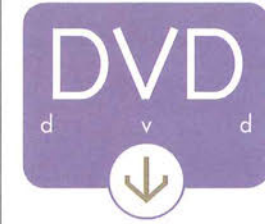


◎「ラッシュライフ」製作委員会
●6/13より新宿バルト9にて公開
監督◎東京芸術大学映像研究科 第3期生
出演◎塚雅人 寺島しのぶ 柄本佑 板尾創路 他
原作◎伊坂幸太郎『ラッシュライフ』(新潮社)
製作◎「ラッシュライフ」製作委員会
配給◎東京芸術大学

佐藤二朗主演!
35歳でニートの男のもとに
送り込まれた最終兵器とは!?
映画
『幼獣 マメシバ』



●いたいけな子犬が運んでくるもの、それはステキな出会いと家族の深い絆。一般に閉じこもっていた男が幼いマメシバとともに新しい一歩を踏み出す姿を通して、イヌとヒトの関係を見つめるハートウォーミングな映画が誕生しました。出演は佐藤二朗、安達祐実、高橋洋、[笑い飯]の西田幸治など個性派俳優が揃いました。(宣伝/相良)
●6月中旬より、渋谷シアター-TSUTAYA 他全国ロードショー
監督◎亀井亨
脚本◎永森裕二
主題歌◎「あの丘へ」高橋直純(リアルイズレコード)
出演◎佐藤二朗 安達祐実 高橋洋 高橋直純 西田幸治(笑い飯) 世野高史 藤田弓子
配給◎AMGエンタテインメント
http://mame-shiba.info



岸田國士戯曲賞受賞作、
早くもDVD化!
『幸せ最高ありがとうマジで!』



●あの本谷有希子が作・演出!あの永作博美が最高に理不尽な女を熱演!!しかも、安齋登xいりあがり斎x本谷有希子による音声解説付!!!ハイテンションに暴走する最高に理不尽な女が常識も日常もぶっ壊す!奇才、本谷有希子が見る現代はこんな感じです。(発売元:ヴィレッジ/永来伸)
作・演出◎本谷有希子
出演◎永作博美 近藤公園 前田亜季 吉本菜穂子 広岡由里子 梶原善
＜価格＞¥5000(税込)
＜発売元＞ヴィレッジ
http://www.e-oshibai.com/

出演◎浅野忠信 北村一輝 ユースケ・サンタマリア 真木よう子 南野陽子 佐津川愛美 他
配給◎GAGA
http://donju-gyao.jp

話題の監督、脚本家、
俳優たちにたくさん会えます!
映画
『非女子図鑑』



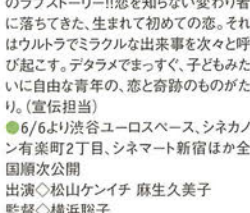
◎「非女子図鑑」製作委員会
●「非女子」という世間の枠から飛び出した女子たちの奮闘劇を描いたショートムービー集『非女子図鑑』。若手からベテランまでバラエティに富んだ7人の主演女優たちに加え、池田鉄洋や江本純子(脚本)など、映画好きのみならず、演劇好きにもたまらない問題作(!?)です!!(宣伝/アバグアポ/田中)
●5月下旬、渋谷シアター-TSUTAYAほか全国順次公開
「オープニング」
主演◎鳥居みゆき
監督◎清水崇
「古いタマエ」
主演◎足立梨花
監督◎豊島圭介
「魁!!みっちゃん」
主演◎山崎真実
監督◎山口雄大
「B[ピー]」
主演◎月船さらら
監督◎深川栄洋
「男のEQ(証明)」
主演◎片桐はいり
監督◎川野浩司
「混浴heaven」
主演◎江口のりこ
監督◎オースミユウカ
「死ねない女」
主演◎仲里依紗
監督◎塚本連平
配給◎ニューシネマワークショップ/アバグアポ
http://hijoshi.com

松山ケンイチの幼なじみに、
ノエ征爾(「はえぎわ」)が出演!!
映画
『ウルトラミラクル
ラブストーリー』



2009「ウルトラミラクルラブストーリー」製作委員会
●松山ケンイチ主演最新作は前代未聞のラブストーリー!!恋を知らない変な者に落ちてきた、生まれて初めての恋。それはウルトラでミラクルな出来事を次々と呼び起こす。デタラメまっすぐ、子どもみたいに自由な青年の、恋と奇跡の物語がたり。(宣伝担当)
●6/6より渋谷ユーロスペース、シネカノ有楽町2丁目、シネマート新宿ほか全国順次公開
出演◎松山ケンイチ 麻生久美子
監督◎横浜聡子

宮藤官九郎脚本による伝説の舞台
がついに映画化!
映画
『鈍獣』



●宮藤官九郎脚本による伝説の舞台がついに映画化!! CM界の鬼才、細野ひで男監督の熱望に答え、宮藤自ら映画用に練り直し、舞台版とは違った魅力満載の新しい「鈍獣」が完成しました。殺しても殺しても死なない鈍〜い男・凸さんと、個性豊かすぎる幼なじみたちが繰り広げる、ハート(ハートマーク)ボイルド・ミステリー。浅野忠信ら、豪華キャストの演技も必見!!(ミラクルヴォイス宣伝部)
●5/16よりシネマートほか全国ロードショー
監督◎細野ひで男
脚本◎宮藤官九郎

葛木英(「メタリック農家」)が
脚本を担当!
映画
『腐女子彼女。』



◎2009「腐女子彼女。」フィルムパートナーズ
●ブログ累計アクセス数1,100万突破! ブログ本・コミックもベストセラーを記録した超人気ブログが遂に映画化!純朴な大学生ヒナタが、腐女子OLヨリコの妄想オタク系趣味に振り回されながらも一途に愛を貫くラブ・スウィート・コメディ。脚本はENBUゼミナール出身「メタリック農家」の葛木英。どうぞご期待下さい!!(宣伝/マジックアワー/吉永)
●5/2よりシネマート新宿ほか全国順次公開
監督◎兼重淳
脚本◎葛木英
出演◎大東俊介 松本若菜 古川雄大 EMI 奏みずは
PC&携帯サイトに劇場公開と同時に本編有料配信決定!詳しくはオフィシャルサイトfujoshi.gyao.jpまで

劇団☆新感線のROCK活劇、
映画館にて全国参上!
ゲキメネ
『五右衛門ロック』



●08年夏、東京と大阪を熱狂の渦に巻き込んだ、劇団☆新感線のROCK活劇『五右衛門ロック』が、演劇の映画館で見る「ゲキメネ」の最新作として登場!歌あり踊りあり、笑ひも涙もてんこ盛りの圧倒的迫力を、映画館の大スクリーンで体感して下さい!!(配給/ヴィレッジ/永来伸)
●5/16より新宿バルト9・梅田ブルク7他。9月より全国ロードショー。
演出◎いのうえひでり
脚本◎中島かずき
作詞◎森雪之丞
出演◎古田新太 北大路欣哉 他
＜料金＞
前売一般¥2000 当日一般¥2500
学生・小人¥1800
＜お問合せ＞ゲキメネ上映担当
03-5361-3280
http://www.goemon-rock.com

宮藤官九郎脚本による伝説の舞台
がついに映画化!
映画
『鈍獣』



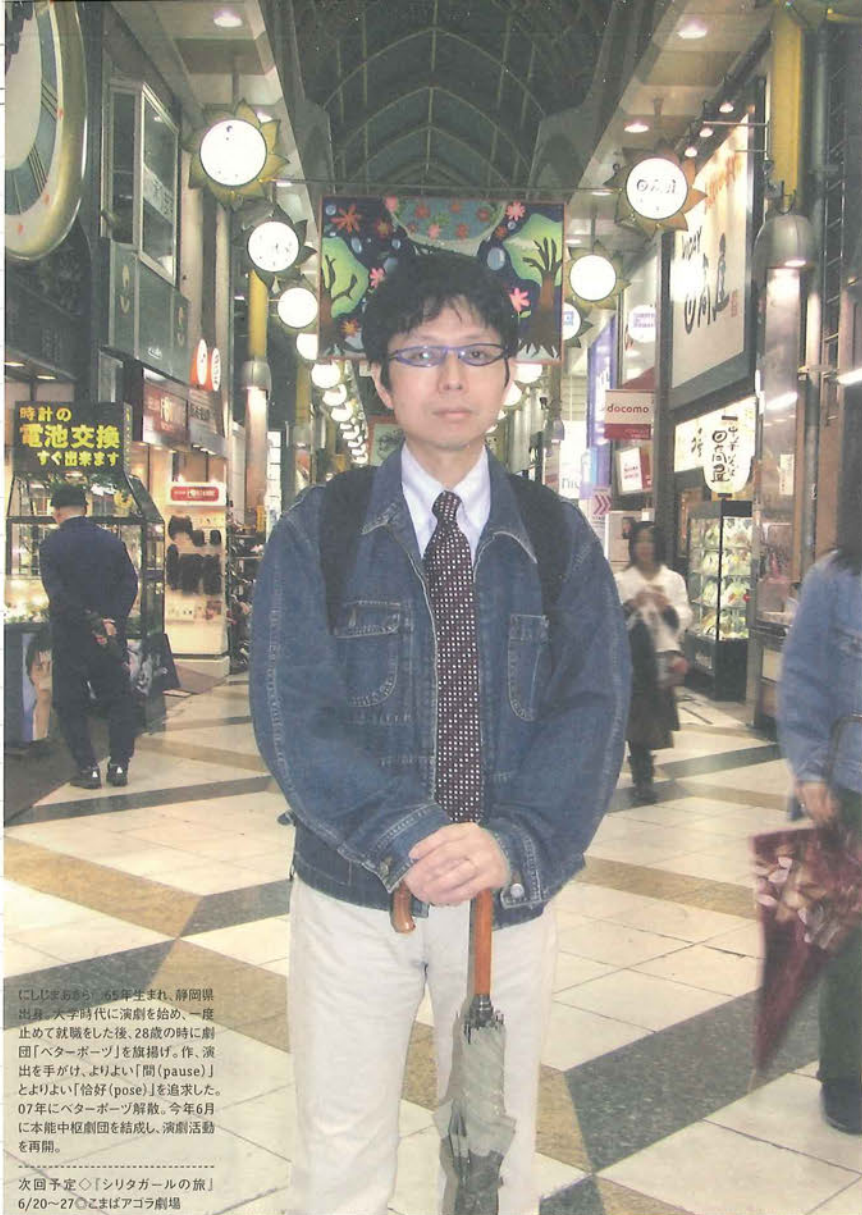
●宮藤官九郎脚本による伝説の舞台がついに映画化!! CM界の鬼才、細野ひで男監督の熱望に答え、宮藤自ら映画用に練り直し、舞台版とは違った魅力満載の新しい「鈍獣」が完成しました。殺しても殺しても死なない鈍〜い男・凸さんと、個性豊かすぎる幼なじみたちが繰り広げる、ハート(ハートマーク)ボイルド・ミステリー。浅野忠信ら、豪華キャストの演技も必見!!(ミラクルヴォイス宣伝部)
●5/16よりシネマートほか全国ロードショー
監督◎細野ひで男
脚本◎宮藤官九郎

西島明

やっぱり演劇が好きみたいです。

「見のどかな日常会話なのに、見えないおかしみや悲しみがかくれていたり。まじめなようで、どこか抜けている登場人物たちが醸す芳香。誰も通ったことのない道を歩いていた劇団「ベターボーイズ」。

一度諦めた道を、今また、再び歩き始めた。



にしじまあきら 55年生まれ、静岡県出身。大学時代に演劇を始め、一度止めて就職した後、28歳の時に劇団「ベターボーイズ」を旗揚げ。作、演出を手がけ、よりよい「間(pause)」とよりよい「恰好(pose)」を追求した。07年にベターボーイズ解散。今年6月に本能中樞劇団を結成し、演劇活動を再開。

次回予定◎「シリタガールの旅」
6/20～27◎こまばアゴラ劇場

公演情報

本能中樞劇団
『シリタガールの旅』

6/20～27◎こまばアゴラ劇場
作・演出◎西島明 振付◎山田うん
出演◎猿飛佐助 吉原朱美 横塚真之介 佐伯さち子(野鳩)
佐々木幸子(野鳩) 立本恭子 森田ガッツ(猫のホテル)
お問い合わせ: 090-2916-1739 (MRco.)

シリタガールの旅



本能中樞劇団
2009年6月20日(土)～6月27日(土)
こまばアゴラ劇場 中演、後援、振付、山田うん

活動再開のいきづなを教えてください。

劇団を解散した後、演劇以外の表現活動をしたかったと思いついていろいろ試してみたのですがうまくいかず、猿飛君が一緒にやろうって言うてくれたのがきっかけです。

それはいつ頃ですか？

わりと解散公演をやつてすぐです。吉原朱美ちゃんもメールをくれたりして、2人が声を上げてくれたのが大きいです。それからアゴラ劇場に企画を提出したら、またま審査を通つたので、この公演を打つことが決まりました。自分の中の1番のきっかけは猿飛君かな。

出演者はいいメンバーが揃いましたね。

もともと立本恭子さんは知っていたし、佐々木恭子(さん)と横塚(真之介)さんは昔一緒にやることがあって、佐伯(さち子)さんもロリータ男爵に客演している舞台を見ていて、あんまり面識がないのは(森田)ガッツさんだけです。ガッツさんはベターボーイズの公演を毎回見に来て下さっていましたが、お互い会釈する程度で、ほとんどしゃべったことはありませんでした。今回、男の人で雰囲気は違うけど、なんとなく似通った感性の人を探して、出演をお願いしたら快諾してくれました。

出演者を決めてから、作品作りに入った感じですか？

そうです。キャストは男3人、女4人というところは決まっています。今回、再始動するにあたり、ベターボーイズと全く同じではいけないだろう、何かを変えなければ……と考えたのですが、書く内容はなかなか変えられ

ない。ならば今までベターボーイズでは一度もできなかった稽古初日に台本を完成させること、昔は芝居のためなら糸目をつけたかった予算も赤字を出さないようにしよう。この2つのことを目標にかけ今準備を進めています。

現在の劇団員は猿飛さんと吉原さんのお二人ですか？

そうです。もうアゴラ劇場から下北沢のスズナリ行つて、新宿シアターボックス行つてみたいなどは考えず、自分たちの興味を年1回くらいのペースで追求して行きます。

宣伝文を読んで思ったのは、おそらく西島さんは活動休止中を経て、興味やおもしろいと思つていることは変わらなかったのかなと。

全然変わってないですね。

「シリタガールの旅」というタイトルがいいですね。主人公がいまいるところを旅して行く話にしようと考えています。中島敦の『悟浄歎異』という短編が好きだったので、それは本当に沙汰済みの話など、ろを旅して行く話です。あとアラキの写真集に「センチメンタルの旅」というのがあって、そのへんのところから気になりながら台本を書いています。

シリタガールが気になります。

前にナオリタガールというのがコミニカルにあって、ナオリタガールがタイトルのアイデアとしては、一番最初だったかな。ぼくはけつこ頭痛持ちだったので、早く治りたくて。

何かを知りたい女の子が旅をする話なのかなって。

……今の感じだと夫婦の話になりそうです。

インディ高橋の

Patchy小道具研究所[®]

第39回 | 『蜚蜚峠と私』

↑タイトル:空と私

突然ですが、「最近、身を以て感じたこと」シリーズ

●布団で寝ると気持ちよく、疲れがとれる

秘密基地(仕事場)でサンベルカ敷いて毛布で寝るのはそろそろ止めた方がよいのではと考える今日のごろ皆様如何お過ごしでしょうか。こないだもウンコを少々びった所長のタカハシでございます(パンツは自分で洗いました)。

さて私、タカハシとは現在、『蜚蜚峠』東京公演と大阪公演の隙間でございます。で、私、タカハシは何をやっているのかといふと、「かげろーおとーげーをのぼったりあがつたり」とうそ歌詞で鼻歌など歌いながら小道具系デスクワークとか別件小道具仕事とか大阪デビューの小道具こさえたりとかやっております、そんな感じでございます。



アンパンの旦那後頭部

蕎麦割れる前



蕎麦割れた後

で、それはさておき今回はカラーページと小耳にはさみまして、カラー映えする内容にせねばと考えております。が、しかし原稿入れた段階でモノクロページになってたりなんかしたりしてー。等と思いつつ、なんとなくふりかえってみましょう。

てな、感じで『蜚蜚峠と私』最初、台本読んで、こりゃ「軍鶏と死体」だなど思いました。これらをクリアすれば……と。で、稽古始まってやっぱり、「軍鶏と死体」……だなと。

●ウンコ

ひさしぶりにウンコを作りました。昔はよくウンコを作っていました。なにかとウンコでした。「ここは絶対ウンコ」とか、「とりあえずウンコ」とか「ウンコでいいや」とか。最後にウンコ作ったのは「レッツゴー!忍法帖」で「ばってん不知火」が食べる。とろろなウンコ。あのウンコの食べっぷりは最高です。金メダルです。大好きです。で、今回はリアルなウンコ。舞台袖に投げ込むのである程度の重さが必要となります。素材はウレタンにラテックス。ラテックスは何かと申しますと、白い液体で乾くと透明(半透明ぐらい)なゴム状に固まる接着材でして、発泡スチロールの接着とか怪獣のぬいぐるみ等の表面処理等にも使われております。色を混ぜて使うこともできます。色を混ぜたラテックスを「色ラテ」と呼んでおります。

で、ラテックスと色の割合なんですが、私、タカハシはなんとなくてやっております。正しい割合をご存知の方教えて下さい。宜しくお願い致します。

ラテックスは白なので色を混ぜると勿論白が混ざった色なのですが、前にも言ったように乾くと透明(半透明ぐらい)になります。乾いた時の色が知りたいときは少し「色ラテ」をどかに塗ってドライヤーで乾かします。そうすれば仕上がりの色の具合が解ります。

で、ウンコ色の「色ラテ」を作りまして、てきとうな大きさにちぎったウレタンにガンガン吸込ませます。そして自然乾燥といいますが、放置。その隙に別の作業をしておきましょう。

で乾いたら、ウンコの形に形成していきます。で、もう一回「色ラテ」にちぎらんとつけてまた放置。乾いてまた形成して、アクリル絵の具でタッチを少々つけて、最後にベビーパウダーをさっとかけてあげましょう。ラテックス同士は引付きましますから。ちなみに今回は50個ウンコを作りました。結局本番で使ってるのは25個ぐらい。稽古の段階で何個使うかがまだ決まっていなかったので一応多めにということで。なので、売るほどウンコがございまして。

えー、ほとんどウンコの話しかいておりません。すみません。

●軍鶏

蜚蜚峠の軍鶏は下記の様に5軍鶏でございます。通称といいますが通り名はこんな感じです。

- ①メカ軍鶏／人間の胴体に固定。ヒモをひっぱると足と羽が動きます。
- ②志村さんの軍鶏／ヒモをひっぱると首が動きます。
- ③飯田さんの軍鶏／スイッチをONすると足が(電動)で動きます。
- ④絞めた軍鶏／首がぶらぶらします。



▲飯田軍鶏



▼絞めた軍鶏

⑤かぶりもの軍鶏／着るみの軍鶏で、おしりから卵が出たり入ったりします。

①のメカ軍鶏は鉄のプレートでまずボルトナットで骨組みといいますが、ヒモを引くと動きヒモを緩めるともとにもどるシステムを作ります。で表面をサンベルカでこさえ、鳥の羽をはいていきます。チャンピオンベルトみたいなごついベルトに棒を固定してその先にメカ軍鶏が付いております。気分は玩具会社の開発部みたいでした。②

志村さんの軍鶏はこれの簡単バージョンです。
③の飯田さんの軍鶏は電池で手足と下アゴが動く恐竜の玩具を改造しております

⑤のかぶりもの軍鶏はおしりから卵が出たり入ったりするわけなんですが、これもヒモを引っ張ると卵が出て、ヒモを離すと卵が引っ込むという役者が一番らくちんなシステムとなっております。「簡単卵出たり入ったり装置」です。仕掛的には簡単に言うと「チョウバンとバネ」なんですが金属は使わず。

綿ベルトと丸ゴムを使っております。このかぶりもの軍鶏は2幕では階段にすわる段取りがあるので、「簡単卵出たり入ったり装置」が取り外しできるようにしております。

話は変わりますが①のメカ軍鶏はいつの日か完全版といいますが、パワーアップしたモノをこさえたいなど強く思いました。からくり人形とか、もう一回勉強するのだ。

●死体

ここ数年、ダミーヘッドやダミーパーツ(生首とか手足)等を作っていたりするのが特殊メイクの中田さん(M.E.U.)。いつもお世話になっております。今回も切れる腕やおっぱい、たくさんの手足等、有り難うございます。

で、死体なんですが今回は5死体、基本的に手足や顔等のいわゆる見える部分をお願いしました。着物で隠れる部分はこっちで。後、過去に作っていた、ライフマスクやダミーヘッドを改造したりとか。なるべく軽くしたかったので、胴体や二の腕、太ももの部分はサンベルカの2500番、15mmで中空で作りました。ざっくりとこんな感じでございまして。



▶作業途中死体



▲死体

と、いうわけで今回はここまで。次回「仕掛けと私」でお会いいたしましょう。たぶん。

本日のPatchyと私

売るほどなっているウンコを3名様にプレゼント。投げてよし、飾ってよしの優れモノ。

●Patchy商品取扱店●
PUTUMAYO ラフォーレ原宿BF.1F
PUTUMAYO 原宿路面店
VISIBLE 大阪市中央区西心斎橋2-8-33 アメ村スクエア2F

シバイのミカタでは読者の皆様からの投稿レポートを募集しております。面白い作品を観た感動を色んな人に伝えたいと思っている演劇好きのあなた、ご応募お待ちしております！ 尚、投稿レポートを採用させて頂いた方には掲載誌を贈呈致します。

※投稿は、①公演名・劇団名、②レポートのタイトル、③レポート本文(300字以内)、④公演クレジット、⑤投稿者のお名前・ご住所・お電話番号をご記入の上、封書またはメールにて受け付けております。本誌掲載の際にはこちらからご連絡を差し上げます。掲載に関するお問い合わせは応じかねますのでご了承下さいませ。

▶▶ 応募先
〒164-0011 東京都中野区中央5-46-5 2F
樹えんぶ 演劇ぶっく編集部 シバイのミカタ投稿レポート係

『なにもしない冬』 福岡市文化芸術振興財団 プロデュース公演

楽しくもう悲しい、サーカスのごとき世界

MONOの土田英生が01年に発表した戯曲を、福岡を拠点とする山田恵理香が演出した舞台。様々な事情で興業が打てない弱小サーカス団の人々が、小さな衝突を繰り返しながらダラダラと過ごす日々を描いた会話を、本物のサーカスさながらの非現実的なビジュアル&独特の台詞回しであざやかに模様替え！ MONO版の舞台では「人間の浅ましさを暗喩的に皮肉った雰囲気」が印象に残ったけど、こちらは目録の合わない対話やぎこちない劇中パフォーマンスを通して、登場人物たちが抱える焦燥感を、滑稽かつ哀愁深く見せる世界となっております。山田の十八番だという、童話や古典戯曲を演出した舞台もぜひ観てみたい！ と思わせるには、十分な力作でしたよ。(吉永)

DATA-----
作・土田英生(MONO)
演出・山田恵理香(空間再生事業 劇団GIGA) 出演・林田麻里 長岡陽隆 菊沢将憲 井上郁朗 坪内守 猛者真澄 川口大介
3/3~7日 ほんブラザホール、3/20~21日 アートコンプレックス1928



撮影・島田麻未

『醜い男』 TPT

非日常的空間を演出する

本拠地だったベニサンビットが閉館し、元倉庫である横浜 BankART Studio NYKで新たなスタートを切ったTPT。この場所がとにかくカッコいい。劇場の中へ入る際に外廊下を通るので、大観覧車やランドマークタワーなどの横浜の夜景が一望できる。そして中へ入ると、太い円柱が並んだガラとしたコンクリート打ちっぱなしの空間が広がっている。まるで外国の古い教会や美術館の中にいるような、ゆったりとした非日常的な空気が流れるなかで始まった芝居は、ある『醜い男』が、整形して絶世の美男になったとたん人生が一変してしまう……というもの。観ながら、美とは、人間のアイデンティティとは何か、いろいろ考えさせられた。(渡辺)

DATA-----
作・マリウス・フォン・マイエンブルグ 演出・トーマス・オリヴァー・ニーハウス 出演・池下重太 田村元 武田優子 小谷真一
3/22~29日 横浜 BankART Studio NYK/3Cギャラリー



撮影・島田麻未

『にぎやかどうぶつ横丁』 ゴキブリコンビナート

楽しすぎる“どうぶつ横丁”でワクワク

“動物園と演劇の融合”が中心コンセプトだったという本作。“動物”として檻の中に入れられ展示されている男と、動物園の客や園長とのバトルから始まって、次々と幾重にもエピソードが積み重なっていく。それがほぼ全編歌で繋がる。最大の見所は、関古鳥の動物園の起死回生を図るという話の流れの中で、途中からどんどん本物の動物たちが登場すること。鶏、鳩、牛、羊、山羊、ウサギ、ハムスター、豚、ガチョウ……。観客オールスタンディングの劇場中を、役者や動物たちが走り回り、飛び回る。時には予想外の動物の演技(?)も観れたり、全く予測不可能でスリリングな一時間半。最後は動物たちに癒され、ハッピーな気分。(渡辺)

DATA-----
作・演出・美術・作曲・Dr.エックアドル 出演・Dr.エックアドル アグネス・マートン 若人あきこ 榎井清喜 よしかた2 病氣マン ビニール100% タイヤモンド☆FUYUKAI どのはるか 植松ベコン
4/10~13日 新宿タニシアリス
次回予定・ゴキブリコンビナート ライブ 6/13(土)死神企画・池袋手刀



『クロウズ』 スロウライダー

ホラーの中に光るユーモア

ホラーテイストの作品を多く手がけてきた演劇ユニット・スロウライダーの活動休止公演。作・演出の山中隆次郎が最後に選んだモチーフは「ゾンビ」でした。感染するとゾンビ化してしまう謎の病原菌が蔓延する近未来の日本。感染者を「クロ」と呼び、隔離政策を取る行政だが、彼らを支援する非感染者の存在が、事の沈静化を鈍らせていた……。興味を惹かれたのは、この作品がある種のアイロニーとリスベクトに溢れていたこと。米国B級ホラー映画がそうであるように、ゾンビものは必ずしも「恐怖を与えるもの」とは限らない。本作に流れていたのは、むしろユーモアだと思います。ホラー演劇の新たな展開を示唆した演出家の、次のプロジェクトに期待が高まる公演でした。(園田)

DATA-----
作・演出・山中隆次郎 出演・大村彩子 中川智明 岡村泰子(きこり文庫) 池田ヒロユキ(リュウカ) 星耕介 シトミマモル 高見靖二(チャリT企画) 田中慎一郎 吹田早哉佳 中川寛 徳橋みのり(るりえ) 奈実 芦原健介 数間優一
2/7~15日 新宿THEATER/TOPS
次回予定・山中隆次郎 新プロジェクト「ロハル」『セインツ・オブ・緑馬』7/1~5日 赤坂RED/THEATER



撮影・野澤隆弘

『ゴーストライター』 シグナルズ

そのイノセントが胸倉を掴む

イノセントって、日々を生き抜く上で割と邪魔だったりしません？ 自身のソレも他人のソレも、共に「うぜえ」の一言で片付けてしまう昨今。そのことを後悔しつつ、眼前の“今”に対応せねえとろくろの日常。ナイロン100°Cの大山鍋則が主宰する劇団「シグナルズ」の新作は、そんな“剥き出しのイノセント”をぶつけ合う一作。まるで、子供同士の雪合戦のよう。登場人物達は皆、どこかに“不満”を抱えており、その感情を爆発処理することで、現実と折り合いをつけていく。このテの人が傍にいたら、そりゃあ、うざったいです。でも、その無視出来ないうざったさこそが、今作の最大の魅力だと思います。肉体と精神に鞭を打ち、「うざさ」を練り上げたカンパニーに拍手☆(園田)

DATA-----
作・演出・大山鍋則(ナイロン100°C) 出演・杉山薫(ナイロン100°C) 仁田原早苗 福田英和(7の椅子) 吉田千絵 天野なお 鹿野良太 榎田一休 松葉智子 常盤昌平
2/25~3/1日 中野スタジオあくとれ
次回予定・シグナルズ「タイトル未定」10/1/20~24日 シアター711



撮影・太田家世(自由創作部)

『風街』 北九州芸術劇場

地元発信ならではのリアリティと叙情

隔離病棟で死を待つ少女の手鏡から放たれる、生へのあがきのような一筋の光。それは爆けて澄んだ空を超えて2人の少年のもとに届く。1960年代の北九州の工業地帯を背景に、日本の高度成長期のひびきを象徴するような街と時代を描いた、地元発信の舞台である。ベースになるのは2つの家族の日常で、変化する状況のなかで、生まれた土地を離れたくない人々や出ていきたくて若者の、それぞれのシビアで重い現実が、叙情と笑いにまぎされてさりげなく伝わってくる。嘆きも怒りもいっきに生きている家族たち、その世界を憧れをこめて見つめる病院の少女と老婆、生の死の対比が切なく物語の奥行きを深めていた。(榎原)

DATA-----
作・演出・東憲司 出演・有門正太郎 今村貴子 大畑佳子 沖田みやこ 島山藤小林 他
2/25~3/1日 北九州芸術劇場、3/6~8日 あうるすぽっと



撮影・藤本彦

「監督」「俳優」になる!

5月生(1年コース)
追加募集中!

生徒主演の実習作品「Deep In The Valley」ベルリン国際映画祭へ!

映像俳優コース

昼間部 夜間部

【アミューズ】オーディション合格者2名
春の連続ドラマに出演中!!
今井 隆文 (日本テレビ・土・21時)
「ザ・クイズショウ」出演中
村上 剛基 (フジテレビ・火・22時)
「白い春」出演中

ここが POINT!

出演作品制作



▲2007年春期
映像俳優コース
船橋淳監督作品
「Deep In
The Valley」



出演作品が映画館で上映される!

現役の映画監督が実践的な演技指導を行い、そのオリジナル作品に生徒が出演する、年2回の実習カリキュラム。完成した作品は、実際に映画館(渋谷シアターTSUTAYAを予定)で上映します。

【専任講座】担当講師

昼間部

【映画監督】富樫森

とがしん●「非・バランス」(2001年)で監督デビュー。その後「ごめん」(2002年)、「星に願いを」(2003年)、「鉄人28号」(2005年)、「天使の卵」(2006年)主演:市原隼人、小西真奈美)と話題作を次々と監督。最新作は「あの空を飛ばして」(2008年)主演:竹野内豊、水野美紀)。



【映画監督】萩生田宏治

はぎうだこうじ●大学在学中より現場の助監督を務め、テレビドキュメンタリーの演出を経て、「楽園」(1998年/2000年文化庁芸術祭テレビ部門優秀賞受賞)を監督。その後「帰郷」(2004年/西島秀俊主演)が国内外の映画祭で高い評価を受け、日本初のクラシック音楽映画「神童」(2007年/成海璃子、松山ケンイチ主演)がアジア各国でも公開され、話題となる。最新作「コドモのコード」(2008年)では前作に引き続き、さとうあさ原作の衝撃作を粘り強い演出力で見事に映画化。

夜間部

【映画監督】本田隆一

ほんだりゅういち●「東京ハレンチ天国・さよならのブルース」(2001年)が、ゆうばり国際ファンタスティック映画祭でグランプリを受賞。海外でも絶賛を浴びる。その後「ブッシーキャット大作戦」(2004年)「サクゴエ」(2007年)などを監督。最新作「GSワンダーランド」(2008年/栗山千明主演)を監督。60'sテイストあふれる作品で若者から熱い支持を集めている。



【映画監督】亀井亨

かめいとる●初監督作「心中エロ」(2005年)が海外の3つの映画祭でグランプリを受賞。つづく「楽園」～渡されて～(2006年)も海外で高い評価を得る。最新作は「幼獣マメシバ」(2009年初夏公開予定)主演:佐藤二朗)。

釜山国際映画祭グランプリ! 市井昌秀監督(「無防備」)を輩出!

映画監督コース

昼間部 夜間部

びあフィルムフェスティバル08
グランプリ・準グランプリ独占!!

速報!! びあフィルムフェスティバル09
監督:佐々木 想「ぴゅーりたん」入選

ここが POINT!

個人作品制作



▲2006年秋期
映画監督コース
小栗はるひ監督作品
「少年少女」

1人1本「本当に撮りたい映画」を監督し、上映する!

担当講師の指導のもと、卒業制作として1人1本「自分が本当に撮りたい映画」を制作します。完成した作品は映画館(渋谷シアターTSUTAYAを予定)にて上映します。

【専任講座】担当講師

昼間部

【映画監督】古厩智之

ふるまやともゆき●「灼熱のドッジボール」で第9回PFFグランプリを受賞。長編デビュー作「この恋は君のもの」(1995年)、つづく「まぶだち」(2001年)がともに、国内外の映画祭で絶賛される。その後「ロボコン」(2003年/長澤まさみ主演)、「奈緒子」(2008年/上野樹里主演)「ホームレス中学生」(2008年)など、青春映画を中心に、話題作を次々と監督している。



夜間部

【映画監督】大谷健太郎

おおたにけんたろう●「avec mon mari」(1999年)でデビュー。男女の機微を描く繊細な才能で一躍脚光を浴びると、以降立て続けに話題作を発表。「NANA」(2005年/中島美嘉、宮崎あおい出演)「NANA2」(2006年/中島美嘉・市川由衣出演)で一犬二犬センセーションを巻き起こした。



舞台上立つ! 映画に出る! 映画監督になる!

ENBUゼミナール

〒164-0012 東京都中野区本町2-28-11-2F

資料請求・
ご予約・お問合せ
はこちら

03-5358-5211 (10:00~22:00)
zemi_info@enbu.co.jp
www.enbu.co.jp/zemi/

携帯からも簡単に
資料請求できます
www.enbu.co.jp/mobile/



『学校説明会』開催中!

無料

予約制

5/17
(日)

■映画監督コース
11:00~12:30
■演劇コース
13:30~15:00
■映像俳優コース
13:30~15:00

FROM HARDERS

毎日暖かくなってきましたね。今年は桜の時期も長く、様々な場所で綺麗な桜を目にしました。
さて、春ということで、演劇ぶっくも少しだけリニューアルしました。少しでも皆様楽しんで読んでいただけたら幸いです。
編集部も御茶の水から中野に引っ越しました。編集部員一同、心機一転して頑張りますので、変わらぬご愛顧のほどよろしくお願い致します。

◆「作品」「俳優」両方のチャートに上川隆也さんが一位に選ばれ、とても嬉しく思っています。去年は3年ぶりに舞台に立ち、生き生きと輝き、オーラに満ち溢れた3作品に魅了され、すごく幸せな年でした。やっぱり「舞台人」です。「その男」では素晴らしい役者・平幹二朗さんとの共演も嬉しく、久しぶりの美しく切れ味鋭い殺陣も、楽しみにしています。

(東京都 主婦 みき)

◆もうここ10年くらい、えんぶチャートは欠かさず購入しています。私自身としても一年の総決算という感じで、振り返りつつ、じっくりチェックしてしまいます。「チラシで振り返る08年の演劇事情」も記念になりますし、なによりコメントとかが味があっていいです。コアな部分の多い演劇ぶっくですが、これからも期待しながら読みますので、頑張ってください。

(兵庫県 会社員 つかさ)

◆「えんぶチャート2008」では、3年ぶりの舞台出演となった上川隆也さんが一位に輝きました。上川さんの熱烈なファンの方や、

キャラメルボックスファンの方からの反響が大きかったです。上川さんはテレビなどの映像でも素敵ですが、やっぱり舞台上で演じている姿を生で観れるというのは、格別ですよ。

◆いつも楽しく読ませていただいているロングインタビューのページ、パッと開いたとたん岡田達也さんの笑顔が目飛び込んできて、「うわーっ! おっかーさんだー!」とテンションがめっちゃにUPしました。この方の語り口の面白さはキャラメルの役者さんのなかでもピカイチではないかしら? と思いますが、このロングインタビューも読みながら思わず笑ってしまうほどの面白さ! (できれば音声と映像つきで見たいくらいです) それでいて岡田さんの生真面目さ、誠実なところがとてもよく伝わってきて、ステキなインタビューでした(幼稚園でとか、学生時代のおっかーさん、そういうプライベートな写真を拝見できたこともまた嬉しかったです)。

(北海道 会社員 あっちゃん)

◆岡田達也さんのロングインタビューもたく

さんの反響がありました。ありがとうございます。本当に、岡田さんの人柄の良さが伝わってくるようですね。爽やかな笑顔もステキですし、人気があるのも納得です。

◆2009年初めの芝居は「パイパー」。贅沢な2時間でした。役者の演技、アンサンブルの躍動感を肌で感じました。とても悲しい舞台でしたが、奥が深く、今でも観たときの感動が忘れられません。2009年、これからの舞台に期待が持てますが、「パイパー」という、こんなにいい作品を最初に観てしまい、罰があたらなにか心配です……。

(東京都 学生 ネイノークン)

◆「パイパー」が今年の芝居初めという人は、結構多そうですね。確かにあんなにすごい舞台を最初に観てしまうと、「今年、これ以上いい舞台を観れるんだろうか……」という気持ちになってしまいうさですね。けどまだまだこれから。面白い舞台、いい舞台にたくさん出会えるといいですね!

◆今年のテーマは「閉館」。ベニサン・ピット

やシアタートップスといった、閉館が決まっている劇場を巡っています。パワーアップして劇場も芝居も元気になって、私たちに力を下さることを祈っています。

(東京都 会社員 いっち)

◆長く続いている劇場が閉館になってしまうのは本当に残念ですね……。前号の「さようなら。ベニサン・ピット」特集に続いて、今号では「さようならシアタートップス」特集で、3月に閉館したシアタートップスを振り返っています。ベニサン・ピットを本拠地としていたTPTが、また別の場所を得てリスタートのように、劇場も芝居もパワーアップして、私たちにまた素敵な演劇体験を与えていただきたいです。

今回もたくさんのおハガキ、ありがとうございます。引っ越しなどでバタバタしている編集部ですが、皆様からのおハガキにはいつも励まされています。今号の感想もぜひお聞かせください。お待ちしております。

プレゼント 広場!!

巻末のアンケートハガキに、希望するプレゼントをお書きの上お申し込みください。応募者多数の場合は抽選になります。発表は発送をもってかえさせていただきます。締切は5月31日消印有効。しどしど応募ください!!

TEAM NACS

「下荒井兄弟の
スプリング・ハズ、カム。」
パンフレット/1名

TEAM NACS待望の新作は、大泉洋が脚本・演出を担当。個性派揃いの5人のメンバーによる5人兄弟の物語は、ドタバタした笑いを交えつつ、温かい空気に満ちた作品となった。同公演のパンフレットを1名に。



「ムサシ」

パンフレット/1名
井上よしと・越川幸雄の
タッグ、人気・実力ともナン
バーワンの藤原竜也と小
栗旬の競演などなど、演
劇界の大きな話題を集めた
「ムサシ」。宮本武蔵と佐々木小次郎の対決の物語のなかに「生」への強い想いが込められた同公演のパンフレットを1名に。



劇団☆新感線「蜂蜘蛛」

サイン入りパンフ/1名
大好評を得た「メタル マクベス」から早3年。宮藤官九郎×いのうてのりの強力タッグによる新作「蜂蜘蛛」は、コントと愛憎劇が溶け合ったエンターテインメント性溢れる一大傑作。主人公・間太郎を演じた古田新太と、銀の助を演じた勝地涼、サルギを演じた木村了、おを演じた高田聖子のサインが入った豪華パンフレットを1名に。



「太王四神記」

サイン入り
パンフ/1名
韓国の人気テレビドラマをミュージカル化した宝塚版「太王四神記」。夢の世界を掌握するキーパーソン・フルキャストを演じた壮一帆の存在感が一際印象的だった。今回は歌舞伎でも有名な「オグリ」で主演を務める壮一帆のサイン入りパンフを1名に。



Editor

園田 遼

渡辺 敏恵

石本 真樹

伊藤 主桂子

柳原 和子

Art Direction

釣巻 敏雄

Design

内山 絵美

諸橋 隆

OFFICIAL HOME PAGE

http://www.enbu.co.jp

次号8月号は7月9日発売

演劇ぶっく 第24巻 第3号 通巻139号
2009年5月9日発売
定価750円(本体価格714円)
発行人 柴田 功
編集人 坂口 真良
発行 デジタルハリウッド株式会社
編集 演劇ぶっく編集部
〒164-0011
東京都中野区中央5-46-5
池田ビル2F
TEL:03-3229-2424
FAX:03-3229-2423
印刷 株式会社マルス

演劇集団キャラメルボックス 「2009ハーフトゥタイムシアター」 サイン入りパンフ/1名

梶尾真治と思田睦の原作とした2作品による「ハーフトゥタイムシアター」。「すべての風景の中にあなたがいます」に出演した温井摩耶と、「光の帝国」に出演した阿部丈二は、それぞれの作品で中心人物を支えるキーパーソンを演じた。2人のサインが入ったパンフレットを1名に。



自己批判ショー サイン入りDVD3本セット/1名

ちょっとダメな感じの男たちが繰り広げる、ナンセンスでバカバカしい、でもとてもハートフルで楽しい自己批判ショーの舞台。そのくらさに脱力しながらもなぜか癒される彼らの舞台は、一度観ればハマること間違いなし。「キ、キ、キ、客が少な〜いナ」というテーマ曲も、耳について離れなくなる。そんな愛すべき彼らの公演DVD3本に、なんとメンバー全員のサインを入れて1名に。



シス・カンパニー公演

作:大西 信行

演出:いのうえひでのり

出演

段田 安則

伊藤 蘭

秋山 菜津子

千葉 哲也

瑛 太

柴本 幸

梅沢 昌代

大河内 浩

松澤 一之

市川 しんべー

西尾 まり

保坂 エマ

粕谷 吉洋

森本 健介

怪談牡丹燈籠

一般前売開始日:2009年6月13日(土)

2009年8月6日(木)~8月31日(月) Bunkamuraシアターコクーン

料金(全席指定・税込) S席:9,500円 A席:7,500円 コクーンシート:5,000円

企画・製作:シス・カンパニー 提携:Bunkamura お問い合わせ:シス・カンパニー TEL.03-5423-5906 <http://www.siscompany.com/>

SIS
company

【前売チケット取扱い】 ※発売日翌日(6/14)以降は、残席がある場合のみお取り扱いいたします。

◎Bunkamuraチケットセンター ●03-3477-9912 (発売初日特電 10:00~17:30 発売初日店頭販売なし) ●03-3477-9999 (6/14以降 店頭販売あり)

◎電子チケットぴあ ●0570-02-9970 (発売初日特電 10:00~23:30 Pコード不要) ●0570-02-9999 (6/14以降 音声認識予約 Pコード394-044)

●<http://pia.jp/t/> (パソコン&携帯) ●チケットぴあ店舗・ファミリーマート・サークルK・サックスでも直接販売

◎ローソンチケット ●0570-084-632 (発売初日特電 10:00~18:00 Lコード不要) ●0570-084-003 (6/13 18:00以降 Lコード30085)

●0570-000-407 (6/13 18:00以降 オペレーター予約) ●<http://l-tike.com/> (パソコン&携帯) ●ローソン店舗(店内Loppi)でも直接販売

◎イープラス ●<http://eplus.jp/sis/> (パソコン&携帯) ●0570-06-9990 (発売初日特電 10:00~23:59 eコード不要)

●0570-06-9991 (6/14以降 eコード027731) ※パソコンでのご予約のみ、座席選択可

◎CNプレイガイド ●0570-08-9911 (発売初日特電 10:00~18:00) ●0570-08-9999 (6/14以降 オペレーター予約) ●<http://www.cnplayguide.com/> (パソコン&携帯)

【当日券】 全ステージ開演1時間前より販売いたします。詳細はお問い合わせください。

【公演日程表】 ★印公演(8/26)はビデオ撮影のため、場内にカメラを設置します。

(開場は開演の30分前)

2009年	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
8月	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
13:30			●	●	休		●			●	●	休		●			●	●	休		★			●	●	●
18:30	●	●	●		演	●	●	●	●	●		演	●	●	●	●		演	●	★	●	●	●			

【ご注意】

※小学生未満のお子様はご入場いただけません。

※車イスでご来場予定の場合は、当日のスミーズなご案内のために、公演日前日までにご購入席番をシス・カンパニーまでお知らせください。

